

# I 救 急 編

◎ 平成25年4月1日現在の救急業務実施体制

- 消防本部数 770 本部  
(単独 466本部、組合 304本部)
  
- 救急業務実施市町村数 1,685 市町村  
(790市、735町、160村)
  - ・ 救急隊数 5,004 隊
  - ・ 救急隊員数 60,383 人
  - ・ 救急自動車数 6,073 台
  
- 救急業務未実施町村数 35 町村

◎ 平成24年中の救急業務実施状況

- 救急出動件数  
(消防防災ヘリコプターによる出動を含む。) 580万5,701 件
- 救急搬送人員  
(消防防災ヘリコプターによる搬送を含む。) 525万2,827 人

## 第1章 救急業務実施体制の現状

### 1 消防本部及び救急業務実施市町村

#### (1) 概要

平成25年4月1日現在の消防本部数は770本部あり、全ての消防本部において救急業務が実施されている。

消防本部・署を設置して救急業務を実施している市町村及びこれらの市町村に委託して救急業務を実施している市町村(以下「救急業務実施市町村」という。)は、平成25年4月1日現在1,685市町村(790市、735町、160村)であり、前年と同数で推移し、全国の1,720市町村のうち98.0%において救急業務が実施されている。(第1表、第2表、別表1参照)

第1表 消防本部数の推移

年 区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
単 独	487	491	491	497	495	486	466
組 合	320	316	312	305	303	305	304
計	807	807	803	802	798	791	770

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第2表 救急業務実施市町村数の推移

年 区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
実施市町村数	1,769	1,753	1,742	1,692	1,689	1,685	1,685
対前年増減数	▲15	▲16	▲11	▲50	▲3	▲4	0
対前年増減率(%)	▲0.8	▲0.9	▲0.6	▲2.9	▲0.2	▲0.2	0.0

(注) 実施市町村数は各年とも4月1日現在の数値である。

(2) 実施形態

救急業務実施市町村の中には、人口規模、事故の発生状況、地域の地理的条件等から市町村ごとに単独で実施するよりも複数市町村が共同で実施した方がより効果的であるとの理由により、事務委託又は一部事務組合(広域連合を含む。以下同じ。)による広域的共同処理方式を取り入れている市町村が多い。救急業務を実施している1,685市町村のうち、事務委託方式による市町村が132市町村(7.8%)、一部事務組合方式による市町村が1,087市町村(64.5%)となっており、広域的共同処理方式によるものが、全体の72.3%を占めている。(第3表、別表1参照)

第3表 救急業務実施状況の推移

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全市町村数	1,805	1,789	1,778	1,728	1,725	1,720	1,720
救急業務 実施市町村	1,769 (98.0)	1,753 (98.0)	1,742 (98.0)	1,692 (97.9)	1,689 (97.9)	1,685 (98.0)	1,685 (98.0)
うち 事務委託方式	134	135	134	129	129	127	132
うち 一部事務組合方式	1,148	1,127	1,117	1,066	1,065	1,070	1,087
救急業務 未実施町村	36	36	36	36	36	35	35

- (注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。  
2 ( )内の数値は割合(単位%)を示す。

## 2 救急隊、救急隊員、救急自動車等

### (1) 救急隊

平成 25 年 4 月 1 日現在、救急隊は、救急業務を実施している 1,685 市町村に 5,004 隊設置されており、前年の 4,965 隊に比べて 39 隊(0.8%)増加している。(第 4 表参照)

第 4 表 救急隊数の推移

(単位：隊)

年 区分	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年
救急隊数	4,846	4,871	4,892	4,910	4,927	4,965	5,004
対前年 増減数	67	25	21	18	17	38	39
対前年 増減率(%)	1.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.8	0.8

(注) 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

### (2) 救急隊員

平成 25 年 4 月 1 日現在、救急隊員数は、全国で 6 万 383 人(うち、女性隊員は 1,073 人(1.8%))で、前年の 5 万 9,847 人に比べて 536 人(0.9%)増加している。救急隊員のうち救急業務のみに専従している専任隊員は、1 万 9,968 人(33.1%)で、このうち女性は 738 人である。一方、救急業務以外の消防業務を兼務している兼任隊員は、4 万 415 人(66.9%)で、このうち女性は 335 人となっている。(第 5 表、第 8 図、別表 2 の 1 及び別表 2 の 2 参照)

また、消防職員のうち、救急隊員としての資格を有している職員は、平成 25 年 4 月 1 日現在、11 万 8,026 人(前年 11 万 8,572 人)で、このうち女性は 2,243 人である。(第 7 表参照)

なお、救急隊員の行う応急処置等の範囲の拡大に対応した救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む)及び旧救急Ⅱ課程修了者は、それぞれ 5 万 2,675 人(うち女性 935 人)、2 万 7,335 人(うち女性 166 人)となっている。(第 7 表参照)

このうち救急隊員は、救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む) 2 万 6,127 人(うち女性 330 人)、旧救急Ⅱ課程修了者 9,861 人(うち女性 7 人)となっている。(第 5 表参照)

(3) 救急救命士運用隊数、救急救命士の資格を有する消防職員及び救急隊員数  
 救急救命士運用隊数は、4,842 隊であり、前年の 4,763 隊に比べて 79 隊  
 (1.7%) 増加している。救急救命士運用隊の割合は、全救急隊の 96.8%(前  
 年比 0.9 ポイント増)となっており、着実に増加している。(第 9 表、第 10  
 図及び第 11 表参照)

平成 25 年 4 月 1 日現在、救急救命士の資格を有する消防職員数は 2 万  
 9,197 人、救急隊員数は 2 万 3,744 人であり、救急隊員のうち救命救急士と  
 して運用されている数は 2 万 2,870 人である。また、救急隊員のうち、気管  
 挿管認定救急救命士は 1 万 311 人、アドレナリン投与認定救急救命士は 1 万  
 8,140 人で、うち、気管挿管・アドレナリン投与両認定救急救命士は 1 万 4  
 人となっている。(第 7 表から第 12 図及び別表 2 の 3 参照)

第 5 表 救急隊員の資格状況

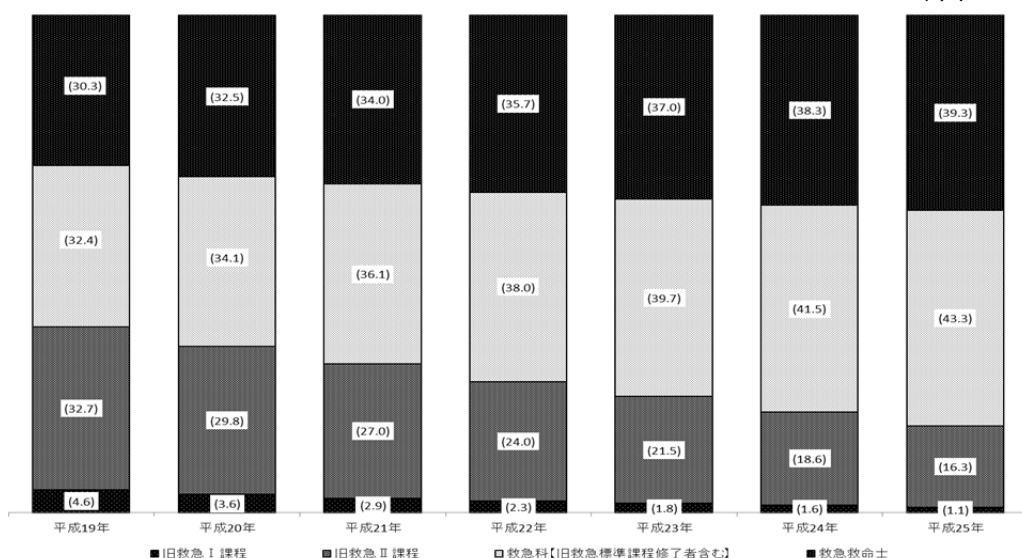
(単位：人)

区 分	年							平成24年～ 25年 増減数
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	
旧救急Ⅰ課程 (うち女性)	2,764 (0)	2,162 (5)	1,741 (0)	1,393 (2)	1,089 (1)	931 (0)	651 (2)	▲ 280 (2)
旧救急Ⅱ課程 (うち女性)	19,385 (57)	17,635 (45)	15,940 (31)	14,135 (30)	12,824 (14)	11,135 (15)	9,861 (7)	▲ 1,274 (▲ 8)
救急科【旧救急標準 課程修了者含む】 (うち女性)	19,157 (214)	20,180 (240)	21,281 (235)	22,388 (255)	23,670 (274)	24,851 (312)	26,127 (330)	1,276 (18)
救急救命士 (うち女性)	17,910 (342)	19,245 (422)	20,048 (473)	21,022 (537)	22,067 (610)	22,930 (665)	23,744 (734)	814 (69)
救急隊員総数 (うち女性)	59,216 (613)	59,222 (712)	59,010 (739)	58,938 (824)	59,650 (899)	59,847 (992)	60,383 (1,073)	536 (81)

(注) 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

第 6 図 救急隊員の資格状況の割合

(単位：%)



(注) 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

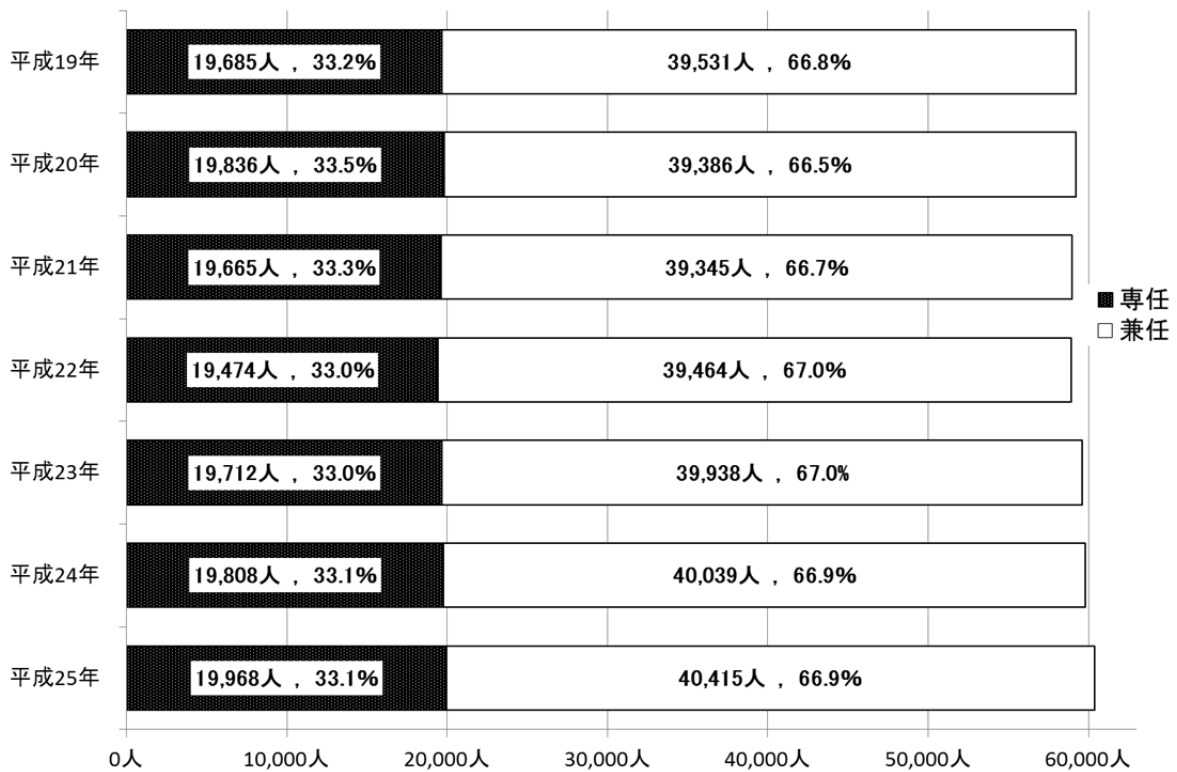
第7表 消防職員の救急資格の状況

(単位：人)

年 区 分	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成24年～ 25年 増減
旧救急Ⅰ課程 (うち女性)	18,008 (67)	16,318 (40)	14,153 (29)	13,445 (29)	11,810 (30)	10,622 (37)	8,819 (32)	▲ 1,803 ▲ (5)
旧救急Ⅱ課程 (うち女性)	38,136 (171)	37,129 (165)	34,909 (168)	33,396 (170)	31,289 (132)	29,403 (131)	27,335 (166)	▲ 2,068 (35)
救急科【救急標準課 程修了者を含む】 (うち女性)	33,240 (527)	36,898 (625)	39,774 (640)	43,697 (775)	47,087 (826)	50,720 (912)	52,675 (935)	1,955 (23)
救急救命士 (うち女性)	20,068 (456)	21,840 (571)	23,386 (665)	24,869 (771)	26,533 (910)	27,827 (993)	29,197 (1,110)	1,370 (117)
救急隊員資格者 (うち女性)	109,452 (1,221)	112,185 (1,401)	112,222 (1,502)	115,407 (1,745)	116,719 (1,898)	118,572 (2,073)	118,026 (2,243)	▲ 546 (170)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第8図 救急隊員の専任・兼任状況の推移



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第9表 都道府県別の救急救命士運用状況

(平成25年4月1日現在)

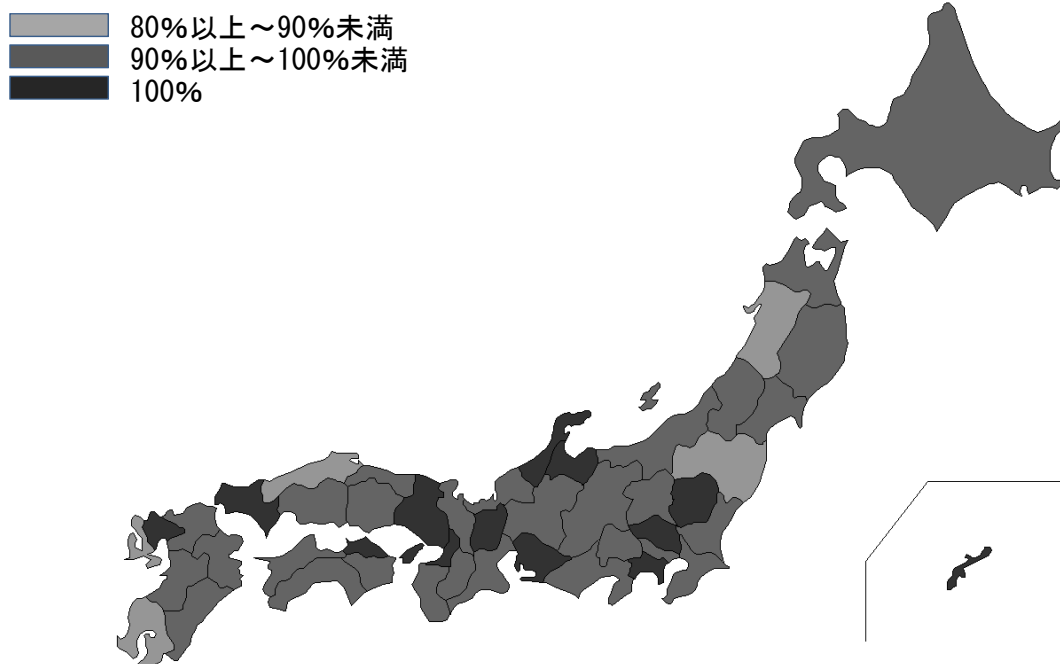
都道府県名	救急隊					救急隊員			
	救急隊 総数 (a)	うち救命士 運用隊数 (b)	比 率 (b)/(a)	うち救命士 常時運用隊 (c)	比 率 (c)/(a)	総 数 (a)	救命士 有資格者 (b)	うち運用 救命士 (c)	比 率 (c)/(b)
北海道	307	286	93.2%	235	76.5%	4,477	1,886	1,753	92.9%
青森	88	85	96.6%	62	70.5%	1,206	366	354	96.7%
岩手	83	80	96.4%	74	89.2%	1,157	359	344	95.8%
宮城	92	90	97.8%	83	90.2%	1,049	345	340	98.6%
秋田	76	67	88.2%	58	76.3%	1,000	285	273	95.8%
山形	64	62	96.9%	45	70.3%	712	232	228	98.3%
福島	116	94	81.0%	78	67.2%	1,404	383	368	96.1%
茨城	151	142	94.0%	124	82.1%	2,274	652	596	91.4%
栃木	87	87	100.0%	83	95.4%	975	404	394	97.5%
群馬	90	89	98.9%	65	72.2%	1,029	390	375	96.2%
埼玉	217	217	100.0%	207	95.4%	1,973	1,073	1,049	97.8%
千葉	219	215	98.2%	190	86.8%	2,297	969	921	95.0%
東京	242	241	99.6%	240	99.2%	2,213	1,495	1,477	98.8%
神奈川	214	214	100.0%	213	99.5%	2,046	1,182	1,161	98.2%
新潟	129	127	98.4%	105	81.4%	1,695	554	532	96.0%
富山	53	53	100.0%	43	81.1%	663	259	248	95.8%
石川	50	50	100.0%	35	70.0%	737	236	230	97.5%
福井	50	47	94.0%	40	80.0%	428	168	162	96.4%
山梨	53	50	94.3%	39	73.6%	598	209	203	97.1%
長野	118	114	96.6%	92	78.0%	1,751	586	560	95.6%
岐阜	127	125	98.4%	87	68.5%	1,699	469	449	95.7%
静岡	141	139	98.6%	125	88.7%	1,425	586	573	97.8%
愛知	223	223	100.0%	216	96.9%	3,305	1,199	1,135	94.7%
三重	103	100	97.1%	70	68.0%	1,735	386	376	97.4%
滋賀	58	58	100.0%	57	98.3%	811	271	270	99.6%
京都	83	80	96.4%	76	91.6%	1,078	455	447	98.2%
大阪	217	217	100.0%	216	99.5%	2,420	1,281	1,250	97.6%
兵庫	187	187	100.0%	185	98.9%	2,069	1,048	1,026	97.9%
奈良	67	61	91.0%	54	80.6%	910	298	285	95.6%
和歌山	65	64	98.5%	57	87.7%	760	297	295	99.3%
鳥取	31	28	90.3%	28	90.3%	577	167	149	89.2%
島根	69	62	89.9%	44	63.8%	807	217	212	97.7%
岡山	98	96	98.0%	80	81.6%	1,778	397	385	97.0%
広島	124	123	99.2%	120	96.8%	1,167	610	606	99.3%
山口	70	70	100.0%	69	98.6%	917	337	329	97.6%
徳島	44	43	97.7%	28	63.6%	557	189	180	95.2%
香川	42	42	100.0%	37	88.1%	410	183	182	99.5%
愛媛	75	72	96.0%	58	77.3%	730	300	295	98.3%
高知	46	45	97.8%	36	78.3%	660	204	203	99.5%
福岡	151	148	98.0%	134	88.7%	1,515	645	626	97.1%
佐賀	40	40	100.0%	39	97.5%	589	207	192	92.8%
長崎	76	65	85.5%	55	72.4%	759	276	270	97.8%
熊本	96	92	95.8%	65	67.7%	904	360	335	93.1%
大分	60	54	90.0%	47	78.3%	622	267	245	91.8%
宮崎	41	38	92.7%	38	92.7%	436	227	190	83.7%
鹿児島	107	96	89.7%	73	68.2%	1,101	417	400	95.9%
沖縄	64	64	100.0%	53	82.8%	958	418	397	95.0%
合計	5,004	4,842	96.8%	4,258	85.1%	60,383	23,744	22,870	96.3%

- (注) 1 「救命士運用隊」とは、特定行為に必要な資器材を積載する救急自動車に救急救命士の資格を持つ救急隊員が乗車し、医師からの指示体制を整えている救急隊をいう。  
 2 「救命士常時運用隊」とは、常に救急救命士が乗車している救急隊をいう。



### 第10図 都道府県別全救急隊のうち救急救命士運用隊の占める割合

(平成25年4月1日現在)

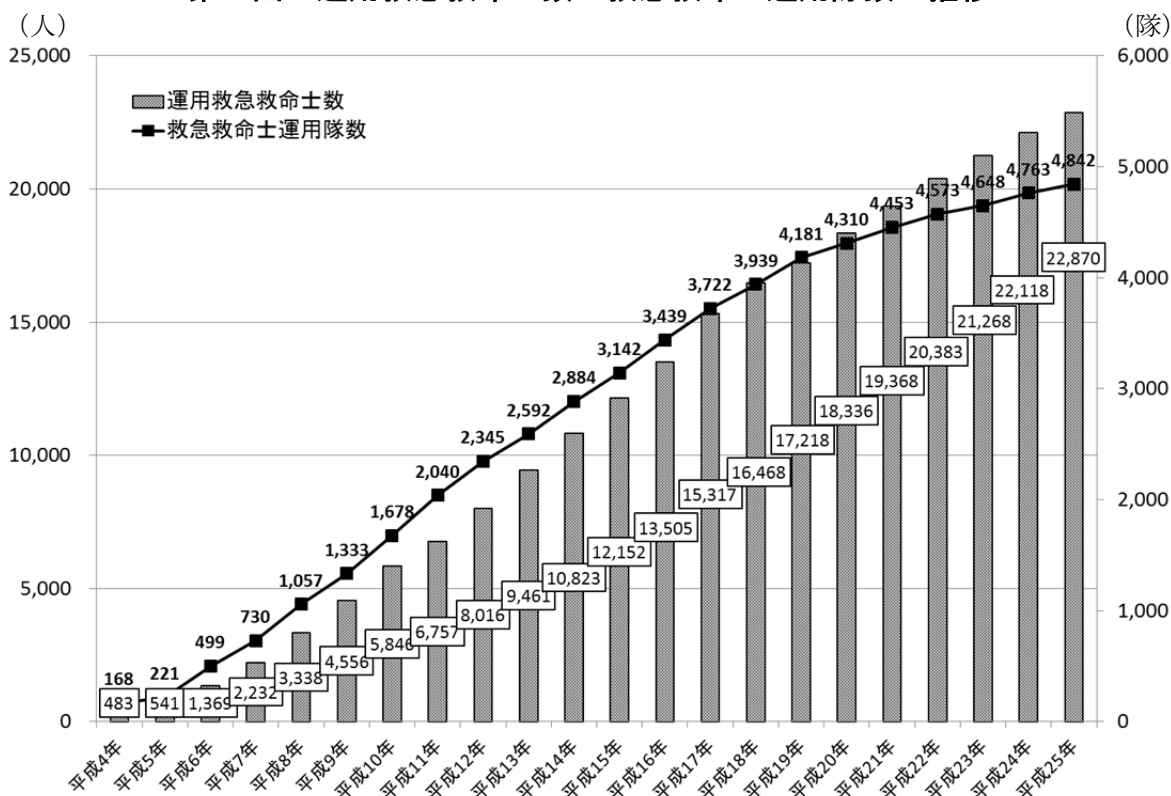


### 第11表 救急救命士の運用推移

項目 年	本部数	救命士 運用本部数	割合 (%)	救急隊数	救命士 運用隊数	割合 (%)
平成13年	904	842	93.1	4,563	2,592	56.8
平成14年	900	862	95.8	4,596	2,884	62.8
平成15年	894	866	96.9	4,649	3,142	67.6
平成16年	886	876	98.9	4,711	3,439	73.0
平成17年	848	843	99.4	4,751	3,722	78.2
平成18年	811	810	99.9	4,779	3,939	82.4
平成19年	807	806	99.9	4,846	4,181	86.3
平成20年	807	806	99.9	4,871	4,310	88.5
平成21年	803	802	99.9	4,892	4,453	91.0
平成22年	802	801	99.9	4,910	4,573	93.1
平成23年	798	797	99.9	4,927	4,648	94.3
平成24年	791	790	99.9	4,965	4,763	95.9
平成25年	770	769	99.9	5,004	4,842	96.8

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第12図 運用救急救命士数・救急救命士運用隊数の推移



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

(4) 救急自動車

救急自動車の保有台数は、非常用を含め6,073台で、前年の6,054台に比べて19台(0.3%)増加している。(第13表及び別表2の1参照)

また、救急自動車の保有台数のうち高規格救急自動車の台数は、5,521台となっている。

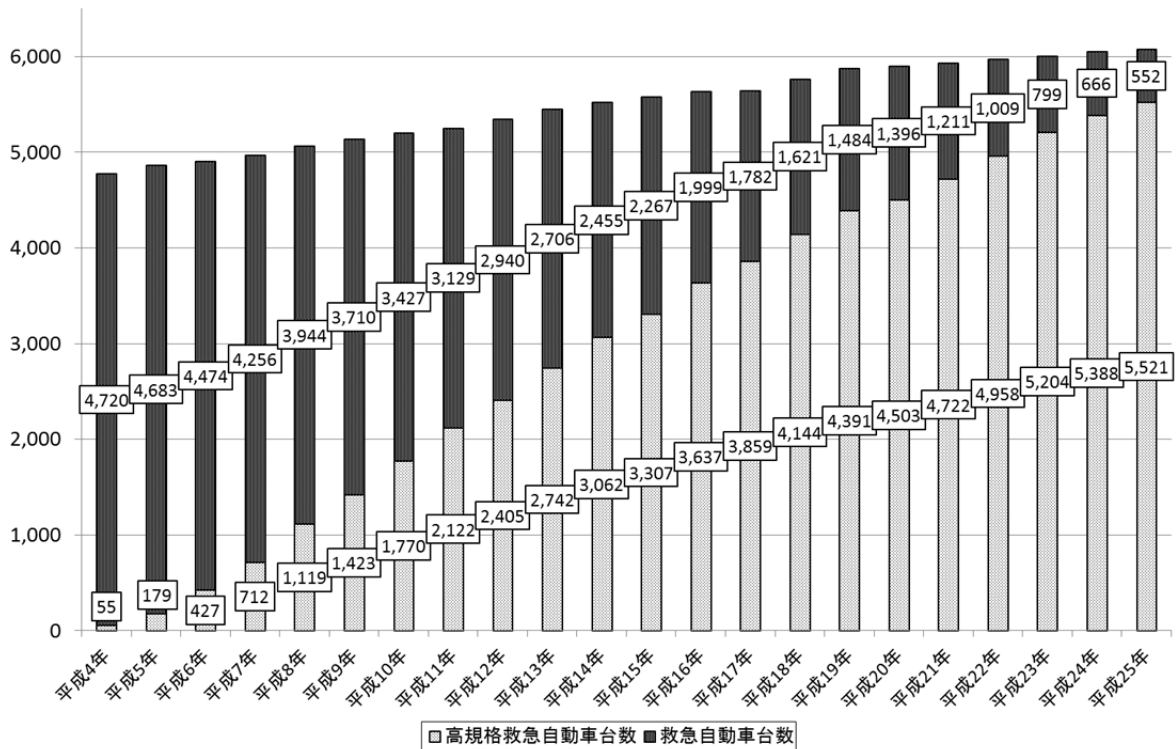
救急自動車は、交通安全対策特別交付金を含む一般財源、国庫補助金又は民間団体からの寄贈により整備を図っている。

第13表 救急自動車保有台数の推移

年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
救急自動車数 (高規格車数)	5,517 (3,062)	5,574 (3,307)	5,636 (3,637)	5,641 (3,859)	5,765 (4,144)	5,875 (4,391)	5,899 (4,503)	5,933 (4,722)	5,967 (4,958)	6,003 (5,204)	6,054 (5,388)	6,073 (5,521)
対前年増減 (高規格車数)	69 (320)	57 (245)	62 (330)	5 (222)	124 (285)	110 (247)	24 (112)	34 (219)	34 (236)	36 (246)	51 (184)	19 (133)
対前年増減率(%) (高規格車数)	1.3 (11.7)	1.0 (8.0)	1.1 (10.0)	0.1 (6.1)	2.2 (7.4)	1.9 (6.0)	0.4 (2.6)	0.6 (4.9)	0.6 (5.0)	0.6 (5.0)	0.8 (3.5)	0.3 (2.5)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第14図 高規格救急自動車数と救急自動車数の推移



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

### 3 高速自動車国道、瀬戸中央自動車道、神戸淡路鳴門自動車道における救急業務

平成25年3月末における高速道路自動車国道等の供用延長は8,161kmとなり、全ての区間における救急業務は、市町村の消防機関が実施している。

高速自動車国道等の救急業務を実施している消防本部は、全国770消防本部の53.0%にあたる408本部となっており、これらの消防本部の高速自動車国道等への救急出動件数は、平成24年中1万75件、搬送人員は9,415人となっている。(第15表参照)

第15表 高速自動車国道等における救急出動件数及び搬送人員の推移

年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出動件数	9,331	8,475	9,147	9,906	10,638	10,075
搬送人員	9,789	8,567	9,236	10,186	10,598	9,415

#### 4 救急業務の実施体制のない地域における補完体制

救急業務の実施体制のない地域においては、役場内に緊急自動車を置き、役場の職員が救急患者の搬送を実施する「役場救急」や、病院や診療所に緊急自動車を置いて、役場の職員などにより救急患者の搬送を実施する「病院(診療所)救急」という補完体制を整備しているところがある。

平成25年4月1日現在、救急業務の実施体制のない地域は、35町村(全市町村1,720市町村の2.0%)である。(別表1参照)

## 第2章 救急業務の実施状況

### 1 救急出動件数及び搬送人員

平成24年中の救急出動件数は、消防防災ヘリコプターによる件数も含め、580万5,701件（対前年比9万4,599件増、1.7%増）、搬送人員は525万2,827人（対前年比6万7,514人増、1.3%増）である。

また、救急自動車による出動件数は、全国で1日平均1万5,897件（前年1万5,637件）であり、5.4秒に1回（前年5.5秒に1回）の割合で救急隊が出動し、国民の24人に1人（前年25人に1人）が救急隊によって搬送されたことになる。

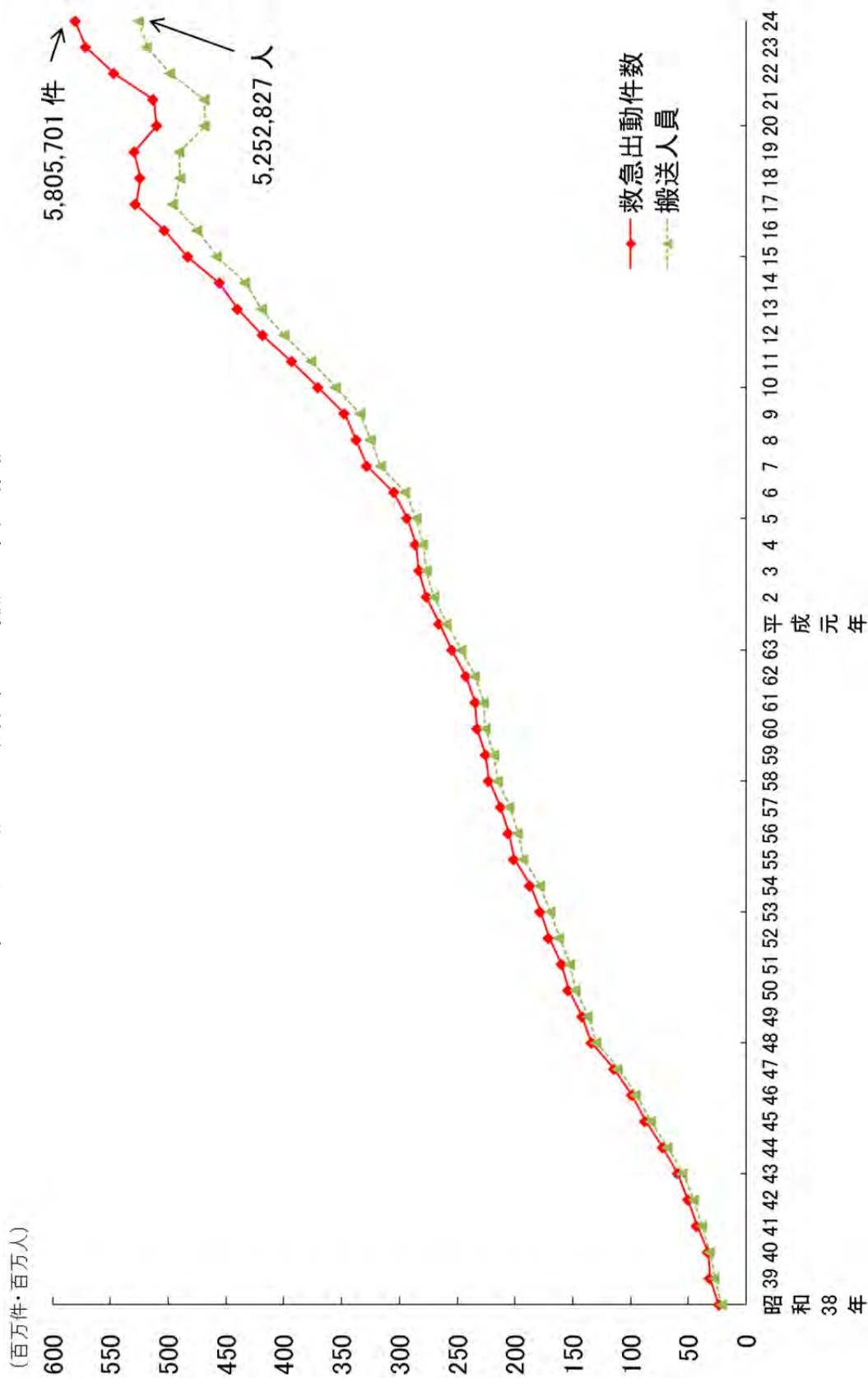
（第16表、第17図、別表3及び別表4参照）

第16表 救急出動件数及び搬送人員の推移

区 分	救急出動件数				搬送人員			
	全出動件数			増加数 前年比 (%)	全搬送人員			増加数 前年比 (%)
	うち 救急自動車に よる 件数	うち 消防防災ヘリに よる 件数			うち 救急自動車に よる 人員	うち 消防防災ヘリに よる 人員		
平成13年	4,399,195	4,397,527	1,668	215,074 (5.1)	4,192,470	4,190,897	1,573	193,205 (4.8)
平成14年	4,557,949	4,555,881	2,068	158,754 (3.6)	4,331,917	4,329,935	1,982	139,447 (3.3)
平成15年	4,832,900	4,830,813	2,087	274,951 (6.0)	4,577,403	4,575,325	2,078	245,486 (5.7)
平成16年	5,031,464	5,029,108	2,356	198,564 (4.1)	4,745,872	4,743,469	2,403	168,469 (3.7)
平成17年	5,280,428	5,277,936	2,492	248,964 (4.9)	4,958,363	4,955,976	2,387	212,491 (4.5)
平成18年	5,240,478	5,237,716	2,762	▲ 39,950 (▲0.8)	4,895,328	4,892,593	2,735	▲ 63,035 (▲1.3)
平成19年	5,293,403	5,290,236	3,167	52,925 (1.0)	4,905,585	4,902,753	2,832	10,257 (0.2)
平成20年	5,100,370	5,097,094	3,276	▲ 193,033 (▲3.6)	4,681,447	4,678,636	2,811	▲ 224,138 (▲4.6)
平成21年	5,125,936	5,122,226	3,710	25,566 (0.5)	4,686,045	4,682,991	3,054	4,598 (0.1)
平成22年	5,467,620	5,463,682	3,938	341,684 (6.7)	4,982,512	4,979,537	2,975	296,467 (6.3)
平成23年	5,711,102	5,707,655	3,447	243,482 (4.5)	5,185,313	5,182,729	2,584	202,801 (4.1)
平成24年	5,805,701	5,802,455	3,246	94,599 (1.7)	5,252,827	5,250,302	2,525	67,514 (1.3)

（注） 各年とも1月から12月までの数値である。

第17図 救急出動件数及び搬送人員の推移

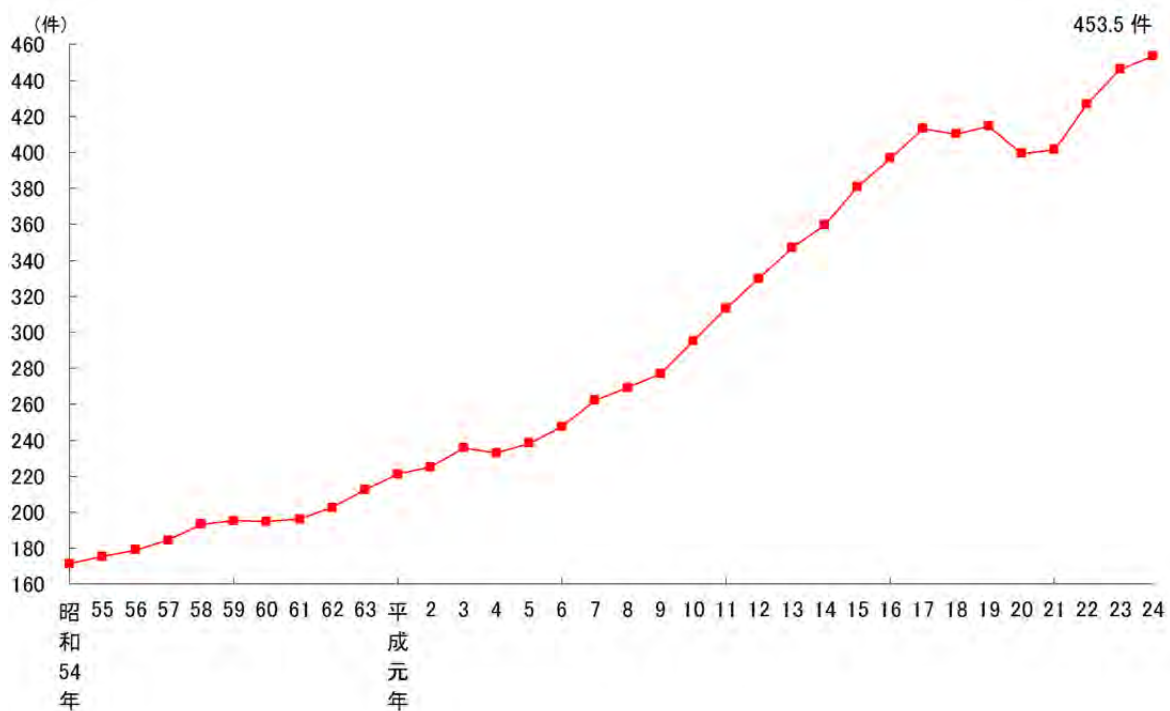


(注) 1 平成10年以降の救急出動件数及び搬送人員については消防防災ヘリコプター出動分を含む。

2 各年とも1月から12月までの数値である。

平成 24 年中の全国の救急業務実施市町村における人口 1 万人当たりの平均救急出動件数は、453.5 件となっている。救急自動車による救急出動件数が最も多い都道府県は、大阪府の 597.4 件、最も少ない都道府県は、福井県の 331.2 件となっている。（第 18 図及び別表 3 参照）

第18図 人口1万人当たりの平均出動件数の推移



(注) 平均出動件数は、管轄市町村の1月から12月までの救急出動件数から、4月1日現在の国勢調査人口(確定値)による管轄人口を基準に算出した値である。

## 2 救急自動車による事故種別出動件数及び搬送人員

救急自動車による事故種別ごとの出動件数は、急病（364万8,074件、62.9%）、一般負傷（82万9,071件、14.3%）、交通事故（54万3,218件、9.4%）の順で多くなっている。（第19表参照）

同じく搬送人員では、急病（329万6,582人、62.8%）が最も多く、次いで一般負傷（75万6,575人、14.4%）、交通事故（53万9,809人、10.3%）の順となっている。（第20表参照）

また、救急自動車による事故種別出動件数の構成比の推移をみると、急病及び一般負傷の占める割合は年々増加し、交通事故は減少している。（第21図参照）

第19表 救急自動車による事故種別出動件数

事故種別	平成23年中		平成24年中		対前年比	
	出動件数	構成比(%)	出動件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急病	3,562,208	62.4	3,648,074	62.9	85,866	2.4
交通事故	555,402	9.7	543,218	9.4	▲ 12,184	▲ 2.2
一般負傷	807,741	14.2	829,071	14.3	21,330	2.6
加害	40,282	0.7	39,334	0.7	▲ 948	▲ 2.4
自損行為	72,144	1.3	66,034	1.1	▲ 6,110	▲ 8.5
労働災害	47,819	0.8	48,499	0.8	680	1.4
運動競技	35,872	0.6	37,102	0.6	1,230	3.4
火災	24,822	0.4	23,284	0.4	▲ 1,538	▲ 6.2
水難	4,727	0.1	4,983	0.1	256	5.4
自然災害	2,610	0.1	840	0.0	▲ 1,770	▲ 67.8
転院搬送	478,067	8.4	483,697	8.3	5,630	1.2
その他 (転院搬送除く)	75,961	1.3	78,319	1.4	2,358	3.1
合計	5,707,655	100.0	5,802,455	100.0	94,800	1.7

(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

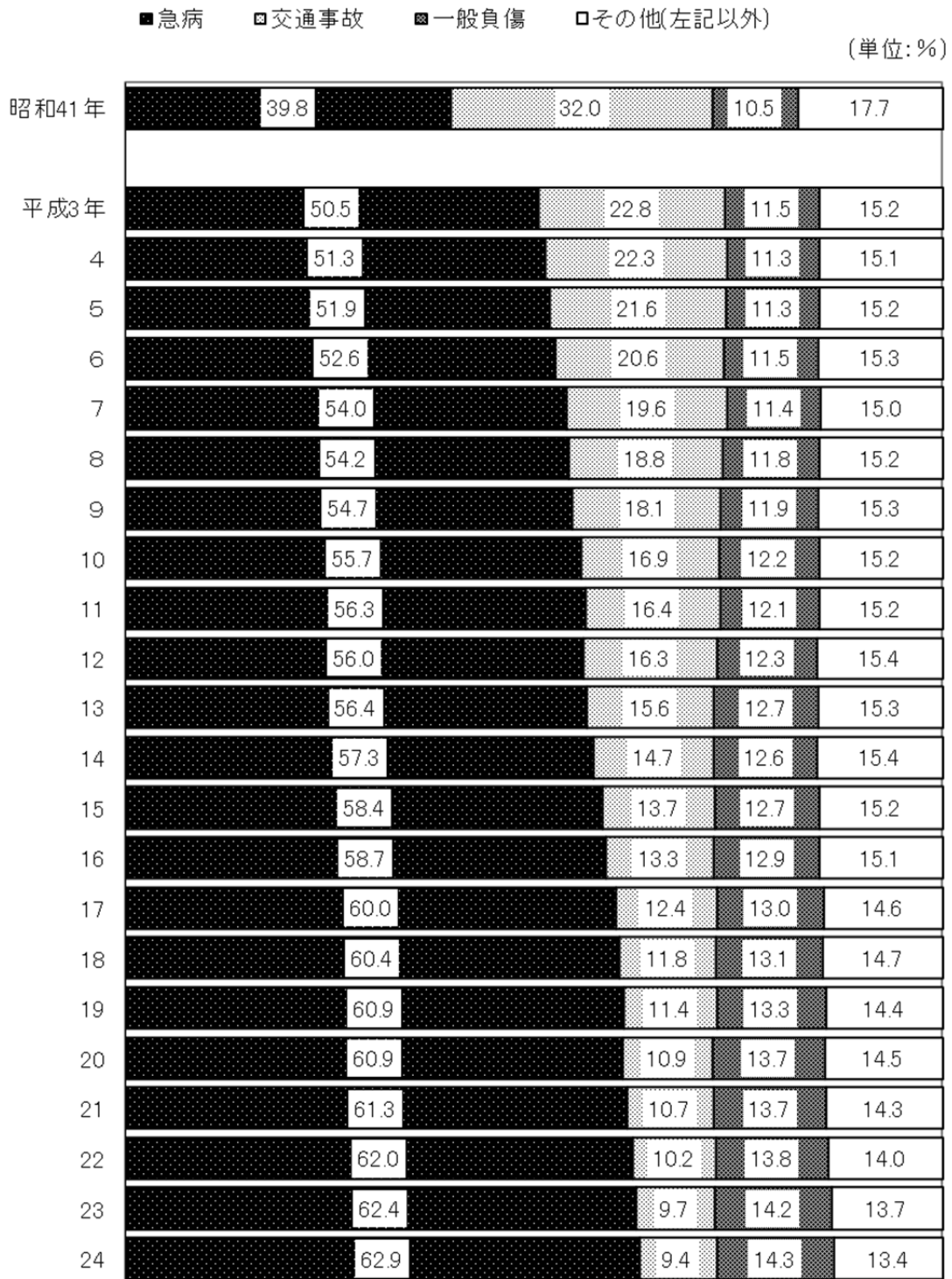
第20表 救急自動車による事故種別搬送人員

事故種別	平成23年中		平成24年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急病	3,228,856	62.3	3,296,582	62.8	67,726	2.1
交通事故	553,796	10.7	539,809	10.3	▲ 13,987	▲ 2.5
一般負傷	739,910	14.3	756,575	14.4	16,665	2.3
加害	32,646	0.6	31,617	0.6	▲ 1,029	▲ 3.2
自損行為	50,877	1.0	45,081	0.9	▲ 5,796	▲ 11.4
労働災害	46,733	0.9	47,309	0.9	576	1.2
運動競技	35,998	0.7	37,008	0.7	1,010	2.8
火災	6,671	0.1	6,110	0.1	▲ 561	▲ 8.4
水難	2,347	0.0	2,475	0.0	128	5.5
自然災害	2,447	0.1	638	0.0	▲ 1,809	▲ 73.9
その他	482,448	9.3	487,098	9.3	4,650	1.0
合計	5,182,729	100.0	5,250,302	100.0	67,573	1.3

(注) 各年とも1月から12月までの数値である。



第21図 救急自動車による事故種別出動件数構成比の推移



(注) 各年とも1月から12月までの件数に基づいた割合を示す。

救急自動車による全出動件数のうち、急病、交通事故及び一般負傷の全件数に対する割合を地域別にみると、大都市においては、出動件数210万7,362件のうち、急病が64.2%（135万3,091件）、交通事故が8.6%（18万755件）、一般負傷が15.2%（32万175件）であり、その他の市町村では、出動件数369万5,093件のうち、急病が62.1%（229万4,983件）、交通事故9.8%（36万2,463件）、一般負傷が13.8%（50万8,896件）となっており、大都市、その他の市町村ともに急病の割合が高くなっている。（第22表及び第23表参照）

**第22表 救急自動車による出動件数に対する急病、交通事故及び一般負傷の占める割合**

区分 年	大 都 市									
	急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他 (左 記 以 外)		小 計	
	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)
平成15年	972,382	60.3%	205,425	12.7%	216,789	13.5%	217,222	13.5%	1,611,818	100.0%
平成16年	1,010,583	60.8%	205,275	12.3%	226,185	13.6%	220,395	13.3%	1,662,438	100.0%
平成17年	1,084,868	62.0%	203,794	11.6%	240,784	13.7%	221,630	12.7%	1,751,076	100.0%
平成18年	1,145,922	62.3%	203,861	11.1%	256,921	14.0%	232,547	12.6%	1,839,251	100.0%
平成19年	1,157,516	62.7%	196,481	10.7%	262,612	14.2%	228,657	12.4%	1,845,266	100.0%
平成20年	1,115,125	62.6%	182,596	10.2%	260,209	14.6%	224,815	12.6%	1,782,745	100.0%
平成21年	1,156,036	63.0%	183,180	10.0%	266,649	14.5%	229,096	12.5%	1,834,961	100.0%
平成22年	1,239,452	63.4%	185,753	9.5%	286,343	14.7%	241,512	12.4%	1,953,060	100.0%
平成23年	1,312,419	63.6%	188,564	9.2%	309,756	15.0%	252,031	12.2%	2,062,770	100.0%
平成24年	1,353,091	64.2%	180,755	8.6%	320,175	15.2%	253,341	12.0%	2,107,362	100.0%

区分 年	そ の 他 の 市 町 村									
	急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他 (左 記 以 外)		小 計	
	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)	件 数	全件数に 対する 割合 (%)
平成15年	1,847,238	57.4%	457,117	14.2%	398,295	12.4%	516,345	16.0%	3,218,995	100.0%
平成16年	1,942,888	57.7%	462,653	13.7%	422,341	12.6%	538,788	16.0%	3,366,670	100.0%
平成17年	2,082,178	59.0%	450,827	12.8%	444,873	12.6%	548,982	15.6%	3,526,860	100.0%
平成18年	2,017,900	59.4%	414,862	12.2%	431,228	12.7%	534,475	15.7%	3,398,465	100.0%
平成19年	2,066,474	60.0%	405,450	11.8%	441,581	12.8%	531,465	15.4%	3,444,970	100.0%
平成20年	1,987,298	60.0%	373,884	11.3%	437,705	13.2%	515,462	15.5%	3,314,349	100.0%
平成21年	1,985,846	60.4%	363,757	11.1%	436,556	13.3%	501,106	15.2%	3,287,265	100.0%
平成22年	2,149,592	61.2%	370,816	10.6%	466,807	13.3%	523,407	14.9%	3,510,622	100.0%
平成23年	2,247,149	61.7%	366,649	10.1%	497,578	13.7%	529,585	14.5%	3,640,961	100.0%
平成24年	2,294,983	62.1%	362,463	9.8%	508,896	13.8%	528,751	14.3%	3,695,093	100.0%

(注) 1 大都市とは、政令指定都市及び東京都特別区（事務委託団体に係るものを含む。）をいう。以下同じ。

2 各年とも1月から12月までの数値である。

第23表 救急自動車による人口段階別救急出動件数

(平成24年中)

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	うち転院	合計
人口段階							
単 独 実 施 市 町 村	大都市	1,353,091 (64.2)	180,755 (8.6)	320,175 (15.2)	253,341 (12.0)	134,994 (6.4)	2,107,362 (100.0)
	30万人以上	521,065 (62.7)	81,944 (9.9)	114,500 (13.8)	113,417 (13.6)	69,882 (8.4)	830,926 (100.0)
	10万人以上 30万人未満	526,720 (62.1)	85,948 (10.1)	115,761 (13.7)	119,639 (14.1)	75,756 (8.9)	848,068 (100.0)
	5万人以上 10万人未満	219,404 (62.4)	34,452 (9.8)	49,394 (14.1)	48,337 (13.7)	32,292 (9.2)	351,587 (100.0)
	5万人未満	132,913 (60.9)	18,721 (8.6)	32,310 (14.8)	34,237 (15.7)	25,058 (11.5)	218,181 (100.0)
	小計	2,753,193 (63.2)	401,820 (9.2)	632,140 (14.5)	568,971 (13.1)	337,982 (7.8)	4,356,124 (100.0)
	消 防 事 務 組 合	30万人以上	196,662 (62.6)	33,571 (10.7)	40,765 (13.0)	42,933 (13.7)	26,860 (8.6)
10万人以上 30万人未満	447,077 (61.9)	73,123 (10.1)	97,920 (13.6)	103,571 (14.4)	70,141 (9.7)	721,691 (100.0)	
5万人以上 10万人未満	176,498 (61.6)	25,016 (8.7)	40,602 (14.2)	44,370 (15.5)	32,221 (11.2)	286,486 (100.0)	
5万人未満	74,644 (60.1)	9,688 (7.8)	17,644 (14.2)	22,247 (17.9)	16,493 (13.3)	124,223 (100.0)	
小計	894,881 (61.9)	141,398 (9.8)	196,931 (13.6)	213,121 (14.7)	145,715 (10.1)	1,446,331 (100.0)	
合 計	3,648,074 (62.9)	543,218 (9.3)	829,071 (14.3)	782,092 (13.5)	483,697 (8.3)	5,802,455 (100.0)	

(注) 1 ( )内は、構成比(単位：%)を示す。

2 他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。

事故種別ごとの年齢区分別搬送人員の状況は、急病では高齢者（189万5,647人、57.5%）、交通事故では成人（35万5,355人、65.8%）、一般負傷では高齢者（45万7,822人、60.5%）が高い割合で搬送されている。（第24表参照）

平成22年国勢調査における高齢者の人口割合は23.0%であるが、搬送人員における高齢者の割合は53.1%であり、高齢者10人に1人が搬送されていることとなる。高齢者の搬送状況は、全人口で算定した場合の24人に1人と比較して2.4倍となっている。なお、都道府県別にみると、高齢者の搬送人員割合が最も高いのは島根県の64.2%、次いで秋田県が63.7%、山形県が63.2%となっている。（第25図、別表5参照）

**第24表 救急自動車による年齢区分別事故種別搬送人員の状況**

（平成24年中）

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計	(参考) 平成22年 国勢調査人口 (構成比)
年齢区分						
新生児 (構成比:%)	1,897 (0.1)	70 (0.0)	430 (0.1)	10,925 (1.7)	13,322 (0.2)	7,454,093 (5.9) 12,996,668 (10.2) 77,384,483 (60.9) 29,245,685 (23.0)
乳幼児 (構成比:%)	155,975 (4.7)	17,579 (3.3)	65,245 (8.6)	16,233 (2.5)	255,032 (4.9)	
少年 (構成比:%)	78,532 (2.4)	56,212 (10.4)	32,864 (4.3)	33,196 (5.0)	200,804 (3.8)	
成人 (構成比:%)	1,164,531 (35.3)	355,355 (65.8)	200,214 (26.5)	274,438 (41.7)	1,994,538 (38.0)	
高齢者 (構成比:%)	1,895,647 (57.5)	110,593 (20.5)	457,822 (60.5)	322,544 (49.1)	2,786,606 (53.1)	
合計 (構成比:%)	3,296,582 (100.0)	539,809 (100.0)	756,575 (100.0)	657,336 (100.0)	5,250,302 (100.0)	

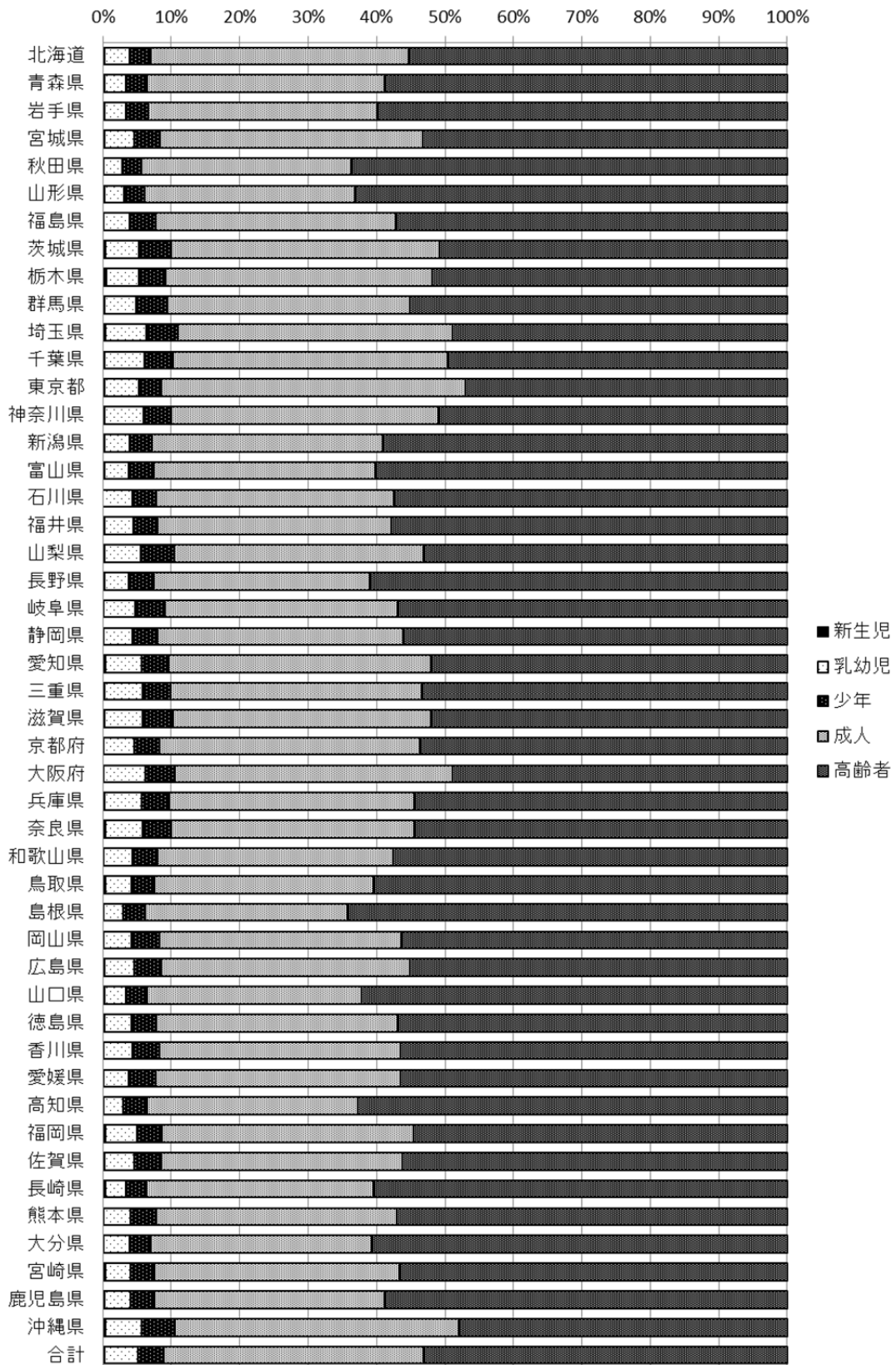
(注) 1 年齢区分は、次によっている。(以下同じ)

- (1) 新生児 生後28日未満の者
- (2) 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者 満65歳以上の者

2 本表には、平成22年国勢調査人口中の年齢不詳976,423人は、含まれていない。

第25図 都道府県別年齢区分別搬送人員構成比

(平成24年中)



事故種別ごとに曜日別の救急自動車による救急出動件数及び搬送人員数をみると、急病の出動件数は日曜日、搬送人員は月曜日、交通事故の出動件数及び搬送人員は金曜日、一般負傷の出動件数及び搬送人員は日曜日に多くなっている。(第26表及び第27表参照)

**第26表 救急自動車による事故種別曜日別出動件数**

(平成24年中)

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
月曜	555,741	15.2%	78,150	14.4%	118,611	14.3%	122,863	15.7%	82,068	17.0%	875,365	15.1%
火曜	502,534	13.8%	77,312	14.2%	109,676	13.2%	117,686	15.1%	78,050	16.1%	807,208	13.9%
水曜	498,047	13.6%	78,500	14.5%	110,821	13.4%	114,297	14.6%	74,489	15.4%	801,665	13.8%
木曜	503,255	13.8%	76,879	14.2%	111,263	13.4%	112,814	14.4%	72,500	15.0%	804,211	13.9%
金曜	509,482	14.0%	83,143	15.3%	115,330	13.9%	123,038	15.7%	82,011	17.0%	830,993	14.3%
土曜	522,503	14.3%	79,520	14.6%	126,983	15.3%	103,833	13.3%	58,127	12.0%	832,839	14.4%
日曜	556,512	15.3%	69,714	12.8%	136,387	16.5%	87,561	11.2%	36,452	7.5%	850,174	14.6%
合計	3,648,074	100.0%	543,218	100.0%	829,071	100.0%	782,092	100.0%	483,697	100.0%	5,802,455	100.0%

**第27表 救急自動車による事故種別曜日別搬送人員**

(平成24年中)

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計	
	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)
月曜	505,130	15.3%	77,343	14.3%	108,980	14.4%	105,063	16.0%	796,516	15.2%
火曜	455,501	13.8%	76,029	14.1%	100,166	13.2%	100,568	15.3%	732,264	13.9%
水曜	450,822	13.7%	77,046	14.3%	101,293	13.4%	97,120	14.8%	726,281	13.8%
木曜	455,682	13.8%	75,567	14.0%	101,643	13.4%	95,581	14.5%	728,473	13.9%
金曜	460,370	14.0%	81,765	15.2%	104,998	13.9%	105,402	16.0%	752,535	14.3%
土曜	469,003	14.2%	80,565	14.9%	115,325	15.3%	85,362	13.0%	750,255	14.3%
日曜	500,074	15.2%	71,494	13.2%	124,170	16.4%	68,240	10.4%	763,978	14.6%
合計	3,296,582	100.0%	539,809	100.0%	756,575	100.0%	657,336	100.0%	5,250,302	100.0%

事故種別ごとに月別の救急自動車による救急出動件数を見ると、急病は1月及び12月に多く、交通事故は10月及び12月、一般負傷は1月及び12月、転院搬送1月及び12月に多くなっている。搬送人員数は、急病、交通事故及び一般負傷において12月となっている。（第28表及び第29表参照）

**第28表 救急自動車による事故種別月別出動件数**

(平成24年中)

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
1月	339,552	9.3%	40,181	7.4%	74,987	9.1%	65,317	8.4%	42,800	8.8%	520,037	9.0%
2月	313,524	8.6%	38,763	7.1%	68,184	8.2%	64,368	8.2%	42,421	8.8%	484,839	8.4%
3月	304,211	8.3%	42,041	7.7%	67,863	8.2%	65,907	8.4%	41,867	8.6%	480,022	8.3%
4月	284,460	7.8%	42,646	7.9%	65,218	7.9%	63,527	8.1%	39,276	8.1%	455,851	7.9%
5月	278,132	7.6%	43,033	7.9%	64,118	7.7%	64,156	8.2%	39,026	8.1%	449,439	7.7%
6月	266,196	7.3%	43,145	8.0%	60,727	7.3%	62,263	8.0%	37,466	7.7%	432,331	7.4%
7月	322,981	8.8%	48,695	9.0%	68,681	8.3%	67,629	8.6%	39,029	8.1%	507,986	8.7%
8月	319,857	8.8%	49,596	9.1%	70,008	8.4%	67,328	8.6%	39,142	8.1%	506,789	8.7%
9月	280,644	7.7%	45,853	8.4%	64,502	7.8%	62,981	8.1%	36,649	7.6%	453,980	7.8%
10月	287,790	7.9%	49,971	9.2%	72,153	8.7%	66,213	8.5%	41,432	8.6%	476,127	8.2%
11月	297,899	8.2%	47,616	8.8%	69,993	8.4%	64,228	8.2%	41,232	8.5%	479,736	8.3%
12月	352,828	9.7%	51,678	9.5%	82,637	10.0%	68,175	8.7%	43,357	9.0%	555,318	9.6%
合計	3,648,074	100.0%	543,218	100.0%	829,071	100.0%	782,092	100.0%	483,697	100.0%	5,802,455	100.0%

**第29表 救急自動車による事故種別月別搬送人員**

(平成24年中)

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計	
	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)
1月	305,883	9.3%	40,072	7.4%	68,377	9.0%	54,941	8.4%	469,273	8.9%
2月	281,371	8.5%	37,995	7.0%	61,994	8.2%	54,530	8.3%	435,890	8.3%
3月	273,663	8.3%	41,651	7.7%	61,604	8.1%	55,482	8.4%	432,400	8.2%
4月	256,812	7.8%	42,460	7.9%	59,405	7.9%	53,357	8.1%	412,034	7.9%
5月	251,903	7.7%	42,955	8.0%	58,511	7.7%	54,044	8.2%	407,413	7.8%
6月	240,828	7.3%	42,581	7.9%	55,131	7.3%	52,430	8.0%	390,970	7.4%
7月	293,094	8.9%	48,525	9.0%	62,915	8.3%	56,553	8.6%	461,087	8.8%
8月	290,401	8.8%	50,382	9.3%	64,380	8.5%	55,639	8.5%	460,802	8.8%
9月	254,704	7.7%	45,849	8.5%	59,129	7.8%	52,643	8.0%	412,325	7.9%
10月	260,744	7.9%	49,423	9.2%	66,250	8.8%	56,041	8.5%	432,458	8.2%
11月	269,880	8.2%	47,026	8.7%	64,009	8.5%	54,614	8.3%	435,529	8.3%
12月	317,299	9.6%	50,890	9.4%	74,870	9.9%	57,062	8.7%	500,121	9.5%
合計	3,296,582	100.0%	539,809	100.0%	756,575	100.0%	657,336	100.0%	5,250,302	100.0%

救急自動車による搬送人員 525 万 302 人の住所について、出動した救急隊の所属消防本部管内管外別の割合を示したのが第 30 表であり、465 万 4,238 人 (88.7%) が出動した救急隊の所属消防本部の管轄内に住所を有する者である。

救急自動車による発生場所別搬送人員の割合を示したものが第 31 図であり、住宅内で発生した割合が半数を超えている (57.0%)。

**第30表 救急自動車による管内管外別搬送人員の状況**

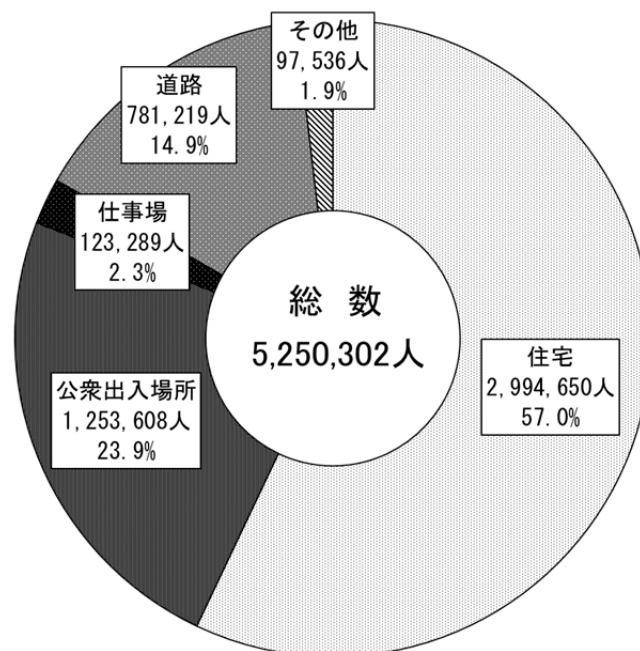
(平成24年中)

区分	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計
管内に住所を有する者 (構成比: %)		3,035,740 (92.1)	409,883 (75.9)	678,797 (89.7)	529,818 (80.6)	4,654,238 (88.7)
管外に住所を有する者 (構成比: %)		246,207 (7.5)	128,025 (23.7)	74,013 (9.8)	124,766 (19.0)	573,011 (10.9)
その他 (構成比: %)		14,635 (0.4)	1,901 (0.4)	3,765 (0.5)	2,752 (0.4)	23,053 (0.4)
合計 (構成比: %)		3,296,582 (100.0)	539,809 (100.0)	756,575 (100.0)	657,336 (100.0)	5,250,302 (100.0)

(注) 「その他」とは、外国人旅行者 (外国人のうち日本に住所を有している者を除く外国人)、または住所が判明しない者等をいう。

**第31図 救急自動車による発生場所別搬送人員**

(平成24年中)





### 3 救急自動車による医療機関別搬送人員の状況

平成 24 年中における救急自動車による搬送人員 525 万 302 人について、医療機関等への搬送人員の状況を示したのが第 32 表である。医療機関に搬送された 524 万 4,063 人について、救急病院等を定める省令(昭和 39 年厚生省令第 8 号)に基づく告示の有無ごとに開設者別搬送人員割合を示したのが第 33 図であり、開設者ごとに告示・非告示別に搬送人員割合を示したのが第 34 図である。(別表 6 参照)

第32表 救急自動車による医療機関種別搬送人員の状況

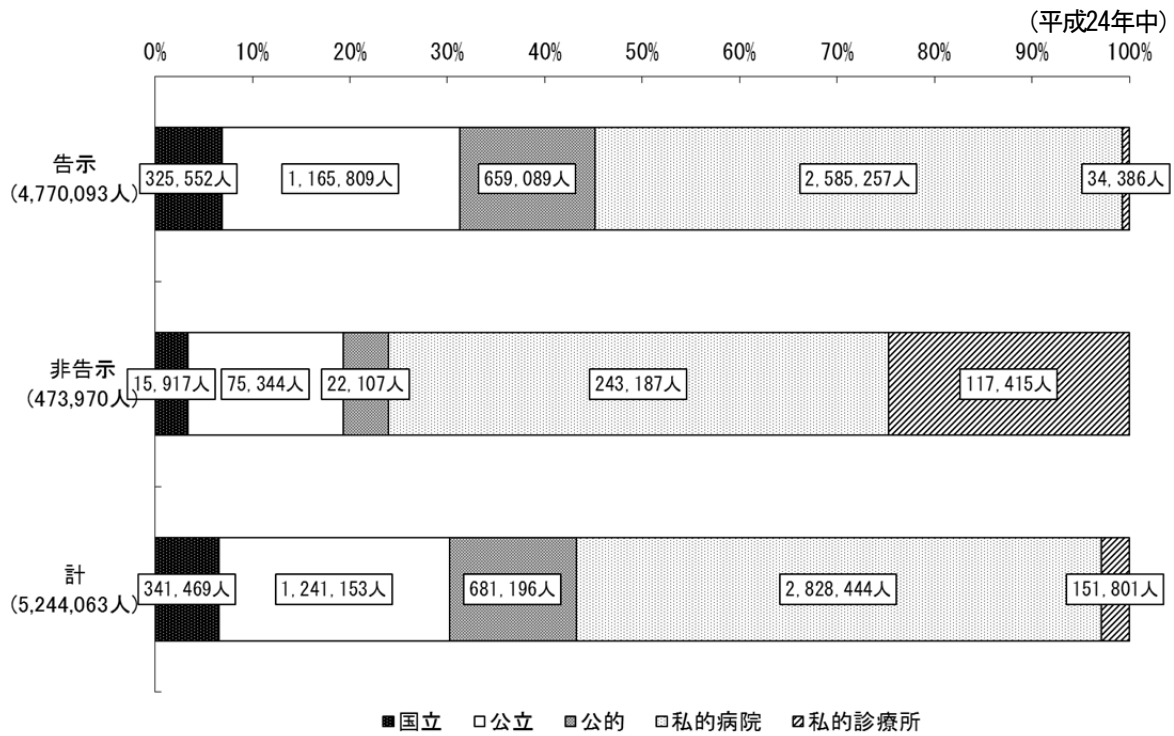
(平成24年中 単位：人)

		告示	(うち管外)	非告示	(うち管外)	合計	(うち管外)
医療機関	国立	325,552	58,534	15,917	7,746	341,469	66,280
	公立	1,165,809	179,302	75,344	16,578	1,241,153	195,880
	公的	659,089	133,881	22,107	3,788	681,196	137,669
	私的病院	2,585,257	424,025	243,187	71,099	2,828,444	495,124
	私的診療所	34,386	4,483	117,415	11,134	151,801	15,617
	計	4,770,093	800,225	473,970	110,345	5,244,063	910,570
その他の場所	接骨院等	—	—	213	16	213	16
	その他	—	—	6,026	1,704	6,026	1,704
	計	—	—	6,239	1,720	6,239	1,720
合計		4,770,093	800,225	480,209	112,065	5,250,302	912,290

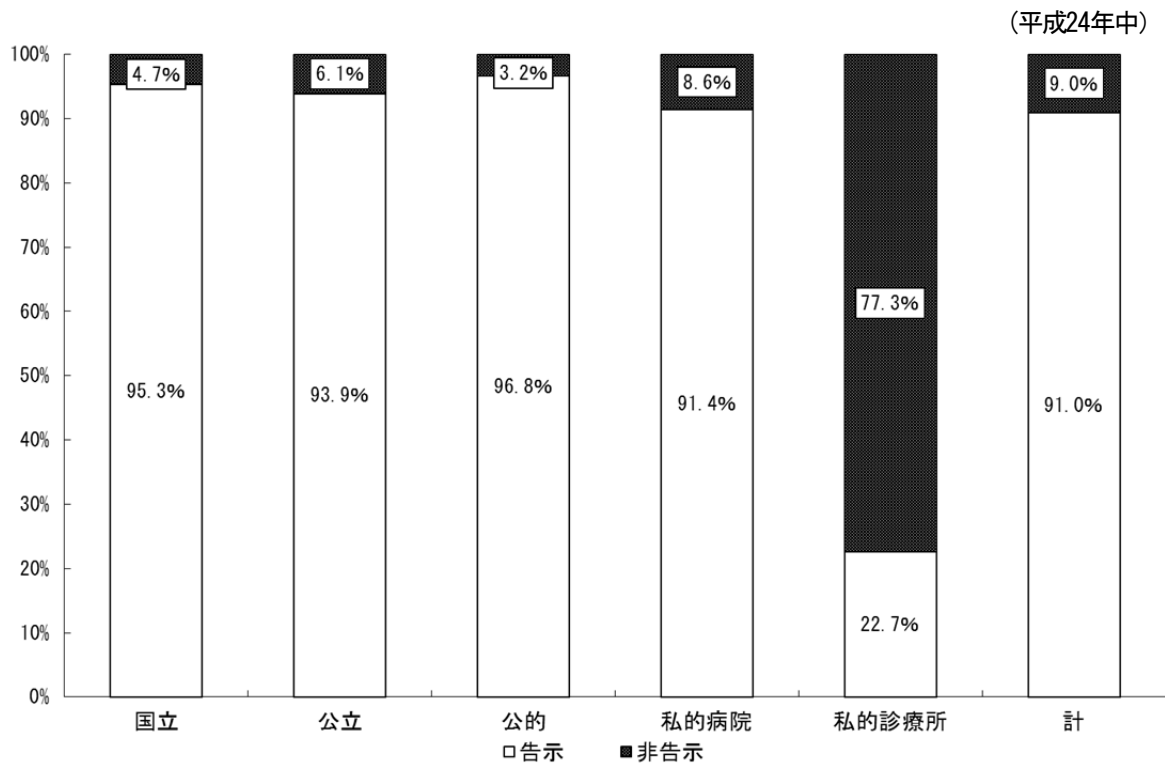
(注) 1 医療機関の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国(国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。)であるもの。
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第1項に規定する地方自治体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは開設者が次のものであるもの。
  - a 普通国民健康保険組合
  - b 日本赤十字社
  - c 社会福祉法人恩賜財団済生会
  - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会
  - e 社会福祉法人北海道社会事業協会
- 2 医療機関以外の場所へ搬送した場合は、「その他の場所」の欄に、その搬送人員を記載した。
- 3 「その他の場所」へ搬送した場合で搬送先があんま、はり、灸、接骨院及び助産所の場合は「接骨院等」の欄に、その他の場合は「その他」の欄に、その搬送人員を記載した。
- 4 医療機関の区分は、傷病者を医療機関に収容した時点における区分によるものとした。
- 5 1つの搬送事例で、傷病者を2以上の医療機関等へ搬送した場合は、最終に収容された最終の医療機関等として計上した。

第33図 告示・非告示別の開設者別搬送人員割合



第34図 開設者別の告示・非告示別搬送人員割合



救急自動車による搬送人員525万302人のうち、91万2,290人（17.4%）が、出動した救急隊が所属する消防本部の管轄外の医療機関等に搬送されている。これを人口段階別にみると、単独、組合の別にかかわらず、人口段階が小さくなるほど管外搬送率が高くなる傾向が顕著であり、単独消防本部では大都市が5.0%となっているのに対し、人口5万人未満では47.9%となっている。（第35表参照）

**第35表 救急自動車による人口段階別管外搬送状況**

（平成24年中）

人口段階	搬送人員		管外搬送率	
	搬送人員	うち管外搬送人員		
単独実施市町村	大都市	1,832,505	91,403	5.0%
	30万人以上	749,350	92,028	12.3%
	10万人以上30万人未満	780,566	156,893	20.1%
	5万人以上10万人未満	328,604	121,447	37.0%
	5万人未満	206,889	99,121	47.9%
	計	3,897,914	560,892	14.4%
消防事務組合	30万人以上	289,742	42,295	14.6%
	10万人以上30万人未満	674,184	165,088	24.5%
	5万人以上10万人未満	270,060	97,682	36.2%
	5万人未満	118,402	46,333	39.1%
	計	1,352,388	351,398	26.0%
合計	5,250,302	912,290	17.4%	

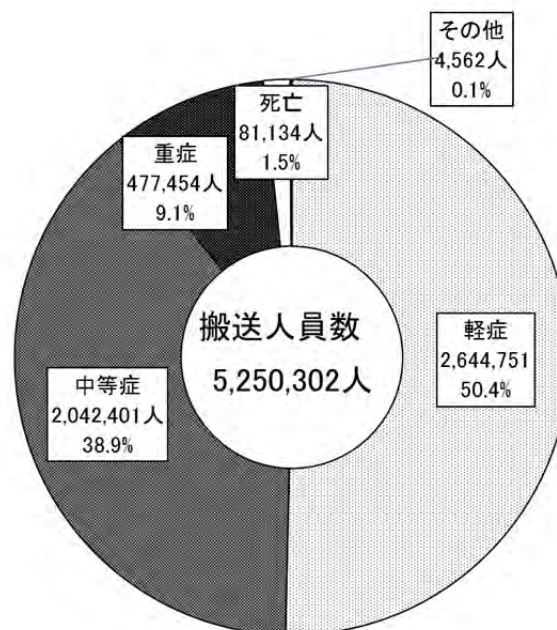
（注）他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。

#### 4 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況

平成24年中の救急自動車による搬送人員525万302人の傷病程度の状況は、軽症（264万4,751人、50.4%）、中等症（204万2,401人、38.9%）、重症（47万7,454人、9.1%）、死亡（8万1,134人、1.5%）、その他（4,562人、0.1%）となっている。（第36図参照）

第36図 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況

（平成24年中）



（注） 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のように分類した。

- 1 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
- 2 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
- 3 中等症とは、傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。
- 4 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- 5 その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものをいう。

事故種別ごとに軽症者の占める割合の推移をみると、急病の割合が49.4%、交通事故の割合が77.8%、一般負傷の割合が60.0%となっている。また、軽症者の割合は、大都市部の方がその他の市町村に比べ高くなっており、都道府県別にみると、大阪府（62.8%）、京都府（61.9%）、滋賀県（58.7%）の順に高くなっている。（第37表、第38表、第39図、別表7参照）

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症者として分類されている。

また、各年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況は第40表のとおりである。

**第37表 救急自動車による事故種別軽症者割合の推移**

（単位：％）

事故種別	年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
軽症者の割合		51.3	51.6	52.1	52.0	51.7	50.8	50.7	50.4	50.4	50.4
単位：％	急病	48.4	48.9	49.8	50.1	49.9	49.1	49.3	49.1	49.3	49.4
	交通事故	77.4	78.0	78.6	78.9	78.7	78.6	78.3	78.1	78.0	77.8
	一般負傷	62.8	63.0	63.1	63.0	62.4	61.7	61.0	60.4	60.4	60.0
	その他	23.1	23.4	23.2	23.4	23.2	22.3	21.8	21.6	21.8	21.6

（注） 各年の数値は1月から12月までの数値に基づく割合である。

**第38表 事故種別の傷病程度別搬送人員の状況**

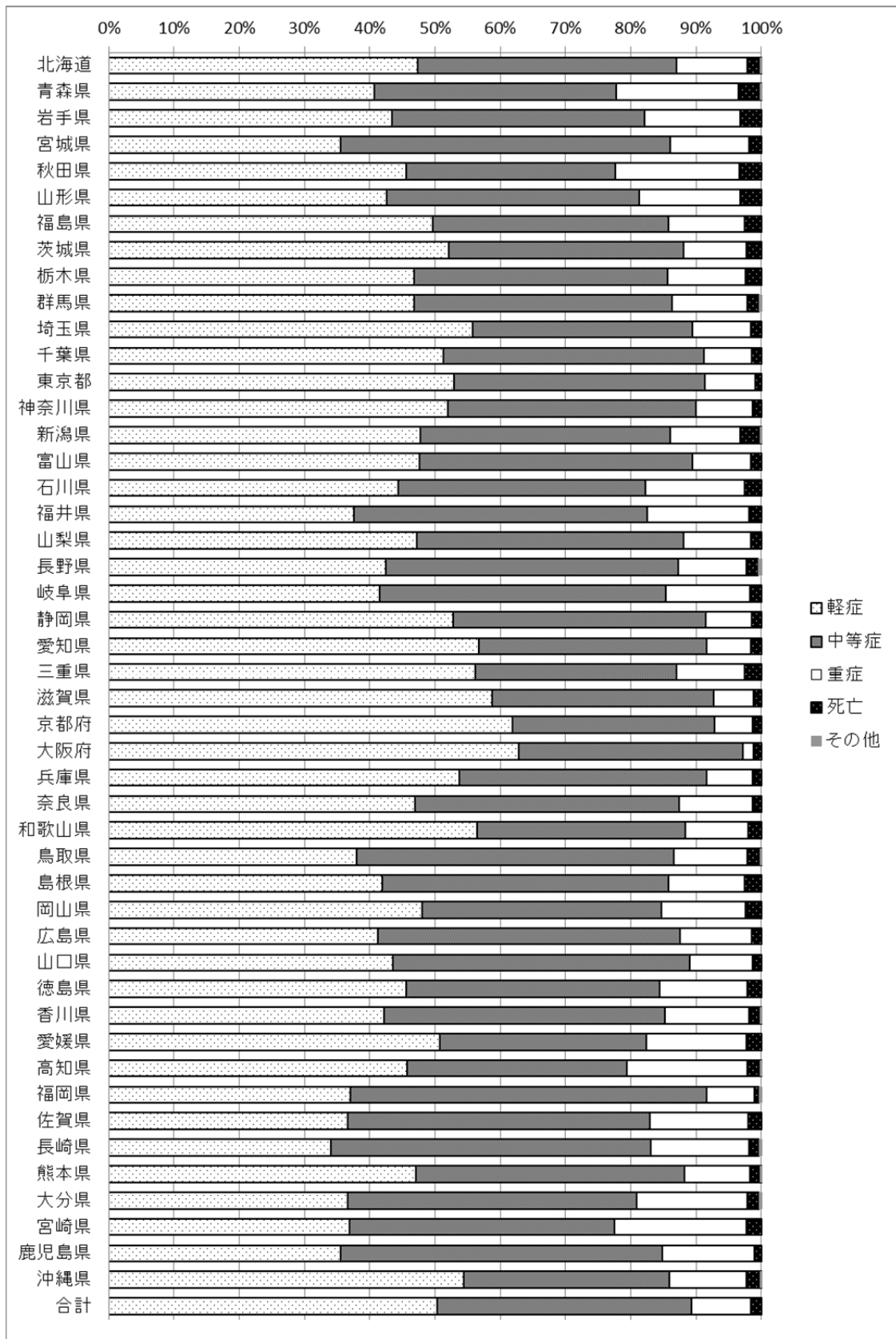
（平成24年中）

事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他（左記以外）		合計	
程度											
大都市	死亡	13,897	(1.2)	376	(0.2)	1,246	(0.4)	2,342	(1.2)	17,861	(1.0)
	重症	73,223	(6.2)	4,222	(2.5)	9,986	(3.6)	27,296	(13.9)	114,727	(6.3)
	中等症	479,987	(40.5)	28,417	(16.8)	88,367	(31.4)	116,823	(59.6)	713,594	(38.9)
	軽症	618,200	(52.1)	136,602	(80.5)	181,408	(64.5)	49,165	(25.1)	985,375	(53.8)
	その他	431	(0.0)	51	(0.0)	182	(0.1)	284	(0.2)	948	(0.0)
	計	1,185,738	(100.0)	169,668	(100.0)	281,189	(100.0)	195,910	(100.0)	1,832,505	(100.0)
その他の市町村	死亡	50,028	(2.4)	2,132	(0.6)	4,787	(1.0)	6,326	(1.4)	63,273	(1.9)
	重症	199,256	(9.4)	16,722	(4.5)	46,319	(9.7)	100,430	(21.8)	362,727	(10.6)
	中等症	849,564	(40.2)	67,262	(18.2)	151,233	(31.8)	260,748	(56.5)	1,328,807	(38.9)
	軽症	1,010,628	(47.9)	283,519	(76.6)	272,651	(57.4)	92,578	(20.0)	1,659,376	(48.5)
	その他	1,368	(0.1)	506	(0.1)	396	(0.1)	1,344	(0.3)	3,614	(0.1)
	計	2,110,844	(100.0)	370,141	(100.0)	475,386	(100.0)	461,426	(100.0)	3,417,797	(100.0)
全体	死亡	63,925	(1.9)	2,508	(0.5)	6,033	(0.8)	8,668	(1.3)	81,134	(1.5)
	重症	272,479	(8.3)	20,944	(3.9)	56,305	(7.4)	127,726	(19.4)	477,454	(9.1)
	中等症	1,329,551	(40.3)	95,679	(17.7)	239,600	(31.7)	377,571	(57.4)	2,042,401	(38.9)
	軽症	1,628,828	(49.4)	420,121	(77.8)	454,059	(60.0)	141,743	(21.6)	2,644,751	(50.4)
	その他	1,799	(0.1)	557	(0.1)	578	(0.1)	1,628	(0.3)	4,562	(0.1)
	合計	3,296,582	(100.0)	539,809	(100.0)	756,575	(100.0)	657,336	(100.0)	5,250,302	(100.0)

（注） （ ）内は、事故種別ごとの構成比(単位：％)を示す。

第39図 都道府県別傷病程度別搬送人員構成比

(平成24年中)



第40表 救急自動車による年齢区分別の傷病程度別搬送人員の状況

(平成24年中)

年齢区分 程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡	76 (0.6)	527 (0.2)	331 (0.2)	15,677 (0.8)	64,523 (2.3)	81,134 (1.5)
重症	2,239 (16.8)	4,275 (1.7)	4,517 (2.2)	122,547 (6.1)	343,876 (12.3)	477,454 (9.1)
中等症	9,075 (68.1)	51,641 (20.2)	43,927 (21.9)	623,178 (31.3)	1,314,580 (47.2)	2,042,401 (38.9)
軽症	1,818 (13.6)	198,326 (77.8)	151,872 (75.6)	1,231,144 (61.7)	1,061,591 (38.1)	2,644,751 (50.4)
その他	114 (0.9)	263 (0.1)	157 (0.1)	1,992 (0.1)	2,036 (0.1)	4,562 (0.1)
合計	13,322 (100.0)	255,032 (100.0)	200,804 (100.0)	1,994,538 (100.0)	2,786,606 (100.0)	5,250,302 (100.0)

(注) ( )内は年齢区分別の構成比(単位：%)を示す。

## 5 救急自動車による急病の搬送人員の状況

平成24年中の救急自動車による急病の搬送人員329万6,582人の疾病分類別、年齢区分別、傷病程度別の状況を示したのが第41表、第42表及び第43表である。これによると、疾病分類別では脳疾患、心疾患等を含む循環器系が多く60万1,138人(18.3%)となっている。特に高齢者では、その割合が高くなっており23.3%を占めている。(第41表参照)

また、年齢区分別傷病程度でみると、全体では中等症以上(傷病程度「その他」を除く)の割合は、50.5%となっているが、高齢者では61.7%と高くなっている。(第43表参照)

第41表 救急自動車による急病の年齢区分別の疾病分類別搬送人員の状況

(平成24年中)

年齢区分		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
分類項目							
循環器系	脳疾患	41 (2.2)	3,922 (2.5)	3,285 (4.2)	83,474 (7.2)	228,008 (12.0)	318,730 (9.7)
	心疾患等	16 (0.8)	432 (0.3)	838 (1.1)	67,623 (5.8)	213,499 (11.3)	282,408 (8.6)
消化器系		86 (4.5)	8,042 (5.2)	8,132 (10.3)	152,101 (13.0)	169,260 (8.9)	337,621 (10.2)
呼吸器系		151 (8.0)	17,289 (11.1)	8,153 (10.4)	62,541 (5.4)	208,963 (11.0)	297,097 (9.0)
精神系		6 (0.3)	314 (0.2)	4,978 (6.3)	95,040 (8.2)	21,141 (1.1)	121,479 (3.7)
感覚系		26 (1.4)	9,535 (6.1)	8,070 (10.3)	60,941 (5.2)	62,779 (3.3)	141,351 (4.3)
泌尿器系		3 (0.1)	191 (0.1)	840 (1.1)	55,945 (4.8)	47,272 (2.5)	104,251 (3.1)
新生物		0 (0.0)	43 (0.0)	70 (0.1)	13,829 (1.2)	39,050 (2.1)	52,992 (1.6)
その他		865 (45.6)	37,253 (23.9)	17,890 (22.8)	235,355 (20.2)	353,642 (18.7)	645,005 (19.6)
症状・徴候・診断名不明確の状態		703 (37.1)	78,954 (50.6)	26,276 (33.4)	337,682 (29.0)	552,033 (29.1)	995,648 (30.2)
合計		1,897 (100.0)	155,975 (100.0)	78,532 (100.0)	1,164,531 (100.0)	1,895,647 (100.0)	3,296,582 (100.0)

(注) 1 急病の疾病分類とは、急病に係るものについて初診時の医師の診断に基づく傷病名をWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類(ICD)により分類したものである。

- (1) 「脳疾患」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0904 脳梗塞」及び「a-0905 その他の脳疾患」をいう。
- (2) 「心疾患等」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0901 高血圧性疾患」から「a-0903 その他の心疾患」まで、及び「a-0906 その他循環器系の疾患」までをいう。
- (3) 「消化器系」とは、「XI消化器系の疾患」をいう。
- (4) 「呼吸器系」とは、「X呼吸器系の疾患」をいう。
- (5) 「精神系」とは、「V精神及び行動の障害」をいう。
- (6) 「感覚器系」とは、「VI神経系の疾患」、「VII眼及び付属器の疾患」、「VIII耳及び乳様突起の疾患」をいう。
- (7) 「泌尿器系」とは、「XIV腎尿路生殖器系の疾患」をいう。
- (8) 「新生物」とは、「II新生物」をいう。
- (9) 「その他」とは、上記以外の大分類項群「I・III・IV・XII・XIII・XV・XVI・XVII・XIX・XX・XXI」に分類されるものおよび医療機関以外に搬送されたものをいう。
- (10) 「症状・徴候・診断名不明確の状態」とは、「XVIII症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」をいう。

なお、「〇〇の疑い」はすべてその傷病名により分類する。

- 2 ( )内は年齢区分別の構成比(単位:%)を示す。



第42表 救急自動車による急病の傷病程度別の疾病分類別搬送人員の状況

(平成24年中)

程度		死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
分類項目							
循環器系	脳疾患	2,660 (4.2)	72,979 (26.8)	169,064 (12.7)	74,027 (4.5)	0 (0.0)	318,730 (9.7)
	心疾患等	22,921 (35.9)	54,382 (20.0)	120,443 (9.1)	84,662 (5.2)	0 (0.0)	282,408 (8.6)
消化器系		917 (1.4)	17,999 (6.6)	158,857 (11.9)	159,848 (9.8)	0 (0.0)	337,621 (10.2)
呼吸器系		3,136 (4.9)	33,122 (12.1)	158,321 (11.9)	102,518 (6.3)	0 (0.0)	297,097 (9.0)
精神系		10 (0.0)	1,787 (0.7)	24,402 (1.8)	95,280 (5.8)	0 (0.0)	121,479 (3.7)
感覚系		74 (0.1)	2,423 (0.9)	44,825 (3.4)	94,029 (5.8)	0 (0.0)	141,351 (4.3)
泌尿器系		273 (0.4)	3,810 (1.4)	38,495 (2.9)	61,673 (3.8)	0 (0.0)	104,251 (3.1)
新生物		2,264 (3.5)	12,892 (4.7)	31,762 (2.4)	6,074 (0.4)	0 (0.0)	52,992 (1.6)
その他		8,755 (13.7)	27,724 (10.2)	239,016 (18.0)	369,510 (22.7)	0 (0.0)	645,005 (19.6)
症状・徴候・診断名 不明確の状態		22,915 (35.9)	45,361 (16.6)	344,366 (25.9)	581,207 (35.7)	1,799 (100.0)	995,648 (30.2)
合計		63,925 (100.0)	272,479 (100.0)	1,329,551 (100.0)	1,628,828 (100.0)	1,799 (100.0)	3,296,582 (100.0)

(注) ( )内は構成比(単位：%)を示す。

第43表 救急自動車による急病に係る年齢区分別の傷病程度別搬送人員の状況

(平成24年中)

年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
程度						
死亡	49 (2.6)	372 (0.2)	101 (0.1)	9,219 (0.8)	54,184 (2.9)	63,925 (1.9)
重症	98 (5.2)	1,577 (1.0)	841 (1.1)	60,789 (5.2)	209,174 (11.0)	272,479 (8.3)
中等症	761 (40.1)	33,021 (21.2)	17,531 (22.3)	372,102 (31.9)	906,136 (47.8)	1,329,551 (40.3)
軽症	978 (51.5)	120,931 (77.5)	60,014 (76.4)	721,656 (62.0)	725,249 (38.3)	1,628,828 (49.4)
その他	11 (0.6)	74 (0.1)	45 (0.1)	765 (0.1)	904 (0.0)	1,799 (0.1)
合計	1,897 (100.0)	155,975 (100.0)	78,532 (100.0)	1,164,531 (100.0)	1,895,647 (100.0)	3,296,582 (100.0)

(注) ( )内は構成比(単位：%)を示す。

## 6 救急自動車による現場到着所要時間別出動件数及び収容所要時間別搬送人員の状況

### (1) 救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況

平成24年中の救急自動車による救急出動件数580万2,455件について、現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の救急出動件数の状況を示したのが第44表及び第45図である。これによると最も多いのが5分以上10分未満の363万9,274件で全体の62.7%、次いで10分以上20分未満のものが25.2%となっている。また、現場到着所要時間の全国平均は8.3分であった。（別表8の1及び別表8の2参照）

**第44表 救急自動車による現場到着所要時間別事故種別出動件数の状況**

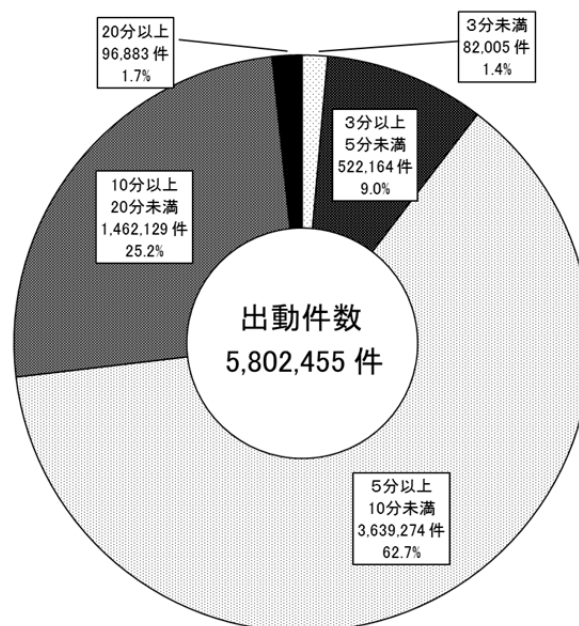
(平成24年中)

現場到着 所要時間		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均(分)
事故種別								
件 数	急病	82,005 (1.4)	522,164 (9.0)	3,639,274 (62.7)	1,462,129 (25.2)	96,883 (1.7)	5,802,455 (100.0)	8.3
	交通事故	41,878 (1.1)	292,994 (8.0)	2,330,989 (63.9)	932,533 (25.6)	49,680 (1.4)	3,648,074 (100.0)	8.3
	一般負傷	7,933 (1.5)	49,512 (9.1)	326,437 (60.1)	142,989 (26.3)	16,347 (3.0)	543,218 (100.0)	8.7
	その他	10,585 (1.3)	67,680 (8.2)	516,057 (62.2)	219,544 (26.5)	15,205 (1.8)	829,071 (100.0)	8.5
	その他	21,609 (2.8)	111,978 (14.3)	465,791 (59.5)	167,063 (21.4)	15,651 (2.0)	782,092 (100.0)	7.9

(注) ( )内は構成比(単位：%)を示す。

**第45図 救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況**

(平成24年中)



(2) 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況

平成24年中の救急自動車による搬送人員525万302人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の搬送人員の状況を示したのが第46表及び第47図である。これによると最も多いのが30分以上60分未満の294万7,563人で全体の56.1%を占めている。収容所要時間は、全国平均38.7分となっており、最も短いのは福岡県の29.4分、次いで富山県の29.7分となっている。全国平均より長いのは10都道府県となっている。（別表9の1及び別表9の2参照）

第46表 救急自動車による収容所要時間別事故種別搬送人員の状況

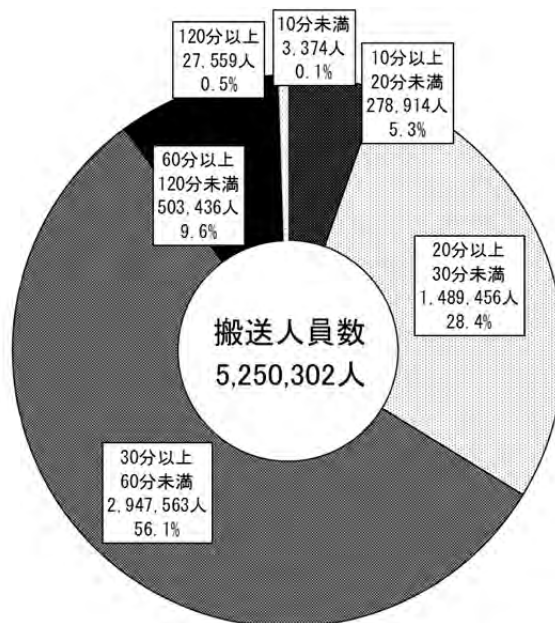
(平成24年中)

事故種別	収容所要時間							合計	平均(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上			
搬送人員	3,374 (0.1)	278,914 (5.3)	1,489,456 (28.4)	2,947,563 (56.1)	503,436 (9.6)	27,559 (0.5)	5,250,302 (100.0)	38.7	
急病	1,564 (0.0)	151,951 (4.6)	939,032 (28.5)	1,898,050 (57.6)	291,216 (8.8)	14,769 (0.5)	3,296,582 (100.0)	38.4	
交通事故	500 (0.1)	30,538 (5.6)	154,829 (28.7)	299,223 (55.5)	52,182 (9.6)	2,537 (0.5)	539,809 (100.0)	38.5	
一般負傷	482 (0.1)	34,838 (4.6)	195,446 (25.8)	431,101 (57.0)	89,298 (11.8)	5,410 (0.7)	756,575 (100.0)	40.6	
その他 (上記以外)	828 (0.1)	61,587 (9.4)	200,149 (30.4)	319,189 (48.6)	70,740 (10.8)	4,843 (0.7)	657,336 (100.0)	38.1	

(注) ( )内は構成比(単位：%)を示す。

第47図 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況

(平成24年中)



## 7 救急自動車による転送の状況

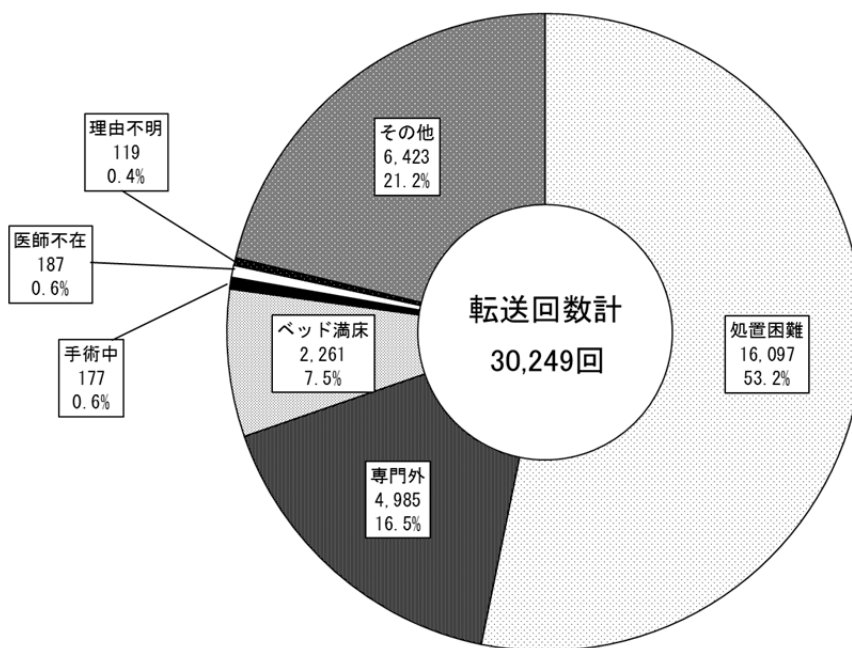
平成24年中の救急自動車による搬送人員525万302人のうち、1回以上転送された人は、2万9,798人(0.6%)であった。

転送回数計3万249回について、転送したごとの理由を示したのが第48図である。

また転送者数の推移を見ると、平成24年中の全搬送人員のうち0.6%の傷病者が1回以上転送されているが、ここ数年その割合は横ばいである。(第49表参照)

第48図 救急自動車による転送理由の状況

平成24年中)



(注) 1 「転送」とは、傷病者を搬送した医療機関が収容不能であったために、同一救急隊が引き続いて同一傷病者を他の医療機関に搬送した場合をいう。

2 1件の事故で2人以上転送した場合は、搬送人員ごとにその転送理由を記載している。したがって、1件の事故で2人を転送した場合は、その理由が同じであっても、転送件数(理由)は2回となっている。

第49表 全搬送人員数に占める転送者数の割合の推移

(単位：人)

年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
転送者数	36,202	31,475	30,497	31,728	30,338	29,798
搬送人員数に占める 転送者数の割合(%)	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
対前年増減数 (増減率%)	2,970 (8.9)	▲ 4,727 (▲13.1)	▲ 978 (▲3.1)	1,231 (3.9)	▲ 1,390 (▲4.6)	▲ 540 (▲1.8)

(注) 各年とも1月から12月までの数値と、それに基づく割合である。

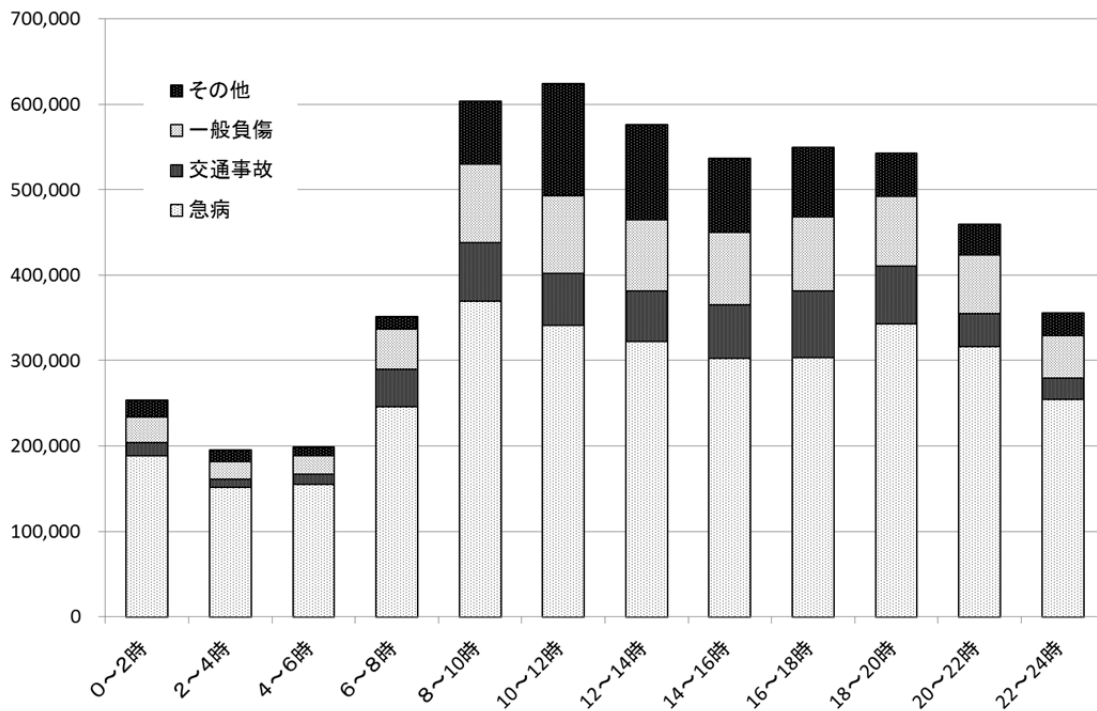
## 8 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況

覚知時刻による搬送人員は、10時から12時が62万4,091人と最も多く、2時から4時までが19万5,555人と最も少なくなっている。

(第50図、別表10参照)

第50図 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況

(平成24年中 単位：人)



## 9 医師の現場出動の状況

救急隊活動において、傷病者が重篤な状態や救出困難な状況の場合、医師による現場における医療行為や医師の指示のもとに救急活動を行うことがある。このような事態に対応するため、嘱託医師又はその他の医師を現場に要請して現場活動を実施している消防機関がある。具体的には、医療機関に隣接した救急ワークステーションなどの救急隊員の研修を行いながら、重篤事案の際に医師と共に出動する拠点施設やドクターカー、ドクターヘリにより医師が現場出動するものである。

平成24年中の医師が現場に赴いた件数は、2万2,793件であり、このうち急病が1万818件(47.5%)となっている。

## 10 救急隊員の行った応急処置等の状況

平成24年中の救急自動車による搬送人員のうち、応急処置等を実施した傷病者は、全体の97.3%にあたる510万7,749人で、その実施状況を事故種別ごとに示したのが第52表、傷病程度別に示したものが第53表である。

応急処置等の内容をみると、いずれの種別においても、約9割の傷病者に対して血圧測定及び血中酸素飽和度測定の処置が行われている。それらの処置に加えて急病においては心電図測定、保温、酸素吸入の処置が、交通事故では固定処置が多くなっている。

平成3年8月の「救急隊員の行う応急処置等の基準」（昭和53年消防庁告示第2号）の改正により拡大された応急処置等が実施された件数は、1,274万391件である。（第51表参照）

**第51表 拡大された応急処置等実施件数及び特定行為件数の推移**

区 分	年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
拡大された 応急処置等件数		11,628,405	11,620,879	11,313,432	11,029,706	11,794,004	12,566,842	12,740,391
うち、医師による指示 を必要とするもの		78,490	84,316	92,777	97,164	106,140	114,860	122,054

(注) 1 拡大された応急処置等とは次のもの、及び2に掲げるものをいう。

- (1) 自動式心マッサージ
  - (2) 在宅療法の継続
  - (3) ショックパンツを使用した血圧保持等
  - (4) 血圧測定
  - (5) 聴診器を使用した心音・呼吸音聴取
  - (6) 血中酸素飽和度測定
  - (7) 心電図測定等
  - (8) 経鼻エアウェイによる気道確保
  - (9) 喉頭鏡、マギール鉗子による異物除去
- 2 医師による指示を必要とする応急処置等とは、次のものをいう。
- (1) 自動体外式除細動器による除細動(平成16年7月から可能となった救急救命士以外の救急隊員による実施分も含む)
  - (2) 静脈路確保のための輸液
  - (3) ラリングアルマスク等、器具による気道確保
  - (4) 気管挿管(救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の数値である)
  - (5) 薬剤投与【アドレナリン投与】(救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降の数値である) 又は自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリンの投与
- 3 各年とも1月から12月までの数値である。
- 4 東日本大震災の影響により、平成22年の陸前高田市消防本部及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

第52表 救急隊員の行った応急処置等の状況（事故種別別による分類）

（平成24年中 単位：人）

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置等対象搬送人員		3,218,187	521,621	733,645	634,296	5,107,749
応 急 処 置 等 項 目	止血	19,662 (0.2)	25,918 (1.4)	68,591 (2.7)	17,864 (0.8)	132,035 (0.7)
	被覆	16,692 (0.1)	102,691 (5.5)	177,283 (7.1)	40,420 (1.8)	337,086 (1.8)
	固定	31,175 (0.3)	250,433 (13.4)	147,540 (5.9)	48,415 (2.2)	477,563 (2.6)
	保温	1,008,553 (8.5)	95,628 (5.1)	186,481 (7.4)	173,913 (7.8)	1,464,575 (7.9)
	酸素吸入	803,588 (6.8)	44,303 (2.4)	55,648 (2.2)	198,460 (8.8)	1,101,999 (6.0)
	人工呼吸	30,203 (0.3)	924 (0.1)	3,105 (0.1)	5,139 (0.2)	39,371 (0.2)
	胸骨圧迫	6,582 (0.1)	254 (0.0)	753 (0.0)	956 (0.0)	8,545 (0.0)
	●うち自動式心マッサージ器	1,250	16	159	160	1,585
	心肺蘇生	98,311 (0.8)	3,273 (0.2)	11,738 (0.5)	12,457 (0.6)	125,779 (0.7)
	●うち自動式心マッサージ器	4,465	64	604	548	5,681
	●在宅療法継続	23,370 (0.2)	124 (0.0)	1,738 (0.1)	2,343 (0.1)	27,575 (0.2)
	●ショックパンツ	201 (0.0)	38 (0.0)	38 (0.0)	44 (0.0)	321 (0.0)
	●血圧測定	2,921,887 (24.7)	490,234 (26.1)	657,039 (26.2)	565,165 (25.2)	4,634,325 (25.1)
	●心音・呼吸音聴取	799,480 (6.8)	122,585 (6.5)	111,764 (4.5)	109,134 (4.9)	1,142,963 (6.2)
	●血中酸素飽和度測定	3,027,056 (25.6)	499,129 (26.6)	688,830 (27.5)	598,390 (26.7)	4,813,405 (26.1)
	●心電図測定	1,521,238 (12.9)	81,212 (4.3)	138,971 (5.5)	225,391 (10.0)	1,966,812 (10.7)
	気道確保	170,020 (1.4)	5,716 (0.3)	18,001 (0.7)	23,211 (1.0)	216,948 (1.2)
	●うち経鼻エアウェイ	12,503	180	1,140	1,585	15,408
	●うち喉頭鏡、鉗子等	5,917	122	3,764	459	10,262
	●うちラリゲアルマスク等	36,145	904	3,603	3,228	43,880
	●うち気管挿管	6,876	116	2,161	682	9,835
	●除細動	11,775 (0.1)	171 (0.0)	565 (0.0)	772 (0.0)	13,283 (0.1)
	●静脈路確保	30,270 (0.3)	783 (0.0)	3,894 (0.2)	3,237 (0.1)	38,184 (0.2)
	●薬剤投与	13,493 (0.1)	323 (0.0)	1,732 (0.1)	1,324 (0.1)	16,872 (0.1)
	その他の処置	1,274,782 (10.8)	152,561 (8.1)	233,226 (9.3)	218,756 (9.7)	1,879,325 (10.2)
	合計	11,808,338 (100.0)	1,876,300 (100.0)	2,506,937 (100.0)	2,245,391 (100.0)	18,436,966 (100.0)
	●拡大された応急処置等	8,415,926	1,196,001	1,616,002	1,512,462	12,740,391

第53表 救急隊員の行った応急処置等の状況（傷病程度別による分類）

（平成24年中 単位：人）

傷病程度		死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
応急処置等対象搬送人員		80,233人	470,158人	1,997,326人	2,555,900人	4,132人	5,107,749人
応急処置等項目	止血	362 (0.1)	7,213 (0.3)	32,475 (0.4)	91,855 (1.1)	130 (0.9)	132,035 (0.7)
	被覆	619 (0.1)	14,210 (0.7)	73,360 (1.0)	248,600 (3.0)	297 (2.0)	337,086 (1.8)
	固定	5,177 (1.2)	46,178 (2.2)	154,513 (2.1)	271,138 (3.2)	557 (3.7)	477,563 (2.6)
	保温	15,325 (3.5)	141,737 (6.6)	627,742 (8.4)	678,832 (8.1)	939 (6.3)	1,464,575 (7.9)
	酸素吸入	61,027 (13.7)	264,423 (12.4)	586,584 (7.9)	188,762 (2.3)	1,203 (8.1)	1,101,999 (6.0)
	人工呼吸	13,560 (3.1)	21,484 (1.0)	3,810 (0.1)	476 (0.0)	41 (0.3)	39,371 (0.2)
	胸骨圧迫	4,780 (1.1)	3,512 (0.2)	176 (0.0)	68 (0.0)	9 (0.0)	8,545 (0.1)
	●うち自動式心マッサージ器	1,091	466	20	6	2	1,585
	心肺蘇生	73,192 (16.5)	50,422 (2.3)	1,352 (0.0)	749 (0.0)	64 (0.4)	125,779 (0.7)
	●うち自動式心マッサージ器	3,961	1,678	35	3	4	5,681
	●在宅療法継続	769 (0.2)	4,608 (0.2)	15,665 (0.2)	6,523 (0.1)	10 (0.1)	27,575 (0.1)
	●ショックパンツ	14 (0.0)	36 (0.0)	152 (0.0)	119 (0.0)	0 (0.0)	321 (0.0)
	●血圧測定	9,101 (2.0)	411,289 (19.2)	1,873,487 (25.1)	2,336,859 (27.9)	3,589 (24.2)	4,634,325 (25.1)
	●心音・呼吸音聴取	40,755 (9.2)	149,625 (7.0)	488,023 (6.5)	463,659 (5.5)	901 (6.1)	1,142,963 (6.2)
	●血中酸素飽和度測定	17,866 (4.0)	428,103 (20.0)	1,924,216 (25.8)	2,439,402 (29.1)	3,818 (25.7)	4,813,405 (26.1)
	●心電図測定	71,063 (16.0)	301,814 (14.1)	890,111 (11.9)	702,126 (8.4)	1,698 (11.4)	1,966,812 (10.7)
	気道確保	74,714 (16.8)	88,943 (4.2)	41,048 (0.5)	12,070 (0.2)	173 (1.2)	216,948 (1.2)
	●うち経鼻エアウェイ	6,376	7,396	1,379	246	11	15,408
	●うち喉頭鏡、鉗子等	4,659	4,597	754	249	3	10,262
	●うちラリゲアルマスク等	25,421	18,136	261	42	20	43,880
●うち気管挿管	5,366	4,337	96	24	12	9,835	
●除細動	5,414 (1.2)	7,515 (0.3)	287 (0.0)	58 (0.0)	9 (0.1)	13,283 (0.1)	
●静脈路確保	20,731 (4.7)	16,484 (0.8)	692 (0.0)	257 (0.0)	20 (0.1)	38,184 (0.2)	
●薬剤投与	8,579 (1.9)	7,988 (0.4)	203 (0.0)	88 (0.0)	14 (0.1)	16,872 (0.1)	
その他の処置	21,063 (4.7)	172,969 (8.1)	752,047 (10.1)	931,867 (11.1)	1,379 (9.3)	1,879,325 (10.2)	
合計		444,111 (100.0)	2,138,553 (100.0)	7,465,943 (100.0)	8,373,508 (100.0)	14,851 (100.0)	18,436,966 (100.0)
●うち、拡大された応急処置等		221,166	1,364,072	5,195,381	5,949,661	10,111	12,740,391



(注) 第52表・第53表解説

- 1 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。
- 2 ( )内は構成比を示し、単位は%である。
- 3 ●は拡大された応急処置等の項目である。
- 4 応急処置等の項目は、次により記載した。
  - (1) 止血:止血帯・包帯等による止血処置
  - (2) 被覆:創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護
  - (3) 固定:副子等による固定又は安静保持
  - (4) 保温:傷病者の傷病状況から体温を維持する必要がある場合に行う保温処置
  - (5) 酸素吸入:酸素吸入器による酸素吸入
  - (6) 人工呼吸:口対口又は器具等による人工呼吸
  - (7) 胸骨圧迫:胸骨圧迫による心マッサージ
  - (8) 心肺蘇生:心肺機能停止状態の傷病者に行う気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫を合わせた処置
  - (9) 自動式心マッサージ器:自動式心マッサージ器を使用した胸骨圧迫、心肺蘇生
  - (10) 在宅療法継続:在宅療法継続中の傷病者に対して、その療法維持のために行った必要な処置(安全確保等に留意し観察等を行ったことを含む)及び在宅療法に異常のあった場合に行った応急処置
  - (11) ショックパンツ:ショックパンツを使用した血圧保持(骨折肢の固定を含む)
  - (12) 血圧測定:血圧計を使用しての血圧測定
  - (13) 心音・呼吸音聴取:聴診器を使用しての心音・呼吸音の聴取
  - (14) 血中酸素飽和度測定:血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度測定
  - (15) 心電図測定:心電計を使用しての心電図測定及び伝送
  - (16) 気道確保:気道確保のための処置並びに口腔内の清拭及び吸引をいう。(経鼻エアウェイ、喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去法、救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保については内数として記載)
  - (17) 気管挿管:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、気管チューブを用いて行う気道確保をいう。
  - (18) 除細動:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器による除細動
  - (19) 静脈路確保:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち静脈路確保のための輸液
  - (20) 薬剤投与:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち静脈路からの薬剤(アドレナリン)の投与又は自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリンの投与
  - (21) その他:上記以外の応急処置
- 5 気管挿管処置件数については、救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の実施件数である。
- 6 除細動処置件数は、平成16年7月から可能となった救急救命士以外の救急隊員による実施分も含む。
- 7 薬剤投与処置件数については、救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち静脈路からの薬剤(アドレナリン)の投与及び平成21年3月以降の自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリンの投与の実施件数である。

## 11 応急手当の普及啓発活動等の状況及び応急手当の救命効果

### (1) 応急手当の普及啓発活動等の状況

応急手当の普及啓発活動については、「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」（平成5年3月30日付け消防救第41号消防庁次長通知平成23年8月31日一部改正）に基づき行われている。

その内容は、リーダー育成を目的とした応急手当指導員講習（普通救命講習又は上級救命講習の指導にあたる応急手当指導員を養成する講習）、応急手当普及員講習（事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対して行う普通救命講習の指導に当たる応急手当普及員を養成する講習）、バイスタンダー育成を目的とした普通救命講習（自動体外式除細動器（AED）の使用法を含む成人に対する心肺蘇生法及び大出血時の止血法の講習）並びに上級救命講習（普通救命講習の内容に加え、小児・幼児・新生児に対する心肺蘇生法、傷病者管理法、外傷の手当及び搬送法の講習）である。

平成23年から救命入門コース及び小児・幼児・新生児の心肺蘇生法が習得できる普通救命講習Ⅲを新設したほか、e-ラーニングによる分割講習を新たに設定したことから、更なるバイスタンダー育成が期待される。

平成24年中の応急手当指導員養成講習は1,203回開催され、修了者数は9,527人であり、応急手当普及員養成講習は766回開催され、修了者数は1万2,346人であった。

地域住民等に対する応急手当普及啓発活動については、全国で普通救命講習は7万1,067回開催され、141万981人が受講し、上級救命講習は4,674回開催され、8万4,898人が受講した。

消防機関における普及啓発用資器材の保有状況は、蘇生訓練用人形が成人用2万1,605体、乳児用1万780体、外傷用模型セットが590セット、また、訓練用AEDが1万3,785台である。（第54表、別表11及び別表12参照）

第54表 応急手当普及啓発活動状況

(単位：人)

区分 年	指導員 講習等 修了者数	普及員 講習等 修了者数	普通講習 受講者数	上級講習 受講者数
平成6年中	20,887	4,646	246,356	10,680
平成7年中	13,690	7,292	395,045	19,212
平成8年中	10,144	6,208	491,300	25,758
平成9年中	9,329	7,037	589,798	33,670
平成10年中	8,983	7,244	655,700	34,807
平成11年中	9,796	8,006	797,979	41,135
平成12年中	10,175	7,966	861,699	48,393
平成13年中	7,996	7,626	901,039	53,795
平成14年中	7,579	7,999	970,898	58,410
平成15年中	7,979	8,983	1,081,946	61,746
平成16年中	6,918	9,494	1,053,715	65,895
平成17年中	9,004	10,385	1,147,904	68,081
平成18年中	9,391	10,612	1,388,212	78,922
平成19年中	9,253	13,948	1,499,485	72,843
平成20年中	9,117	15,776	1,541,459	77,660
平成21年中	8,592	12,199	1,490,246	75,926
平成22年中	8,733	12,050	1,408,864	76,999
平成23年中	10,203	11,463	1,345,591	79,959
平成24年中	9,527	12,346	1,410,981	84,898

- (注) 1 各年とも1月から12月までの数値である。  
 2 東日本大震災の影響により、平成22年の陸前高田市消防本部及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

(2) 応急手当の救命効果

平成24年中の救急自動車による現場到着所要平均時間は8.3分であるが、それまでに救急現場近くの一般住民による応急手当が適切に実施されれば、より高い救命効果が期待できる。

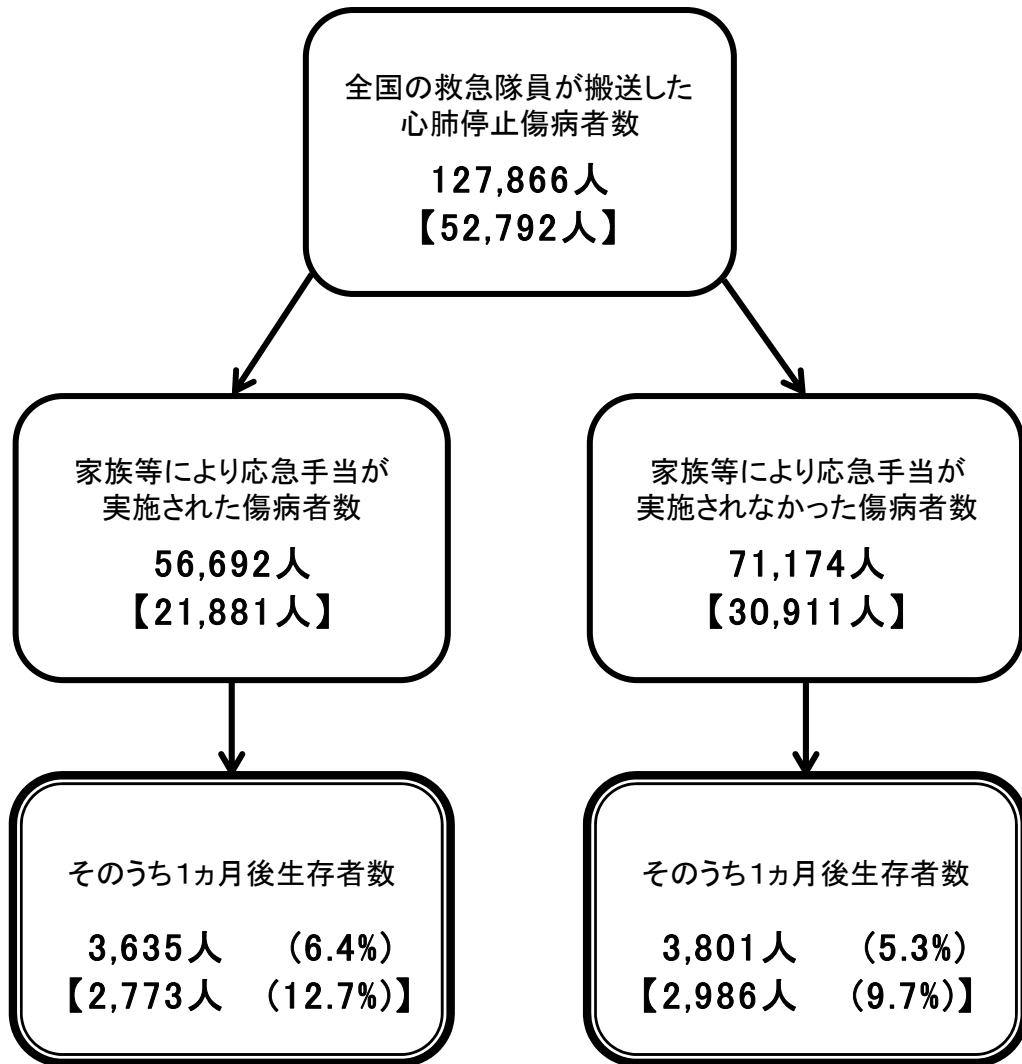
平成24年中における全国の救急隊が搬送したすべての心肺停止傷病者のうち、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の傷病者の1ヵ月後の生存者数の割合と、応急手当が実施されていない場合の割合を比較すると、第55図のとおり家族等により応急手当が実施されている場合の方が、1.1ポイント(約1.2倍)その救命効果が高い。

また、心肺停止の時点が目撃された傷病者に限ると、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の傷病者の1ヵ月後の生存者数の割合と、応急手当が実施されていない場合の割合を比較すると、第55図のとおり家族等により応急手当が実施されている場合の方が、3.0ポイント(約1.3倍)その救命効果が高い。

救急蘇生指標の集計を開始した平成6年からの推移を示したのが第56表である。応急手当受講者数は、平成20年をピークに減少傾向ではあるが、家族等により応急手当が実施された傷病者の割合は、増加傾向で推移している。(第57図参照)

### 第55図 応急手当の救命効果

(平成 24 年中)



(注) 1 各々の項目のうち【 】内は、心原性かつ心肺機能停止の時点が一般市民により目撃された傷病者数である。

第56表 応急手当の救命効果の推移

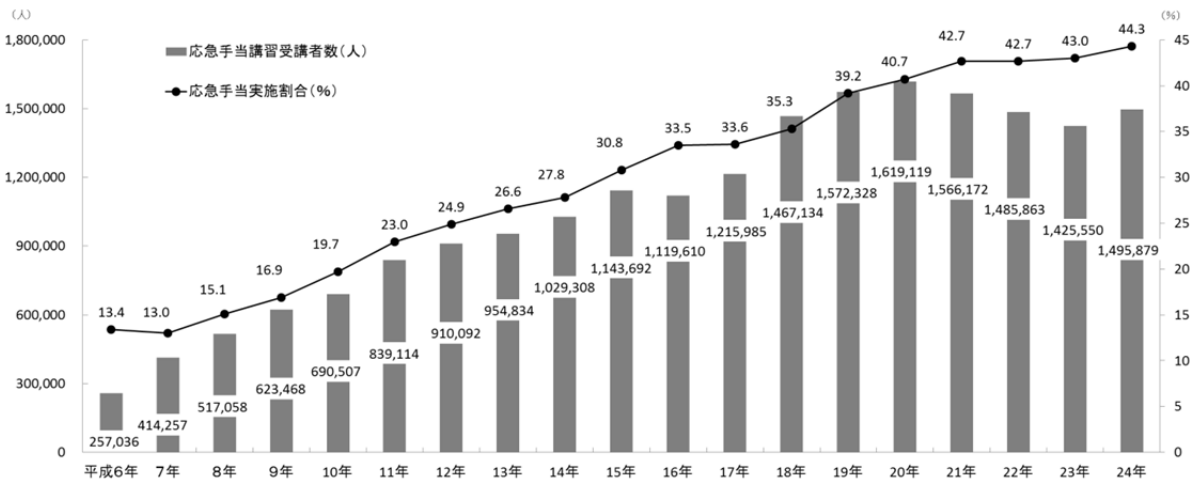
(単位：人)

	救急隊が搬送した 全ての心肺停止 傷病者数	家族等により 応急手当が 実施された 傷病者数		家族等による 応急手当が 実施されなかった 傷病者数	
			うち 1ヵ月後 生存者数		うち 1ヵ月後 生存者数
平成6年	31,206 (100.0)	4,172 (13.4)	185 (4.4)	27,034 (86.6)	617 (2.3)
平成7年	72,016 (100.0)	9,389 (13.0)	437 (4.7)	62,627 (87.0)	1,531 (2.4)
平成8年	72,542 (100.0)	10,954 (15.1)	446 (4.1)	61,588 (84.9)	1,488 (2.4)
平成9年	76,272 (100.0)	12,901 (16.9)	605 (4.7)	63,371 (83.1)	1,541 (2.4)
平成10年	80,970 (100.0)	15,923 (19.7)	830 (5.2)	65,047 (80.3)	1,733 (2.7)
平成11年	83,353 (100.0)	19,212 (23.0)	861 (4.5)	64,141 (77.0)	1,807 (2.8)
平成12年	84,899 (100.0)	21,121 (24.9)	881 (4.2)	63,778 (75.1)	1,964 (3.1)
平成13年	88,058 (100.0)	23,398 (26.6)	879 (3.8)	64,660 (73.4)	2,003 (3.1)
平成14年	91,691 (100.0)	25,491 (27.8)	1,065 (4.2)	66,200 (72.2)	2,160 (3.3)
平成15年	94,845 (100.0)	29,255 (30.8)	1,267 (4.3)	65,590 (69.2)	2,245 (3.4)
平成16年	94,920 (100.0)	31,815 (33.5)	1,376 (4.3)	63,105 (66.5)	2,363 (3.7)
平成17年	102,738 (100.0)	34,539 (33.6)	1,553 (4.5)	68,199 (66.4)	2,816 (4.1)
平成18年	105,942 (100.0)	37,381 (35.3)	1,912 (5.1)	68,561 (64.7)	3,029 (4.4)
平成19年	109,461 (100.0)	42,892 (39.2)	2,393 (5.6)	66,569 (60.8)	3,254 (4.9)
平成20年	113,827 (100.0)	46,306 (40.7)	2,770 (6.0)	67,521 (59.3)	3,264 (4.8)
平成21年	115,250 (100.0)	49,249 (42.7)	3,101 (6.3)	66,001 (57.3)	3,393 (5.1)
平成22年	123,095 (100.0)	52,541 (42.7)	3,414 (6.5)	70,554 (57.3)	3,813 (5.4)
平成23年	127,109 (100.0)	54,652 (43.0)	3,390 (6.2)	72,457 (57.0)	3,695 (5.1)
平成24年	127,866 (100.0)	56,692 (44.3)	3,635 (6.4)	71,174 (55.7)	3,801 (5.3)
合計	1,796,060 (100.0)	577,883 (32.2)	31,000 (5.4)	1,218,177 (67.8)	46,517 (3.8)

(注) 1 ( ) 内は構成比(単位：%)を示す。

- 平成6年は7～12月まで、平成7年以降は1～12月までの数値である。
- 平成6年～平成16年については、救急蘇生指標に基づいた数値である。
- 平成17年～平成24年については、ウツタイン様式に基づいた数値である。
- 東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の陸前高田市消防本部及び釜石大槌地区行政事務組合消防本部のデータを除いた数値で集計している。

第57図 応急手当講習受講者数と心肺停止傷病者への応急手当実施率の推移



(注) 東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

## 第3章 救急医療体制等

### 1 救急医療機関

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき、救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当する医療機関として都道府県知事の告示を受けた救急病院及び救急診療所(以下「救急医療機関」という。)の状況を示したのが第58表である。全国で4,201箇所の救急医療機関があり、人口10万人あたりの救急医療機関数の全国平均は、3.3箇所となっている。(別表13参照)

第58表 開設者別救急医療機関の状況

(平成25年4月1日現在)

開設者 区分	公設医療機関				私的 医療機関	合計
	国立	公立	公的等	小計		
救急病院	167	751	335	1,253	2,597	3,850
救急診療所					351	351
合計	167	751	335	1,253	2,948	4,201

### 2 救急搬送及び受入体制の構築

救急搬送については、現状の医療資源を前提に、傷病者の状況に応じたより適切で円滑な救急搬送及び受入体制の構築を図るため、消防法の一部を改正する法律(平成21年法律第34号)が、平成21年10月30日から施行された。この消防法改正により、都道府県は、メディカルコントロール協議会等を活用し消防機関や医療機関等で構成する協議会を設置するとともに、地域の実情に応じた傷病者の搬送及び受入に関する実施基準を策定することが義務付けられた。

### 3 メディカルコントロール体制の構築と救急救命処置範囲の拡大

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を向上させ、救急業務を円滑に実施するためには、消防機関と医療機関との連携が必要不可欠であり、消防庁では、それぞれの地域における救急に係る諸課題について関係機関が恒常的に協議する場として、消防機関と救急医療機関との連絡協議会(メディカルコントロール協議会)を設置するよう推進してきた。平成16年中に各都道府県単位及び各地域単位のメディカルコントロール協議会が全てにおいて設置され、救急業務の質的向上に積極的に取り組んでいるところである。

救命効果の向上を図るための救急救命士の処置範囲の拡大については、メディカルコントロール体制の整備を前提とした上で、平成15年4月から医師の包括的指示下による除細動、平成16年7月からは、気管挿管が可能となり、さらに平成18年4月からは、薬剤(アドレナリン)の使用が認められている。

また、平成 21 年には、心肺機能停止前の傷病者に対し、自己注射が可能なアドレナリン（エピネフリン）製剤の使用が認められ、平成 23 年 8 月からはビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管の実施が可能となった。

このような中、病院前救護体制をより一層強化し、傷病者の救命率の向上や後遺症の軽減等を図るため、①血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与、②重症喘息患者に対する吸入 $\beta$ 刺激薬の使用、③心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施の三行為について、平成24年度に全国129の消防本部において実証研究が行われ、①及び③の二行為について、救急救命士の新たな処置範囲に追加することが適当であるという検討結果に至った。

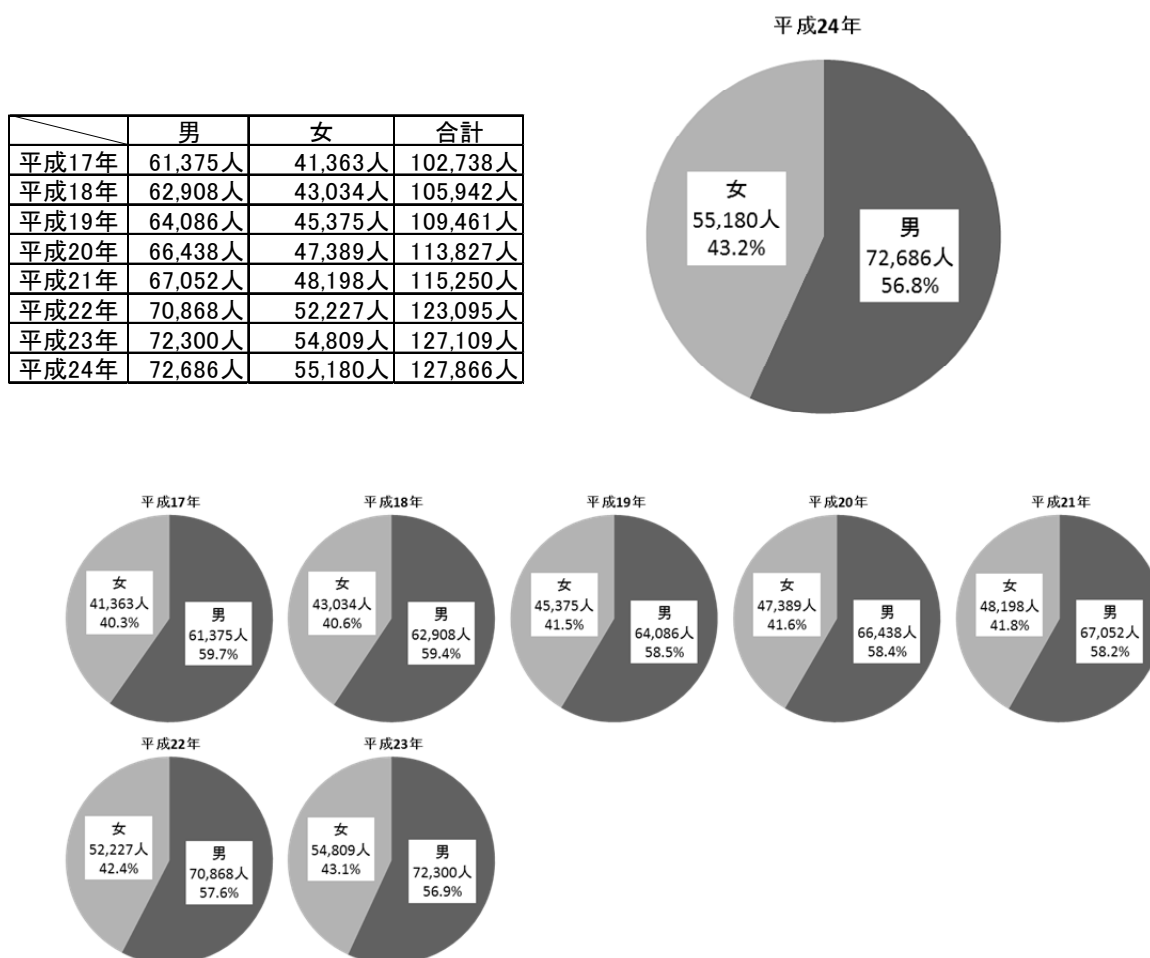
## 第4章 救急蘇生統計

- (注) 1 本統計は、従来「ウツタイン統計」、「心肺機能停止傷病者の救命率等の状況」として公表していたが、救急搬送された心肺機能停止傷病者に関する統計であることをより分かりやすくするため、名称を変更している。
- 2 東日本大震災の影響により「第4章 救急蘇生統計 (p. 49～p. 83)」については、釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部の平成22年分及び平成23年分データは除いた数値で集計している。

### 1 心肺機能停止傷病者の全搬送人員及びその性別

平成24年の心肺機能停止傷病者全搬送人員は、12万7,866人であり、年々増加している。そのうち男性の割合は56.8%、女性の割合は43.2%となっており、男性の方が多い。年齢区分については、80～89歳が最多となっている。(第59表、第60表参照)

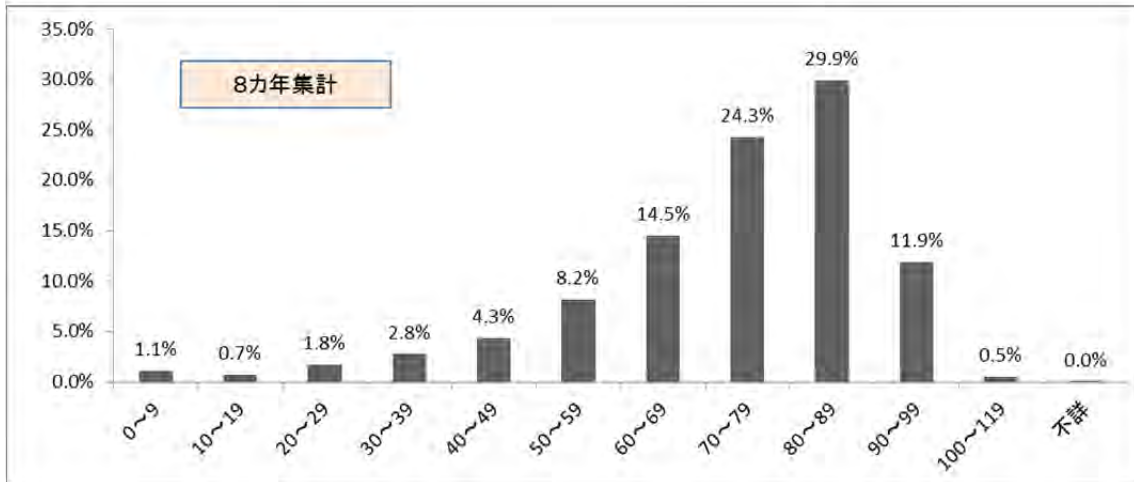
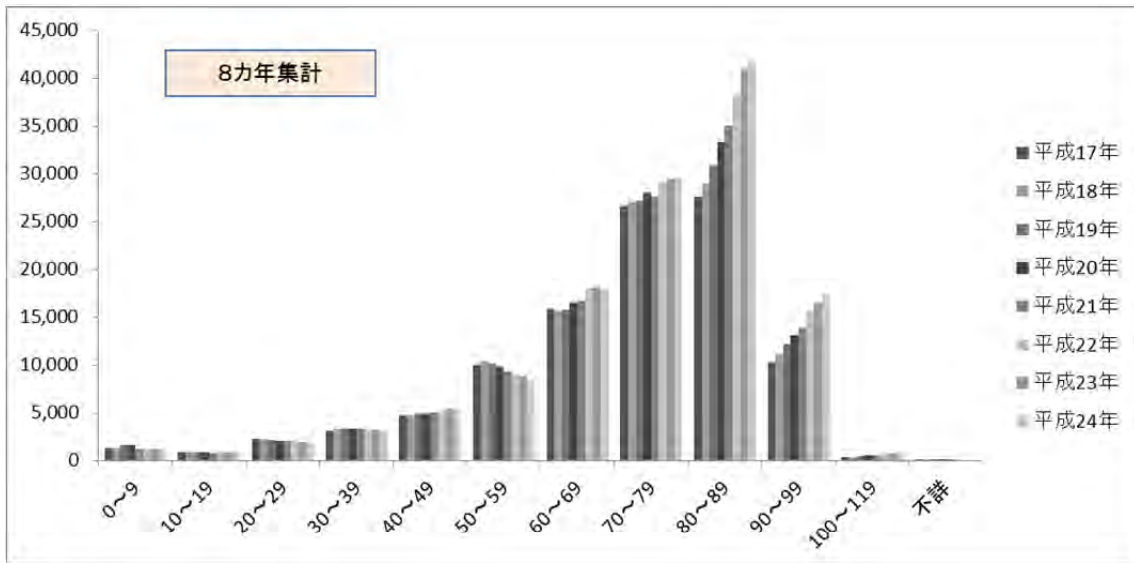
第59表 心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、性別件数





第 60 表 心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、年齢別件数

		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	合 計
年 齢 区 分	0～9	1,304	1,276	1,592	1,648	1,213	1,223	1,188	1,174	10,618
	10～19	874	879	884	851	801	852	862	813	6,816
	20～29	2,217	2,259	2,158	2,002	2,011	1,987	1,937	1,804	16,375
	30～39	3,116	3,328	3,359	3,281	3,265	3,266	3,155	2,980	25,750
	40～49	4,699	4,680	4,875	4,904	4,992	5,134	5,476	5,201	39,961
	50～59	10,022	10,448	10,137	9,759	9,245	9,023	8,822	8,333	75,789
	60～69	15,821	15,610	15,778	16,469	16,763	18,002	18,072	17,884	134,399
	70～79	26,560	27,009	27,159	27,986	27,517	29,158	29,488	29,614	224,491
	80～89	27,567	28,962	30,848	33,354	35,055	38,164	40,905	41,811	276,666
	90～99	10,222	11,119	12,143	13,056	13,801	15,616	16,401	17,349	109,707
	100～119	335	371	466	516	586	669	803	903	4,649
不詳	1	1	62	1	1	1	0		67	
合 計	102,738	105,942	109,461	113,827	115,250	123,095	127,109	127,866	925,288	



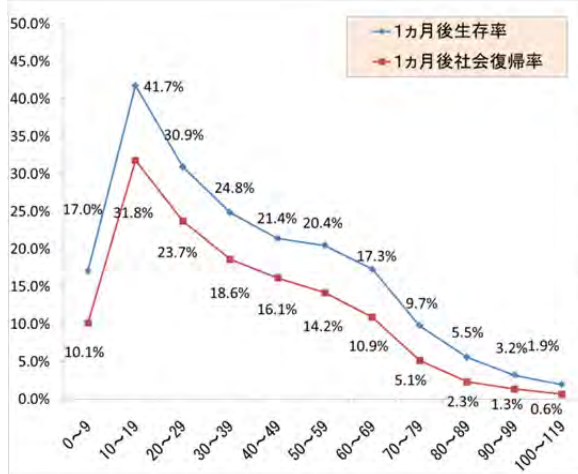
## 2 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の 1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例については、全体では1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率ともに女性に比べ、男性の方が高く、年齢区分では男女共に10～19歳が最も高い。(第61表参照)

第61表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の  
性別及び年齢区分別件数と1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

		8カ年集計											
		総件数	心原性かつ一般市民により目撃あり症例数										
			うち、男性					うち、女性					
			人数	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰率	人数	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰率	
年齢区分	0～9	10,618	813	446	76	17.0%	45	10.1%	367	66	18.0%	27	7.4%
	10～19	6,816	719	513	214	41.7%	163	31.8%	206	99	48.1%	77	37.4%
	20～29	16,375	1,351	941	291	30.9%	223	23.7%	410	96	23.4%	68	16.6%
	30～39	25,750	3,321	2,620	650	24.8%	487	18.6%	701	162	23.1%	120	17.1%
	40～49	39,961	6,733	5,371	1,148	21.4%	865	16.1%	1,362	251	18.4%	178	13.1%
	50～59	75,789	14,711	11,870	2,426	20.4%	1,680	14.2%	2,841	480	16.9%	289	10.2%
	60～69	134,399	27,325	21,025	3,633	17.3%	2,292	10.9%	6,300	813	12.9%	448	7.1%
	70～79	224,491	42,073	28,759	2,801	9.7%	1,469	5.1%	13,314	1,049	7.9%	509	3.8%
	80～89	276,666	49,034	25,633	1,421	5.5%	584	2.3%	23,401	1,150	4.9%	510	2.2%
	90～99	109,707	20,908	6,680	211	3.2%	87	1.3%	14,228	371	2.6%	143	1.0%
100～119	4,649	924	157	3	1.9%	1	0.6%	767	12	1.6%	3	0.4%	
不詳	67	11	7	1	-	1	-	4	-	-	-	-	
合計	925,288	167,923	104,022	12,875	12.4%	7,897	7.6%	63,901	4,549	7.1%	2,372	3.7%	

男性



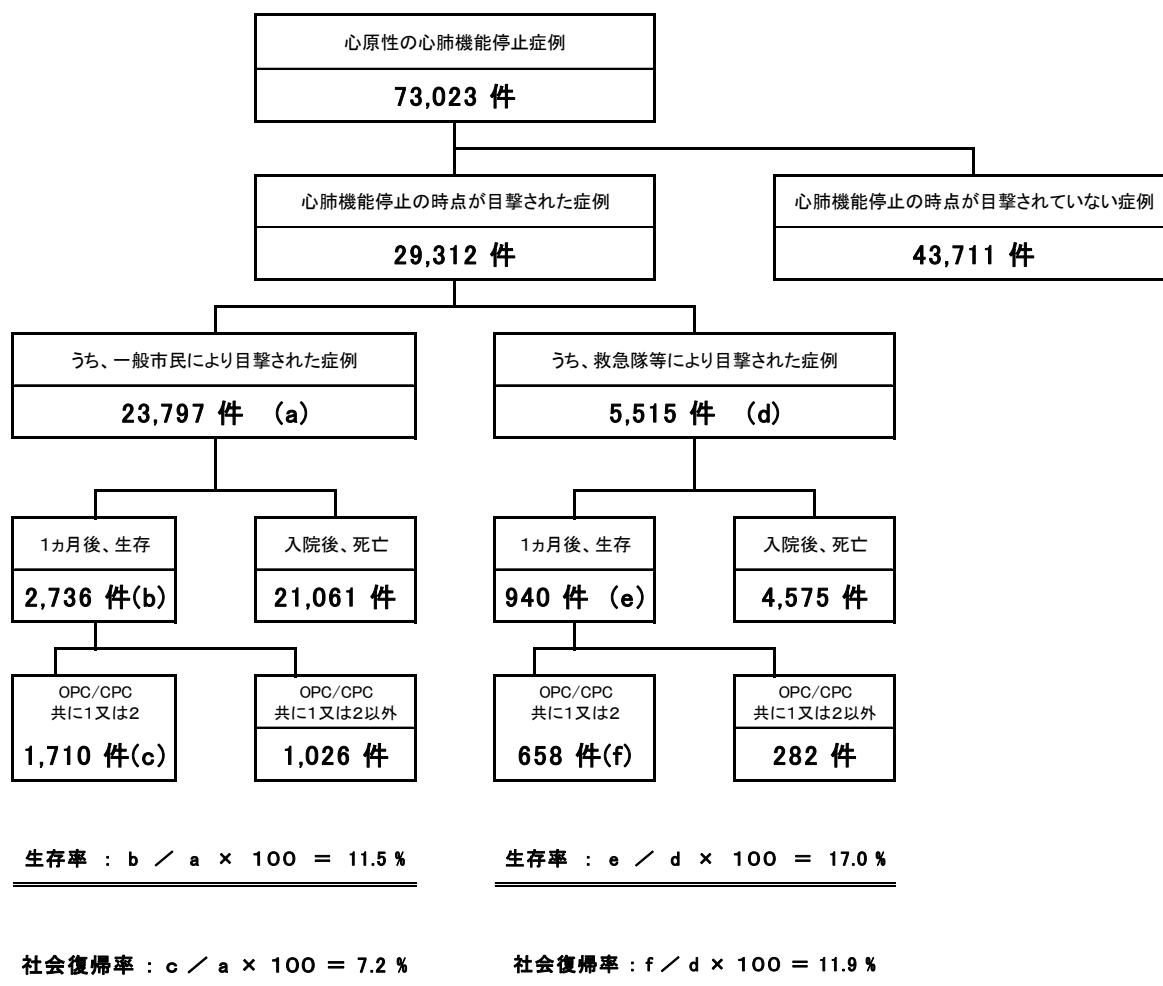
女性



### 3 心原性で心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

平成24年の心原性でかつ心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民により目撃された症例の1ヵ月後生存率は11.5%、1ヵ月後社会復帰率は7.2%であった。平成17年と比較すると、それぞれ、4.3ポイント、3.9ポイント上昇している。また、救急隊等により目撃された症例の1ヵ月後生存率は17.0%、1ヵ月後社会復帰率は11.9%であり、平成17年と比較すると、それぞれ、4.0ポイント、3.2ポイント上昇している。（第62図、第63表参照）

第62図 心原性で心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成24年）



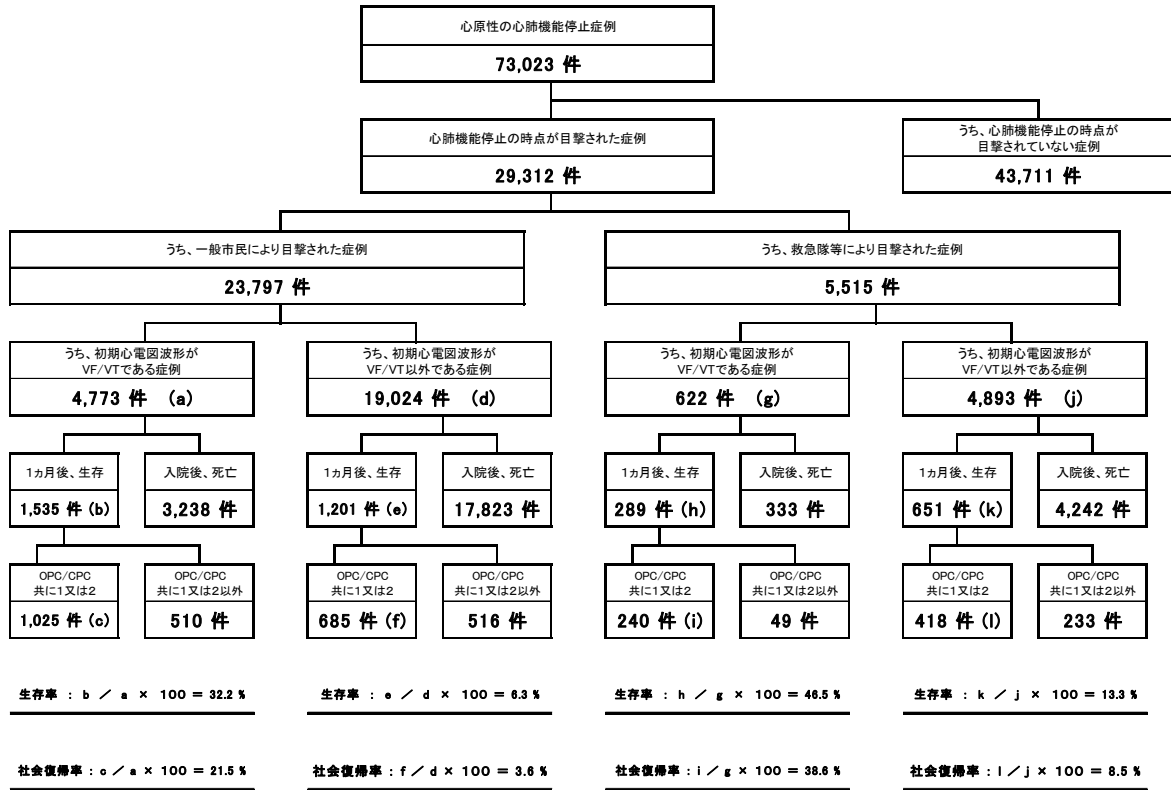
第 63 表 心原性で心肺機能停止の時点が目撃された症例の 1 ヶ月後生存率及び  
1 ヶ月後社会復帰率（平成 17 年～平成 24 年）

区 分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性の心肺機能停止症例		56,412	57,182	59,001	63,283	64,959	68,293	71,660	73,023
心肺機能停止の時点が目撃された症例		22,477	23,258	24,160	25,596	26,062	28,098	29,001	29,312
うち、一般市民により目撃された症例		17,882	18,897	19,707	20,769	21,112	22,463	23,296	23,797
1ヵ月後、生存		1,282	1,591	2,013	2,169	2,417	2,561	2,655	2,736
生存率		7.2%	8.4%	10.2%	10.4%	11.4%	11.4%	11.4%	11.5%
OPC/CPC共に1又は2		587	768	1,195	1,294	1,495	1,543	1,677	1,710
社会復帰率		3.3%	4.1%	6.1%	6.2%	7.1%	6.9%	7.2%	7.2%
うち、救急隊等により目撃された症例		4,525	4,356	4,449	4,827	4,950	5,635	5,705	5,515
1ヵ月後、生存		590	586	680	732	821	910	955	940
生存率		13.0%	13.5%	15.3%	15.2%	16.6%	16.1%	16.7%	17.0%
OPC/CPC共に1又は2		393	391	460	494	560	622	698	658
社会復帰率		8.7%	9.0%	10.3%	10.2%	11.3%	11.0%	12.2%	11.9%
うち、目撃者が不詳である症例			5	4					
心肺機能停止の時点が目撃されていない症例		33,935	33,924	34,841	37,687	38,897	40,195	42,695	43,711

#### 4 心原性でかつ心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形が VF 又は無脈性 VT であったものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率

平成 24 年の心原性でかつ心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民により目撃された症例で初期心電図波形が VF 及び無脈性 VT であったものの 1 ヶ月後生存率は 32.2%、1 ヶ月後社会復帰率は 21.5%であった。平成 17 年と比較すると、それぞれ 12.5 ポイント、11.0 ポイント上昇している。また、救急隊等により目撃された症例の 1 ヶ月後生存率は 46.5%、1 ヶ月後社会復帰率は 38.6%であり、平成 17 年と比較すると、それぞれ 11.5 ポイント、11.1 ポイント上昇している。（第 64 図、第 65 表参照）

第 64 図 心原性でかつ心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF 又は無脈性 VT であったものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（平成 24 年）



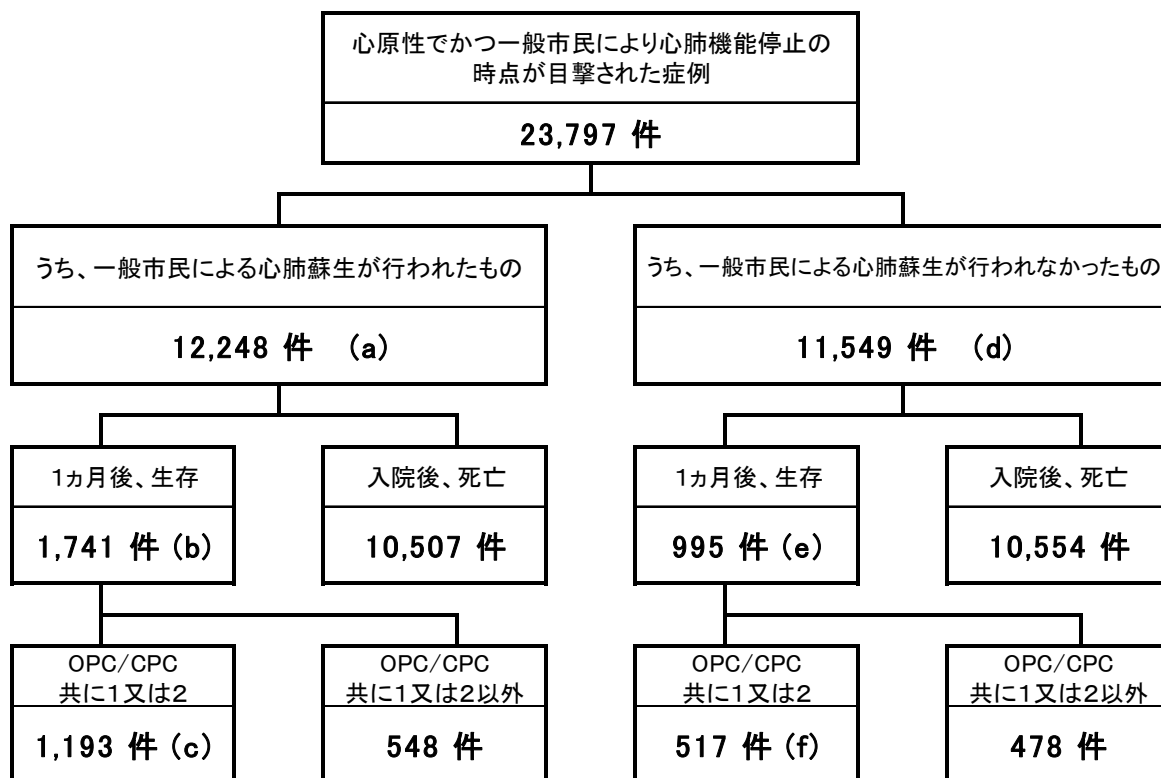
第 65 表 心原性でかつ心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF 又は無脈性 VT であったものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（平成 17 年～平成 24 年）

区 分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性の心肺機能停止症例		56,412	57,182	59,001	63,283	64,959	68,293	71,660	73,023
心肺機能停止の時点が目撃された症例		22,477	23,258	24,160	25,596	26,062	28,098	29,001	29,312
うち、一般市民により目撃された症例		17,882	18,897	19,707	20,769	21,112	22,463	23,296	23,797
うち、初期心電図波形が VF/VT である症例		3,859	4,329	4,403	4,694	4,878	4,856	4,785	4,773
1ヵ月後、生存		761	1,004	1,221	1,312	1,478	1,482	1,456	1,535
生存率		19.7%	23.2%	27.7%	28.0%	30.3%	30.5%	30.4%	32.2%
OPC/CPC 共に1又は2		407	539	813	857	1,002	992	994	1,025
社会復帰率		10.5%	12.5%	18.5%	18.3%	20.5%	20.4%	20.8%	21.5%
うち、初期心電図波形が VF/VT 以外である症例		14,023	14,568	15,304	16,075	16,234	17,607	18,511	19,024
1ヵ月後、生存		521	587	792	857	939	1,079	1,199	1,201
生存率		3.7%	4.0%	5.2%	5.3%	5.8%	6.1%	6.5%	6.3%
OPC/CPC 共に1又は2		180	229	382	437	493	551	683	685
社会復帰率		1.3%	1.6%	2.5%	2.7%	3.0%	3.1%	3.7%	3.6%
うち、救急隊等により目撃された症例		4,525	4,356	4,449	4,827	4,950	5,635	5,705	5,515
うち、初期心電図波形が VF/VT である症例		608	492	575	556	651	655	632	622
1ヵ月後、生存		213	188	231	234	278	283	306	289
生存率		35.0%	38.2%	40.2%	42.1%	42.7%	43.2%	48.4%	46.5%
OPC/CPC 共に1又は2		167	149	200	187	226	237	260	240
社会復帰率		27.5%	30.3%	34.8%	33.6%	34.7%	36.2%	41.1%	38.6%
うち、初期心電図波形が VF/VT 以外である症例		3,917	3,868	3,874	4,271	4,299	4,980	5,073	4,893
1ヵ月後、生存		377	398	449	498	543	627	649	651
生存率		9.6%	10.3%	11.6%	11.7%	12.6%	12.6%	12.8%	13.3%
OPC/CPC 共に1又は2		226	242	260	307	334	385	428	418
社会復帰率		5.8%	6.3%	6.7%	7.2%	7.8%	7.7%	8.4%	8.5%
うち、目撃者が不詳である症例		70	5	4					
心肺機能停止の時点が目撃されていない症例		33,935	33,924	34,841	37,687	38,897	40,195	42,659	43,711

5 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

平成24年の心原性でかつ心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの1ヵ月後生存率は14.2%、1ヵ月後社会復帰率は9.7%であった。心肺蘇生が行われなかったものと比べ、1ヵ月後生存率は1.7倍、1ヵ月後社会復帰率は2.2倍の上昇がみられた。平成17年と比較すると、一般市民による心肺蘇生が行われたものの1ヵ月後生存率は5.6ポイント、1ヵ月後社会復帰率は5.1ポイントの上昇がみられた。(第66図、第67表参照)

第66図 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率(平成24年)



生存率 :  $b / a \times 100 = 14.2 \%$

生存率 :  $e / d \times 100 = 8.6 \%$

社会復帰率 :  $c / a \times 100 = 9.7 \%$

社会復帰率 :  $f / d \times 100 = 4.5 \%$

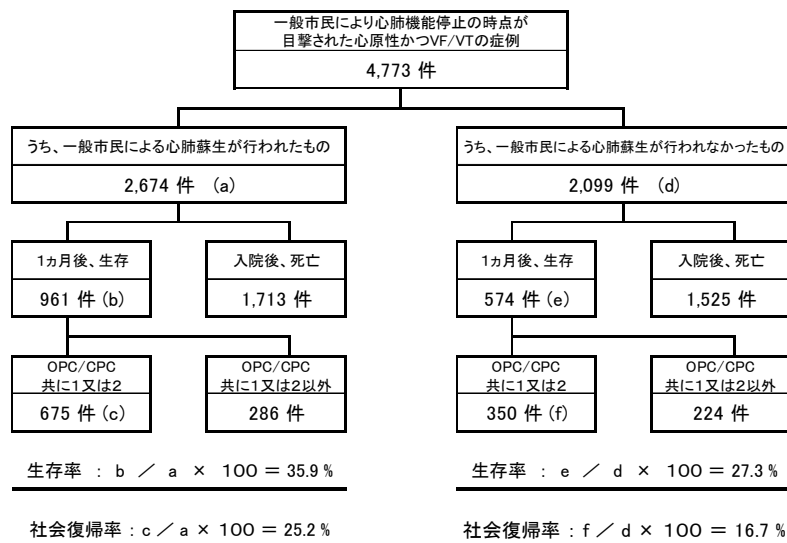
第 67 表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（平成 17 年～平成 24 年）

年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例	17,882	18,897	19,707	20,769	21,112	22,463	23,296	23,797
うち、一般市民による心肺蘇生が行われたもの	7,335	8,108	9,376	9,970	10,834	11,195	11,536	12,248
1ヵ月後、生存	631	819	1,141	1,280	1,495	1,572	1,642	1,741
生存率	8.6%	10.1%	12.2%	12.8%	13.8%	14.0%	14.2%	14.2%
OPC/CPC共に1又は2	334	456	738	861	991	1,065	1,142	1,193
社会復帰率	4.6%	5.6%	7.9%	8.6%	9.1%	9.5%	9.9%	9.7%
うち、一般市民による心肺蘇生が行われなかったもの	10,547	10,789	10,330	10,799	10,278	11,268	11,760	11,549
1ヵ月後、生存	651	772	872	889	922	989	1,013	995
生存率	6.2%	7.2%	8.4%	8.2%	9.0%	8.8%	8.6%	8.6%
OPC/CPC共に1又は2	253	312	457	433	504	478	535	517
社会復帰率	2.4%	2.9%	4.4%	4.0%	4.9%	4.2%	4.5%	4.5%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が不明のもの	0	0	1	0	0	0	0	0

6 一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率

平成 24 年の一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率は 35.9%、1 ヶ月後社会復帰率は 25.2%であった。心肺蘇生が行われなかったものと比べ、1 ヶ月後生存率は 1.3 倍、1 ヶ月後社会復帰率は 1.5 倍の上昇がみられた。平成 17 年と比較すると、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率は 13.2 ポイント、1 ヶ月後社会復帰率は 11.9 ポイントの上昇がみられた。（第 68 図、第 69 表参照）

第 68 図 一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（平成 24 年）



**第 69 表 一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成17年～平成24年）**

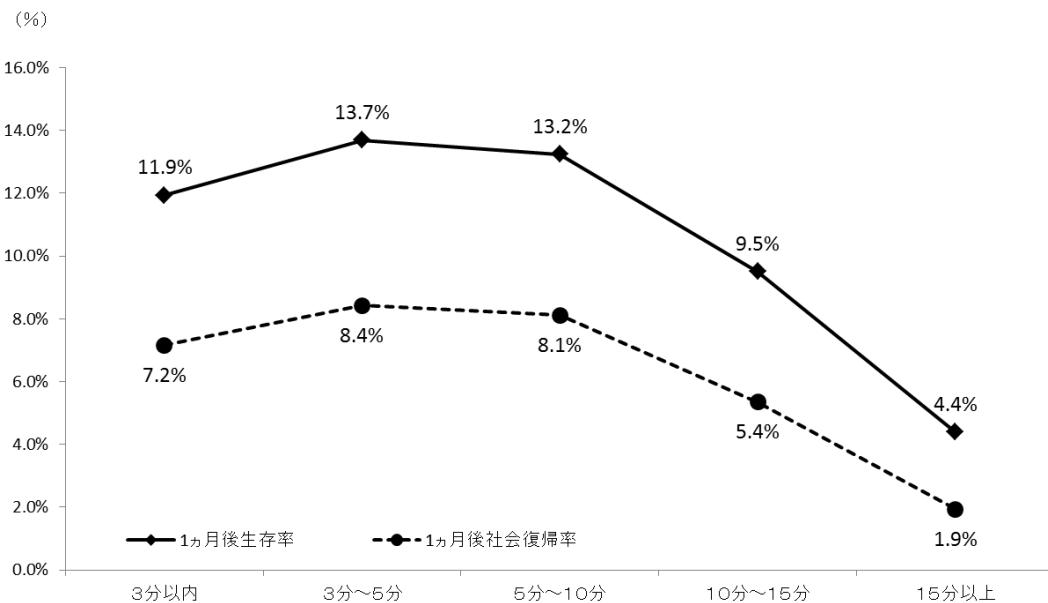
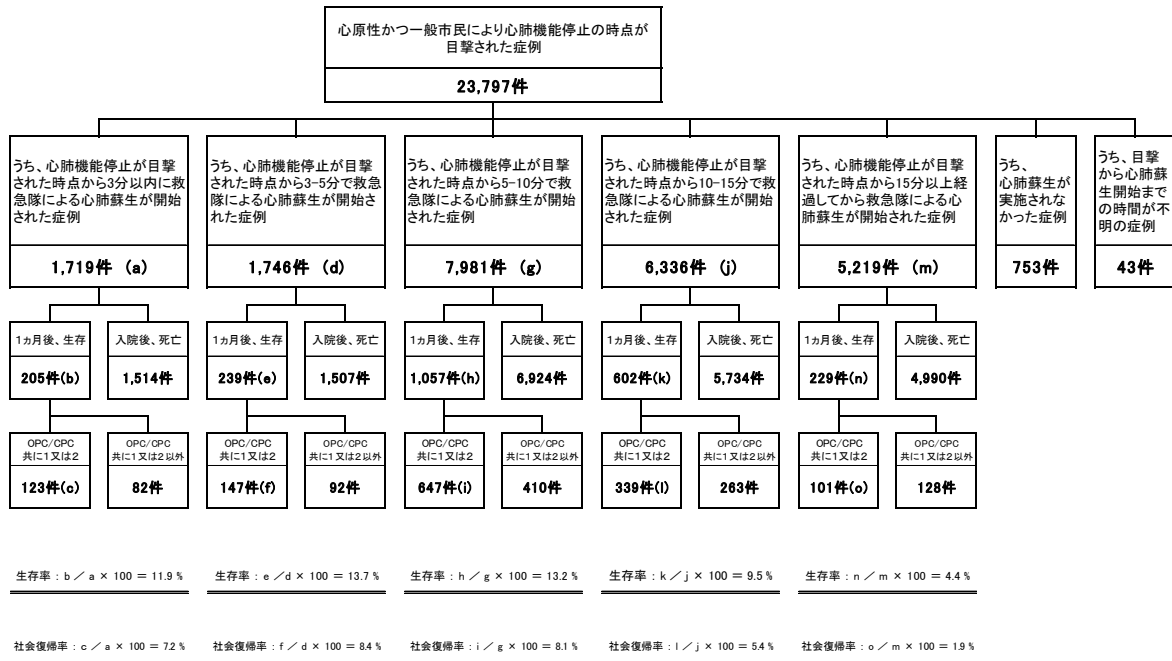
区 分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつVF/VTの症例		3,859	4,329	4,403	4,694	4,878	4,856	4,785	4,773
うち、一般市民による心肺蘇生が行われたもの		1,765	2,122	2,343	2,502	2,684	2,651	2,580	2,674
1ヵ月後、生存		401	545	691	776	896	905	870	961
生存率		22.7%	25.7%	29.5%	31.0%	33.4%	34.1%	33.7%	35.9%
OPC/CPC共に1又は2		234	327	496	560	630	648	641	675
社会復帰率		13.3%	15.4%	21.2%	22.4%	23.5%	24.4%	24.8%	25.2%
うち、一般市民による心肺蘇生が行われなかったもの		2,094	2,207	2,060	2,192	2,194	2,205	2,205	2,099
1ヵ月後、生存		360	459	530	536	582	577	586	574
生存率		17.2%	20.8%	25.7%	24.5%	26.5%	26.2%	26.6%	27.3%
OPC/CPC共に1又は2		173	212	317	297	372	344	353	350
社会復帰率		8.3%	9.6%	15.4%	13.5%	17.0%	15.6%	16.0%	16.7%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が不明のもの		0	0	1	0	0	0	0	0

**7 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊員による心肺蘇生開始までの時間における1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率**

平成24年の心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊員による心肺蘇生が10分以内に実施された場合の1ヵ月後生存率は11.9%～13.7%であるが、10分を超えると急激に低下している。また、1ヵ月後社会復帰率においても、10分を超えると急激に低下する。平成17年以降同様の傾向である。（第70図、第71表参照）



第70図 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊員による心肺蘇生開始までの時間における1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成24年）



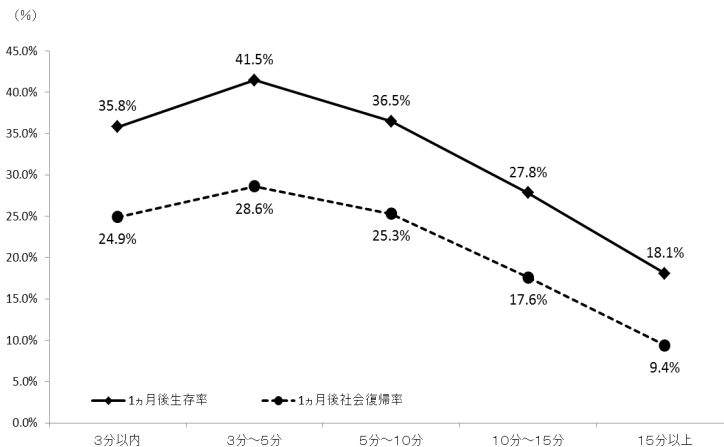
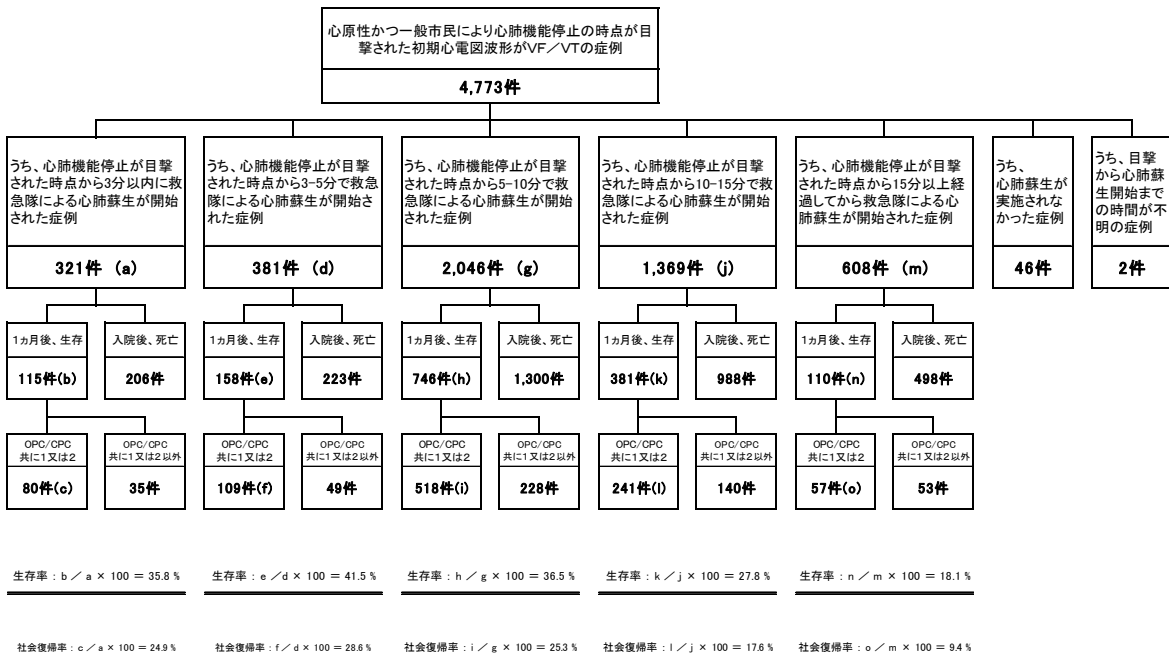
第71表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊員による心肺蘇生開始までの時間における1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成17年～平成24年）

年 区分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性かつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例	17,882	18,897	19,707	20,769	21,112	22,463	23,296	23,797
うち、心肺機能停止が目撃された時点から3分以内に救急隊による心肺蘇生が開始された症例	1,226	1,377	1,341	1,426	1,487	1,549	1,727	1,719
1ヵ月後、生存	138	174	194	193	203	229	230	205
生存率	11.3%	12.6%	14.5%	13.5%	13.7%	14.8%	13.3%	11.9%
OPC/CPC共に1又は2	81	101	117	120	132	149	145	123
社会復帰率	6.6%	7.3%	8.7%	8.4%	8.9%	9.6%	8.4%	7.2%
うち、心肺機能停止が目撃された時点から3-5分で救急隊による心肺蘇生が開始された症例	1,084	1,278	1,223	1,307	1,308	1,329	1,615	1,746
1ヵ月後、生存	117	149	150	178	185	176	219	239
生存率	10.8%	11.7%	12.3%	13.6%	14.1%	13.2%	13.6%	13.7%
OPC/CPC共に1又は2	60	78	90	107	125	102	134	147
社会復帰率	5.5%	6.1%	7.4%	8.2%	9.6%	7.7%	8.3%	8.4%
うち、心肺機能停止が目撃された時点から5-10分で救急隊による心肺蘇生が開始された症例	5,401	5,793	5,909	6,409	6,268	6,693	7,907	7,981
1ヵ月後、生存	527	654	769	821	887	944	1,077	1,057
生存率	9.8%	11.3%	13.0%	12.8%	14.2%	14.1%	13.6%	13.2%
OPC/CPC共に1又は2	247	322	469	487	559	575	697	647
社会復帰率	4.6%	5.6%	7.9%	7.6%	8.9%	8.6%	8.8%	8.1%
うち、心肺機能停止が目撃された時点から10-15分で救急隊による心肺蘇生が開始された症例	5,701	5,903	5,924	6,436	6,706	7,250	5,387	6,336
1ヵ月後、生存	348	414	477	542	652	700	479	602
生存率	6.1%	7.0%	8.1%	8.4%	9.7%	9.7%	8.9%	9.5%
OPC/CPC共に1又は2	137	175	254	284	354	370	265	339
社会復帰率	2.4%	3.0%	4.3%	4.4%	5.3%	5.1%	4.9%	5.4%
うち、心肺機能停止が目撃された時点から15分以上経過してから救急隊による心肺蘇生が開始された症例	4,373	4,417	4,522	4,672	4,947	5,202	6,041	5,219
1ヵ月後、生存	129	139	216	207	229	249	292	229
生存率	2.9%	3.1%	4.8%	4.4%	4.6%	4.8%	4.8%	4.4%
OPC/CPC共に1又は2	44	42	90	94	101	116	139	101
社会復帰率	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.2%	2.3%	1.9%
うち、心肺蘇生が実施されなかった症例 うち、目撃から心肺蘇生開始までの時間が不明の症例	97	129	788	519	396	440	619	796

## 8 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであったものの、救急隊員による心肺蘇生が開始された時間区分別の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

平成24年の心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであったものについて、1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率ともに、救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分を超えると急激に低下する。平成17年以降同様の傾向である。(第72図、第73表参照)

第72図 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであったものの、救急隊員による心肺蘇生が開始された時間区分別の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率(平成24年)



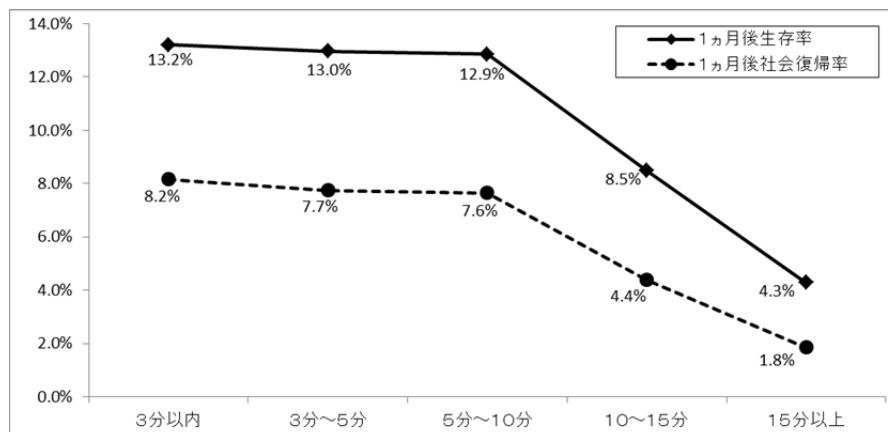
第73表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであったものの、救急隊員による心肺蘇生が開始された時間区分別の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成17年～平成24年）

区分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性かつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された初期心電図波形がVF/VTの症例		3,859	4,329	4,403	4,694	4,878	4,856	4,785	4,773
うち、心肺停止が目撃された時点から3分以内に救急隊による心肺蘇生が開始された症例		257	320	325	324	322	344	314	321
1ヵ月後、生存		84	108	116	115	115	130	117	115
生存率		32.7%	33.8%	35.7%	35.5%	35.7%	37.8%	37.3%	35.8%
OPC/CPC共に1又は2		53	65	83	81	85	96	82	80
社会復帰率		20.6%	20.3%	25.5%	25.0%	26.4%	27.9%	26.1%	24.9%
うち、心肺停止が目撃された時点から3-5分で救急隊による心肺蘇生が開始された症例		247	359	323	307	347	316	363	381
1ヵ月後、生存		79	96	112	114	137	127	147	158
生存率		32.0%	26.7%	34.7%	37.1%	39.5%	40.2%	40.5%	41.5%
OPC/CPC共に1又は2		48	60	71	80	98	83	105	109
社会復帰率		19.4%	16.7%	22.0%	26.1%	28.2%	26.3%	28.9%	28.6%
うち、心肺停止が目撃された時点から5-10分で救急隊による心肺蘇生が開始された症例		1,521	1,662	1,693	1,784	1,815	1,805	2,064	2,046
1ヵ月後、生存		342	468	548	587	642	654	715	746
生存率		22.5%	28.2%	32.4%	32.9%	35.4%	36.2%	34.6%	36.5%
OPC/CPC共に1又は2		186	252	379	392	456	451	514	518
社会復帰率		12.2%	15.2%	22.4%	22.0%	25.1%	25.0%	24.9%	25.3%
うち、心肺停止が目撃された時点から10-15分で救急隊による心肺蘇生が開始された症例		1,267	1,395	1,361	1,548	1,647	1,669	1,170	1,369
1ヵ月後、生存		195	259	308	358	439	417	307	381
生存率		15.4%	18.6%	22.6%	23.1%	26.7%	25.0%	26.2%	27.8%
OPC/CPC共に1又は2		93	127	195	212	277	259	190	241
社会復帰率		7.3%	9.1%	14.3%	13.7%	16.8%	15.5%	16.2%	17.6%
うち、心肺停止が目撃された時点から15分以上経過してから救急隊による心肺蘇生が開始された症例		547	577	564	649	707	684	824	608
1ヵ月後、生存		53	64	94	103	120	130	158	110
生存率		9.7%	11.1%	16.7%	15.9%	17.0%	19.0%	19.2%	18.1%
OPC/CPC共に1又は2		23	29	49	61	67	82	94	57
社会復帰率		4.2%	5.0%	8.7%	9.4%	9.5%	12.0%	11.4%	9.4%
その他		20	16	137	82	40	38	50	48

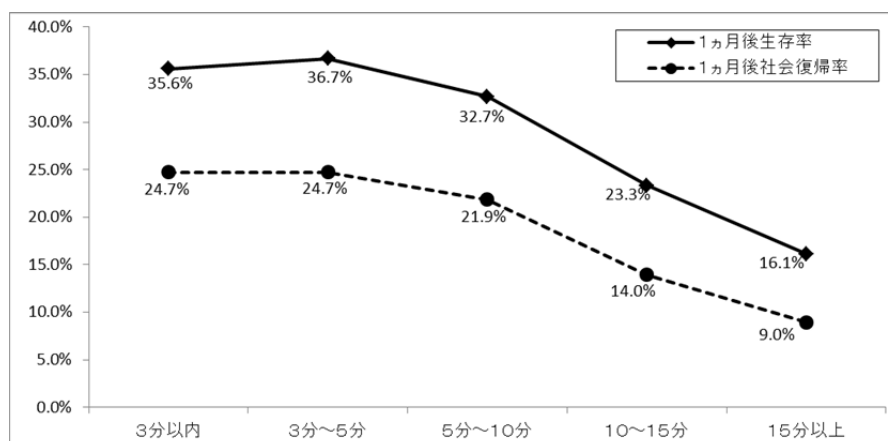
## 9 心肺機能停止が目撃された時点から救急隊による心肺蘇生が開始された時間区分別の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（8カ年集計）

平成17年～平成24年合計の一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性的心肺機能停止症例のうち、3分以内に救急隊員による心肺蘇生を開始した場合の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率は、それぞれ13.2%、8.2%である。心肺蘇生の開始が遅れるにしたがって1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率ともに低下し、10分を超えると急激に低下する。初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった症例の救急隊員による心肺蘇生開始時点における1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率についても、心肺蘇生の開始が遅れるにしたがって低下し、10分を超えると急激に低下する。（第74図、第75図参照）

第74図 一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性的心肺機能停止症例のうち、救急隊員による心肺蘇生開始時点における1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（8カ年集計）



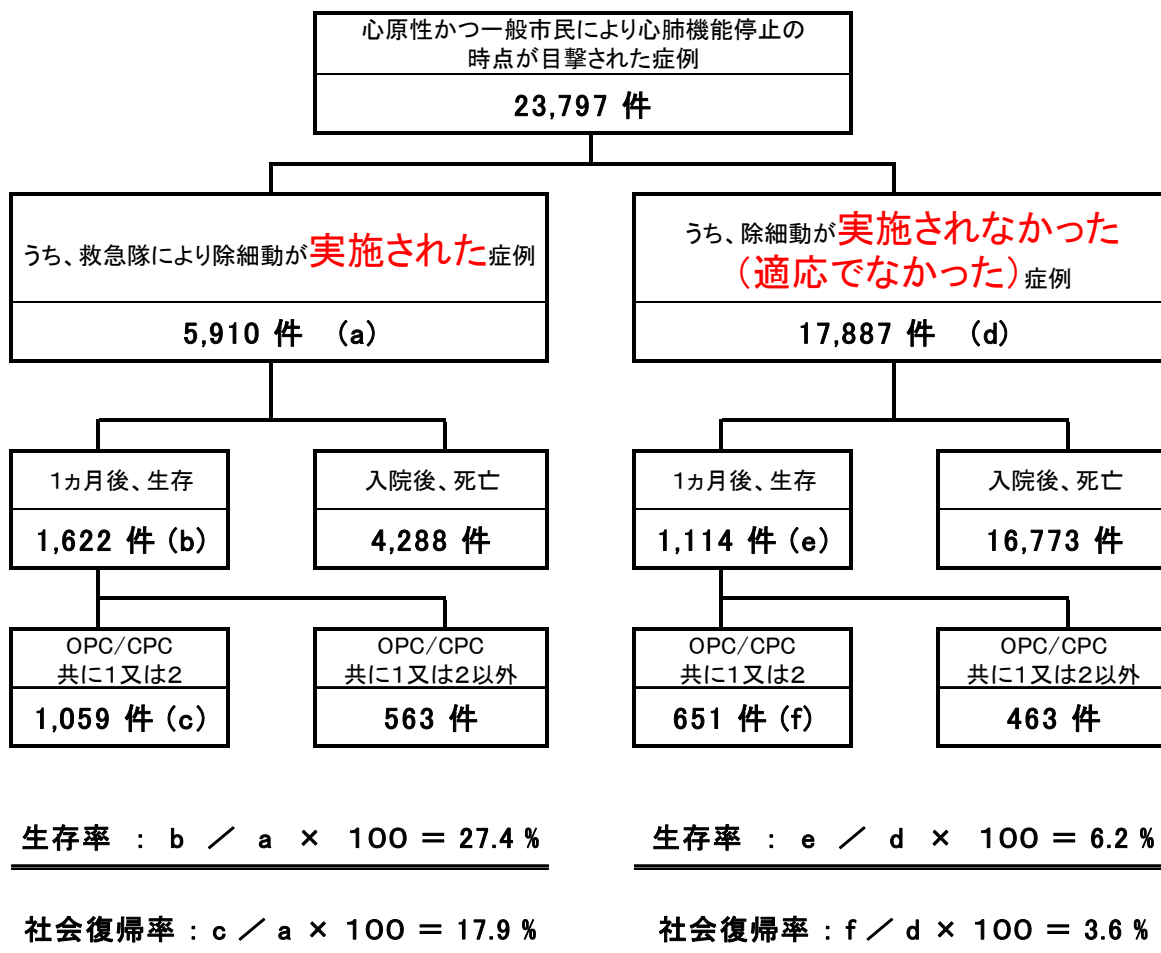
第75図 上図のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった症例の救急隊員による心肺蘇生開始時点における1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（8カ年集計）



## 10 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊活動時における除細動実施効果

平成 24 年の心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊活動において除細動を実施した症例の 1 ヶ月後生存率は 27.4%で、除細動未実施（適応外）症例に比べ、4.4 倍の 1 ヶ月後生存率であった。また、1 ヶ月後社会復帰率においても、除細動実施症例では 17.9%であるのに対し、除細動未実施（適応外）症例では 3.6%で、除細動を実施した症例のほうが、5.0 倍高かった。平成 17 年と比較すると、救急隊活動において除細動を実施した症例の 1 ヶ月後生存率は 9.8 ポイント、1 ヶ月後社会復帰率は 8.8 ポイントの上昇がみられた。（第 76 図、第 77 表参照）

第 76 図 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊活動時における除細動実施と 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（平成 24 年）



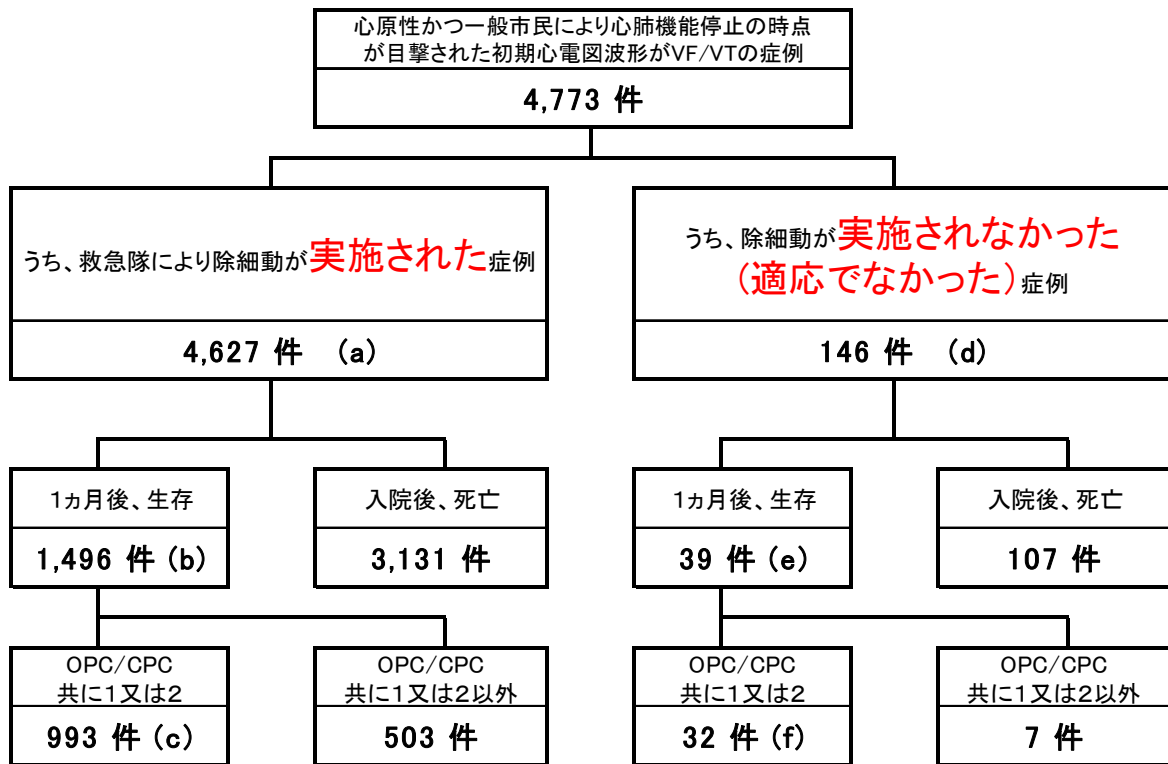
**第 77 表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、救急隊活動時における除細動実施と 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（平成 17 年～平成 24 年）**

年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性かつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例	17,882	18,897	19,707	20,769	21,112	22,463	23,296	23,797
うち、救急隊により除細動が実施された症例	4,770	5,309	5,367	5,658	5,806	5,866	5,893	5,910
1ヵ月後、生存	838	1,076	1,291	1,379	1,554	1,581	1,560	1,622
生存率	17.6%	20.3%	24.1%	24.4%	26.8%	27.0%	26.5%	27.4%
OPC/CPC共に1又は2	436	568	845	892	1,040	1,049	1,056	1,059
社会復帰率	9.1%	10.7%	15.7%	15.8%	17.9%	17.9%	17.9%	17.9%
うち、除細動が実施されなかった（適応でなかった）症例	13,112	13,588	13,843	15,064	15,306	16,597	17,403	17,887
1ヵ月後、生存	444	515	702	790	863	980	1,095	1,114
生存率	3.4%	3.8%	5.1%	5.2%	5.6%	5.9%	6.3%	6.2%
OPC/CPC共に1又は2	151	200	341	402	455	494	621	651
社会復帰率	1.2%	1.5%	2.5%	2.7%	3.0%	3.0%	3.6%	3.6%
うち、除細動の適用有無が不明の症例	0	0	497	47	0	0	0	0

**11 一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり救急隊活動時における除細動実施症例の 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率**

平成 24 年の一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり救急隊活動時において除細動を実施した症例の 1 ヶ月後生存率は、32.3%であった。除細動未実施（適応外）症例に比べ、1.2 倍の 1 ヶ月後生存率であった。また、1 ヶ月後社会復帰率においても、除細動実施症例では 21.5%であるのに対し、除細動未実施（適応外）症例では 21.9%で、除細動の実施に関わらずほぼ同率であった。平成 17 年と比較すると、救急隊活動において除細動を実施した症例の 1 ヶ月後生存率は 11.9 ポイント、1 ヶ月後社会復帰率は 10.6 ポイントの上昇がみられた。（第 78 図、第 79 表参照）

第 78 表 一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTの救急隊活動時における除細動実施症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成24年）



生存率 :  $b / a \times 100 = 32.3 \%$

生存率 :  $e / d \times 100 = 26.7 \%$

社会復帰率 :  $c / a \times 100 = 21.5 \%$

社会復帰率 :  $f / d \times 100 = 21.9 \%$

第 79 表 一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、心原性かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTの救急隊活動時における除細動実施症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成17年～平成24年）

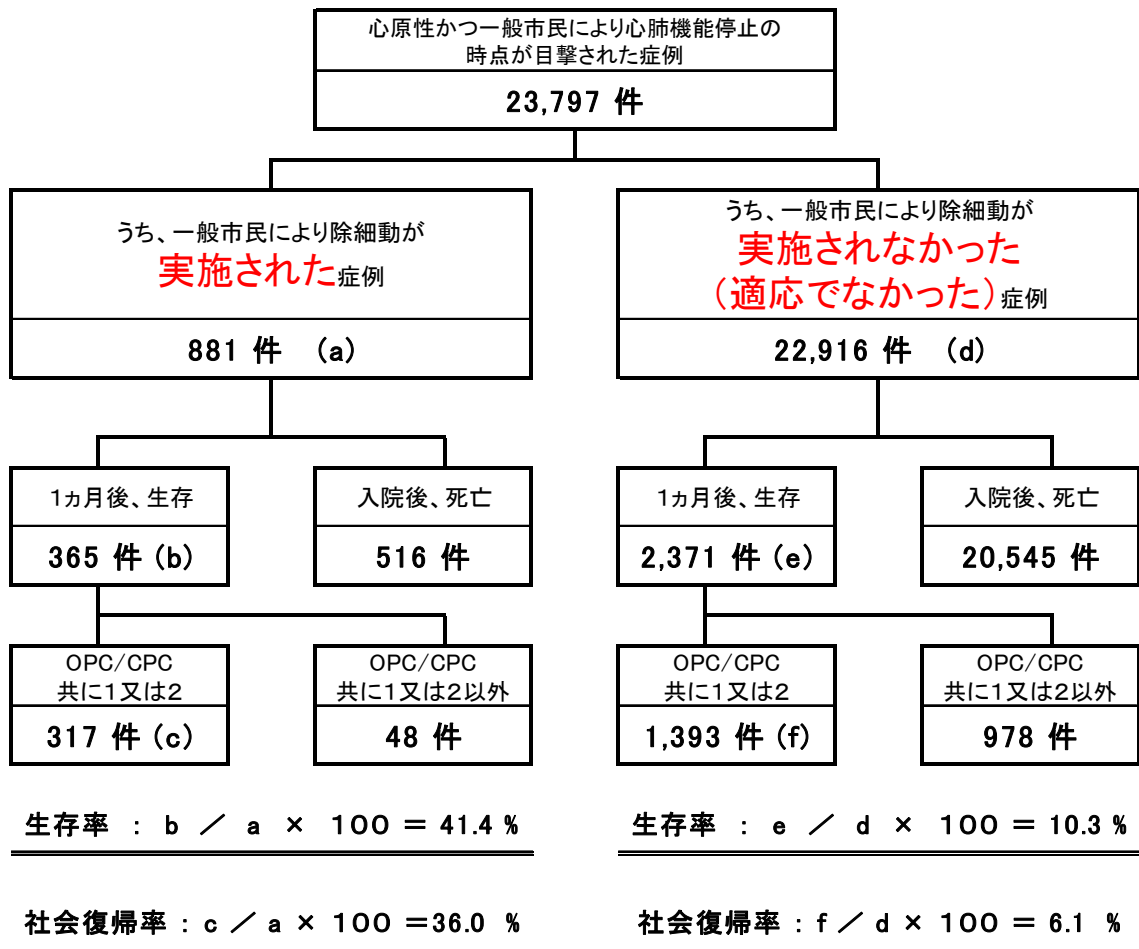
区分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性かつ一般市民により心肺機能停止の時点 が目撃された初期心電図波形がVF/VTの症例		3,859	4,329	4,403	4,694	4,878	4,856	4,785	4,773
うち、救急隊により除細動が実施された症例		3,639	4,179	4,255	4,533	4,665	4,692	4,657	4,627
1ヵ月後、生存		743	980	1,187	1,264	1,424	1,444	1,427	1,496
生存率		20.4%	23.5%	27.9%	27.9%	30.5%	30.8%	30.6%	32.3%
OPC/CPC共に1又は2		396	526	790	820	970	965	971	993
社会復帰率		10.9%	12.6%	18.6%	18.1%	20.8%	20.6%	20.9%	21.5%
うち、除細動が実施されなかった (適応でなかった)症例		220	150	139	161	213	164	128	146
1ヵ月後、生存		18	24	32	48	54	38	29	39
生存率		8.2%	16.0%	23.0%	29.8%	25.4%	23.2%	22.7%	26.7%
OPC/CPC共に1又は2		11	13	23	37	32	27	23	32
社会復帰率		5.0%	8.7%	16.5%	23.0%	15.0%	16.5%	18.0%	21.9%
うち、除細動の適用有無が不明の症例		0	0	9	0	0	0	0	0



12 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による除細動が行われたものの1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

平成24年の心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による除細動が行われたものの1ヵ月後生存率は41.4%であった。除細動未実施（適応外）症例の1ヵ月後生存率は10.3%で、除細動実施症例は除細動未実施（適応外）症例に比べ、4.0倍高かった。また、1ヵ月後社会復帰率に関しても、除細動実施症例は36.0%で、除細動未実施（適応外）症例は6.1%であり、除細動を実施した症例の方が5.9倍高かった。平成17年と比較すると、一般市民により除細動が実施された症例の1ヵ月後生存率は15.3ポイント、1ヵ月後社会復帰率は12.1ポイントの上昇がみられた。（第80図、第81表参照）

第80図 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による除細動が行われたものの1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成24年）



**第 81 表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による除細動が行われたものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（平成 17 年～平成 24 年）**

区 分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
心原性かつ一般市民により心肺機能停止の 時点が目撃された症例		17,882	18,897	19,707	20,769	21,112	22,463	23,296	23,797
うち、一般市民により除細動が 実施された症例		46	144	287	429	583	667	738	881
1ヵ月後、生存		12	48	122	188	258	301	333	365
生存率		26.1%	33.3%	42.5%	43.8%	44.3%	45.1%	45.1%	41.4%
OPC/CPC共に1又は2		11	42	102	164	209	255	287	317
社会復帰率		23.9%	29.2%	35.5%	38.2%	35.8%	38.2%	38.9%	36.0%
うち、一般市民により除細動が実施されなかった (適応でなかった)症例		17,836	18,753	19,420	20,265	20,529	21,796	22,558	22,916
1ヵ月後、生存		1,270	1,543	1,891	1,978	2,159	2,260	2,322	2,371
生存率		7.1%	8.2%	9.7%	9.8%	10.5%	10.4%	10.3%	10.3%
OPC/CPC共に1又は2		576	726	1,093	1,128	1,286	1,288	1,390	1,393
社会復帰率		3.2%	3.9%	5.6%	5.6%	6.3%	5.9%	6.2%	6.1%
うち、一般市民により除細動の 適応有無が不明の症例		0	0	1	75	0	0	0	0

**13 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（8 ヶ年集計、都道府県別）**

平成 24 年の心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点の目撃があったものは 2 万 3,797 人であり、そのうちの 1 ヶ月後生存者数は 2,736 人、1 ヶ月後生存率は 11.5%であった。また、1 ヶ月後社会復帰者数は 1,710 人で、1 ヶ月後社会復帰率は 7.2%であった。都道府県別の平成 24 年の心原性かつ一般市民により目撃のあった症例の 1 ヶ月後生存率は、島根県（20.6%）、佐賀県（19.4%）、鳥取県（18.7%）等で高く、1 ヶ月後社会復帰率については、佐賀県（16.1%）、島根県（14.9%）、福岡県（13.5%）等で高かった。（第 82 表、第 83 図参照）

平成 17 年から平成 24 年までの心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点の目撃があった症例の 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率は、それぞれここ数年ほぼ横ばいである。都道府県別の 1 ヶ月後生存率では、福岡県（15.9%）、沖縄県（15.1%）及び石川県（14.8%）等が高くなっている。また、1 ヶ月後社会復帰率においては、島根県（10.0%）、福岡県（10.0%）、石川県（9.0%）等が高くなっている。（第 84 表参照）

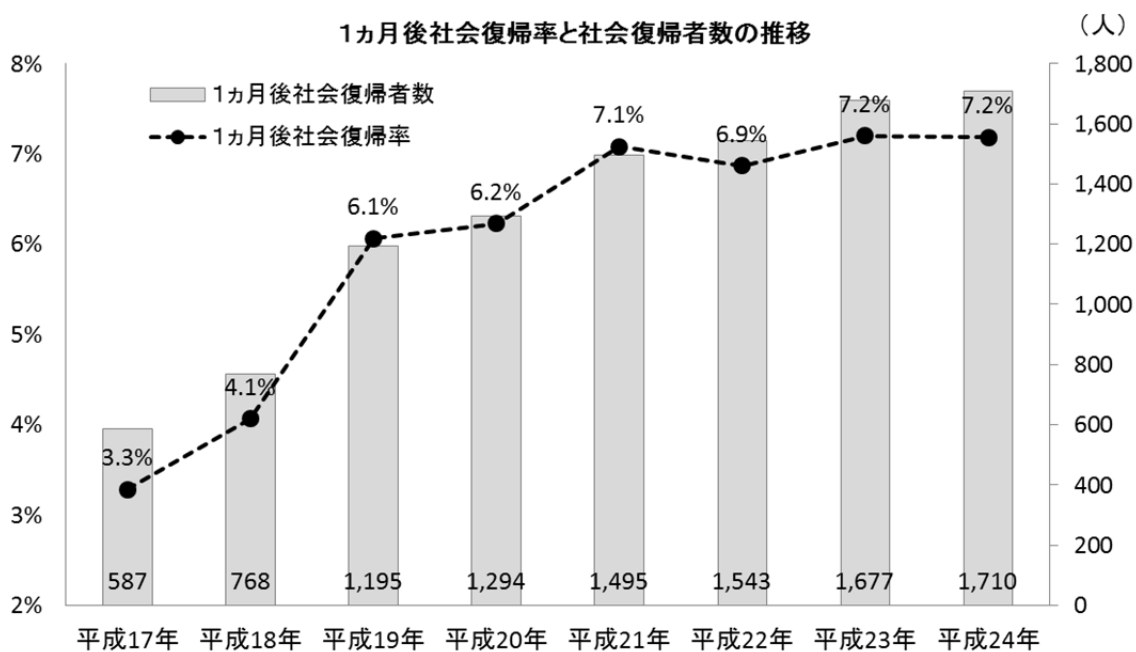
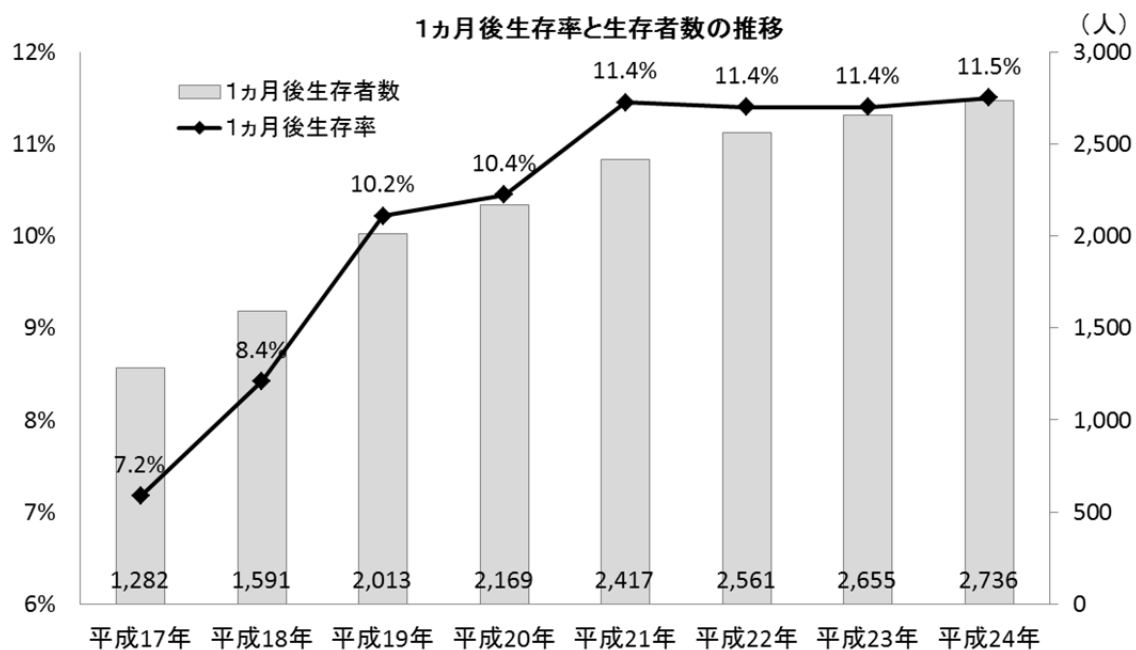
第 82 表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の 1 カ月後生存率及び 1 カ月後社会復帰率  
(平成 17 年～平成 24 年、都道府県別)

都道府県	平成 17 年				平成 18 年				平成 19 年						
	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性の心肺機能停止症例		1 カ月後社会復帰者数		一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性の心肺機能停止症例		1 カ月後社会復帰者数		一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性の心肺機能停止症例		1 カ月後社会復帰者数				
	1 カ月後生存者数	1 カ月後生存率	1 カ月後社会復帰者数	1 カ月後社会復帰率	1 カ月後生存者数	1 カ月後生存率	1 カ月後社会復帰者数	1 カ月後社会復帰率	1 カ月後生存者数	1 カ月後生存率	1 カ月後社会復帰者数	1 カ月後社会復帰率			
北海道	749	65	8.7%	27	3.6%	765	97	12.7%	48	6.3%	728	99	13.6%	60	8.2%
青森県	276	10	3.6%	3	1.1%	262	16	6.1%	8	3.1%	263	26	9.9%	15	5.7%
岩手県	275	13	4.7%	7	2.5%	293	16	5.5%	6	2.0%	312	23	7.4%	11	3.5%
宮城県	461	24	5.2%	13	2.8%	430	27	6.3%	17	4.0%	478	40	8.4%	17	3.6%
秋田県	220	17	7.7%	12	5.5%	223	23	10.3%	15	6.7%	239	21	8.8%	19	7.9%
山形県	234	7	3.0%	3	1.3%	235	21	8.9%	12	5.1%	223	18	8.1%	11	4.9%
福島県	427	15	3.5%	6	1.4%	457	16	3.5%	7	1.5%	489	29	5.9%	15	3.1%
茨城県	434	19	4.4%	8	1.8%	416	27	6.5%	10	2.4%	466	41	8.8%	20	4.3%
栃木県	389	14	3.6%	5	1.3%	389	16	4.1%	10	2.6%	334	15	4.5%	10	3.0%
群馬県	367	24	6.5%	10	2.7%	291	15	5.2%	11	3.8%	288	21	7.3%	14	4.9%
埼玉県	917	56	6.1%	24	2.6%	1,001	68	6.8%	37	3.7%	1,067	119	11.2%	68	6.4%
千葉県	716	46	6.4%	18	2.5%	809	52	6.4%	27	3.3%	868	79	9.1%	55	6.3%
東京都	1,521	138	9.1%	71	4.7%	1,733	108	6.2%	60	3.5%	1,806	148	8.2%	100	5.5%
神奈川県	1,187	85	7.2%	28	2.4%	1,093	98	9.0%	46	4.2%	1,227	133	10.8%	69	5.6%
新潟県	306	13	4.2%	8	2.6%	370	20	5.4%	10	2.7%	371	38	10.2%	22	5.9%
富山県	122	27	22.1%	5	4.1%	139	36	25.9%	12	8.6%	135	18	13.3%	9	6.7%
石川県	87	15	17.1%	10	11.4%	185	19	10.3%	8	4.3%	148	15	10.1%	14	9.5%
福井県	132	6	4.6%	3	2.3%	80	6	7.5%	3	3.8%	80	8	10.0%	6	7.5%
山梨県	145	6	4.1%	4	2.8%	142	8	5.6%	4	2.8%	152	13	8.6%	9	5.9%
長野県	323	16	5.0%	8	2.5%	335	13	3.9%	4	1.2%	341	17	5.0%	9	2.6%
岐阜県	351	31	8.8%	15	4.3%	362	23	6.4%	13	3.6%	340	26	7.6%	14	4.1%
静岡県	550	20	3.6%	11	2.0%	584	59	10.1%	24	4.1%	637	41	6.4%	25	3.9%
愛知県	1,305	102	7.8%	40	3.1%	1,439	179	12.4%	72	5.0%	1,352	177	13.1%	107	7.9%
三重県	290	13	4.5%	8	2.8%	278	15	5.4%	6	2.2%	327	33	10.1%	18	5.5%
滋賀県	182	14	7.7%	8	4.4%	181	15	8.3%	8	4.4%	179	16	8.9%	7	3.9%
京都府	422	47	11.1%	23	5.5%	402	43	10.7%	21	5.2%	436	47	10.8%	21	4.8%
大阪府	1,179	113	9.6%	57	4.8%	1,311	166	12.7%	80	6.1%	1,419	202	14.2%	126	8.9%
兵庫県	753	57	7.6%	27	3.6%	856	83	9.7%	37	4.3%	829	83	10.0%	47	5.7%
奈良県	165	8	4.8%	5	3.0%	243	14	5.8%	6	2.5%	254	17	6.7%	9	3.5%
和歌山県	157	13	8.3%	5	3.2%	167	14	8.4%	8	4.8%	183	9	4.9%	7	3.8%
鳥取県	102	6	5.9%	3	2.9%	116	10	8.6%	4	3.4%	118	12	10.2%	7	5.9%
鳥取県	154	17	11.0%	11	7.1%	141	12	8.5%	5	3.5%	162	21	13.0%	15	9.3%
岡山県	295	18	6.1%	8	2.7%	257	16	6.2%	6	2.3%	260	21	8.1%	8	3.1%
広島県	303	25	8.3%	15	5.0%	336	31	9.2%	16	4.8%	337	43	12.8%	27	8.0%
山口県	201	5	2.5%	2	1.0%	194	22	11.3%	10	5.2%	221	20	9.0%	11	5.0%
徳島県	91	6	6.6%	3	3.3%	123	5	4.1%	1	0.8%	120	7	5.8%	5	4.2%
香川県	82	5	6.1%	1	1.2%	87	4	4.6%	1	1.1%	104	5	4.8%	4	3.8%
愛媛県	224	8	3.6%	1	0.4%	266	15	5.6%	6	2.3%	249	20	8.0%	10	4.0%
高知県	114	15	13.2%	3	2.6%	110	11	10.0%	5	4.5%	126	18	14.3%	7	5.6%
福岡県	531	63	11.9%	31	5.8%	575	53	9.2%	30	5.2%	618	90	14.6%	56	9.1%
佐賀県	75	10	13.3%	6	8.0%	93	6	6.5%	2	2.2%	117	9	7.7%	4	3.4%
長崎県	172	8	4.7%	3	1.7%	172	15	8.7%	9	5.2%	212	18	8.5%	13	6.1%
熊本県	222	14	6.3%	9	4.1%	236	21	8.9%	14	5.9%	290	39	13.4%	23	7.9%
大分県	145	7	4.8%	3	2.1%	150	10	6.7%	4	2.7%	131	19	14.5%	6	4.6%
宮崎県	147	12	8.2%	4	2.7%	142	12	8.5%	9	6.3%	177	23	13.0%	17	9.6%
鹿児島県	242	13	5.4%	8	3.3%	247	21	8.5%	10	4.0%	274	42	15.3%	29	10.6%
沖縄県	140	16	11.4%	4	2.9%	181	23	12.7%	6	3.3%	220	34	15.5%	19	8.6%
全国	17,882	1,282	7.2%	587	3.3%	18,897	1,591	8.4%	768	4.1%	19,707	2,013	10.2%	1,195	6.1%

都道府県	平成20年				平成21年				平成22年						
	一般市民により心肺機能停止の時点で目覚められた心原性の心臓機能停止症例		1ヵ月後社会復帰者数		一般市民により心肺機能停止の時点で目覚められた心原性の心臓機能停止症例		1ヵ月後社会復帰者数		一般市民により心肺機能停止の時点で目覚められた心原性の心臓機能停止症例		1ヵ月後社会復帰者数				
	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰率			
北海道	830	95	11.4%	51	6.1%	858	132	15.4%	83	9.7%	841	116	13.8%	64	7.6%
青森県	259	26	10.0%	16	6.2%	313	33	10.5%	17	5.4%	295	33	11.2%	15	5.1%
岩手県	297	15	5.1%	9	3.0%	329	23	7.0%	17	5.2%	311	5	1.6%	11	3.5%
宮城県	505	52	10.3%	33	6.5%	446	47	10.5%	24	5.4%	473	38	8.0%	24	5.1%
秋田県	238	28	11.8%	20	8.4%	275	29	10.5%	21	7.6%	272	25	9.2%	16	5.9%
山形県	249	23	9.2%	16	6.4%	270	19	7.0%	9	3.3%	256	19	7.4%	12	4.7%
福島県	487	24	4.9%	20	4.1%	520	47	9.0%	28	5.4%	508	41	8.1%	26	5.1%
茨城県	480	31	6.5%	18	3.8%	526	57	10.8%	35	6.7%	478	44	9.2%	21	4.4%
栃木県	354	32	9.0%	21	6.0%	386	27	7.0%	17	4.4%	404	38	9.4%	22	5.4%
群馬県	318	31	9.7%	17	5.3%	344	25	7.3%	11	3.2%	382	47	12.3%	24	6.3%
埼玉県	1,197	141	11.8%	89	7.4%	1,240	154	12.4%	100	8.1%	1,312	143	10.9%	82	6.3%
千葉県	891	96	10.8%	50	5.6%	934	91	9.7%	49	5.2%	1,037	113	10.9%	65	6.3%
東京都	1,885	127	6.7%	82	4.4%	1,833	152	8.3%	100	5.5%	2,553	218	8.5%	159	6.2%
神奈川県	1,407	155	11.0%	95	6.8%	1,417	178	12.6%	113	8.0%	1,506	163	10.8%	98	6.5%
新潟県	383	38	9.9%	31	8.1%	431	52	12.1%	28	6.5%	440	55	12.5%	41	9.3%
富山県	155	16	10.3%	11	7.1%	152	16	10.5%	11	7.2%	149	17	11.4%	13	8.7%
石川県	147	23	15.6%	12	8.2%	174	23	13.2%	13	7.5%	167	36	21.6%	21	12.6%
福井県	95	8	8.4%	6	6.3%	91	11	12.1%	10	11.0%	100	11	11.0%	7	7.0%
山梨県	178	15	8.4%	11	6.2%	177	26	14.7%	19	10.7%	213	19	8.9%	10	4.7%
長野県	386	33	8.5%	21	5.4%	367	27	7.4%	27	7.4%	389	35	9.0%	25	6.4%
岐阜県	412	48	11.7%	26	6.3%	425	53	12.5%	34	8.0%	388	41	10.6%	22	5.7%
静岡県	650	44	6.8%	26	4.0%	707	58	8.2%	37	5.2%	684	57	8.3%	38	5.6%
愛知県	1,384	173	12.5%	100	7.2%	1,280	195	15.2%	116	9.1%	1,288	199	15.5%	112	8.7%
三重県	349	19	5.4%	16	4.6%	351	38	10.8%	25	7.1%	385	48	12.5%	22	5.7%
滋賀県	193	21	10.9%	12	6.2%	215	26	12.1%	19	8.8%	202	22	10.9%	15	7.4%
京都府	440	49	11.1%	21	4.8%	463	56	12.1%	35	7.6%	435	47	10.8%	25	5.7%
大阪府	1,462	216	14.8%	126	8.6%	1,494	209	14.0%	117	7.8%	1,608	233	14.5%	136	8.5%
兵庫県	858	128	14.9%	71	8.3%	860	110	12.8%	65	7.6%	902	117	13.0%	69	7.6%
奈良県	259	22	8.5%	11	4.2%	328	18	5.5%	12	3.7%	243	21	8.6%	12	4.9%
和歌山県	164	13	7.9%	8	4.9%	142	15	10.6%	10	7.0%	196	27	13.8%	19	9.7%
鳥取県	129	17	13.2%	12	9.3%	135	11	8.1%	8	5.9%	115	14	12.2%	9	7.8%
島根県	153	25	16.3%	19	12.4%	176	25	14.2%	15	8.5%	162	28	17.3%	17	10.5%
岡山県	304	24	7.9%	12	3.9%	302	43	14.2%	30	9.9%	278	36	12.9%	30	10.8%
広島県	369	32	8.7%	18	4.9%	337	34	10.1%	22	6.5%	428	58	13.6%	35	8.2%
山口県	247	20	8.1%	14	5.7%	222	23	10.4%	19	8.6%	231	22	9.5%	14	6.1%
徳島県	115	9	7.8%	3	2.6%	110	6	5.5%	5	4.5%	101	7	6.9%	4	4.0%
香川県	120	10	8.3%	4	3.3%	135	14	10.4%	12	8.9%	141	9	6.4%	6	4.3%
愛媛県	314	24	7.6%	16	5.1%	279	31	11.1%	17	6.1%	305	24	7.9%	12	3.9%
高知県	105	11	10.5%	7	6.7%	117	14	12.0%	6	5.1%	110	16	14.5%	8	7.3%
福岡県	576	104	18.1%	65	11.3%	560	105	18.8%	64	11.4%	603	108	17.9%	71	11.8%
佐賀県	109	8	7.3%	4	3.7%	98	12	12.2%	10	10.2%	104	17	16.3%	9	8.7%
長崎県	195	16	8.2%	9	4.6%	216	22	10.2%	16	7.4%	215	19	8.8%	11	5.1%
熊本県	298	23	7.7%	14	4.7%	269	30	11.2%	19	7.1%	335	49	14.6%	24	7.2%
大分県	183	25	13.7%	10	5.5%	173	22	12.7%	10	5.8%	199	21	10.6%	12	6.0%
宮崎県	178	20	11.2%	11	6.2%	167	20	12.0%	14	8.4%	197	18	9.1%	14	7.1%
鹿児島県	247	23	9.3%	16	6.5%	263	26	9.9%	22	8.4%	307	31	10.1%	22	7.2%
沖縄県	215	36	16.7%	17	7.9%	205	37	18.0%	25	12.2%	215	40	18.6%	19	8.8%
全国	20,769	2,169	10.4%	1,294	6.2%	21,112	2,417	11.4%	1,495	7.1%	22,463	2,561	11.4%	1,543	6.9%

都道府県	平成23年				平成24年					
	一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止症例		一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止症例		1か月後生存者数		1か月後生存者数			
	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	1か月後社会復帰率		
北海道	908	127	14.0%	81	8.9%	937	144	15.4%	81	8.6%
青森県	293	29	9.9%	17	5.8%	357	31	8.7%	21	5.9%
岩手県	320	24	7.5%	16	5.0%	356	26	7.3%	15	4.2%
宮城県	511	44	8.6%	27	5.3%	449	40	8.9%	27	6.0%
秋田県	290	24	8.3%	16	5.5%	338	24	7.1%	12	3.6%
山形県	264	22	8.3%	13	4.9%	271	23	8.5%	11	4.1%
福島県	551	41	7.4%	21	3.8%	469	47	10.0%	31	6.6%
茨城県	547	38	6.9%	18	3.3%	570	43	7.5%	24	4.2%
栃木県	433	39	9.0%	23	5.3%	404	48	11.9%	30	7.4%
群馬県	445	57	12.8%	36	8.1%	385	45	11.7%	21	5.5%
埼玉県	1,410	160	11.3%	93	6.6%	1,490	199	13.4%	120	8.1%
千葉県	1,000	109	10.9%	64	6.4%	1,068	104	9.7%	64	6.0%
東京都	2,690	228	8.5%	168	6.2%	2,916	191	6.6%	143	4.9%
神奈川県	1,528	69	4.5%	109	7.1%	1,650	208	12.6%	137	8.3%
新潟県	478	73	15.3%	54	11.3%	487	56	11.5%	38	7.8%
富山県	158	16	10.1%	12	7.6%	152	19	12.5%	12	7.9%
石川県	159	30	18.9%	20	12.6%	177	30	16.9%	18	10.2%
福井県	97	8	8.2%	6	6.2%	99	11	11.1%	8	8.1%
山梨県	178	22	12.4%	9	5.1%	200	20	10.0%	15	7.5%
長野県	388	43	11.1%	27	7.0%	371	35	9.4%	24	6.5%
岐阜県	400	41	10.3%	27	6.8%	441	53	12.0%	37	8.4%
静岡県	688	73	10.6%	42	6.1%	774	70	9.0%	39	5.0%
愛知県	1,415	210	14.8%	139	9.8%	1,350	206	15.3%	132	9.8%
三重県	342	33	9.6%	19	5.6%	363	40	10.4%	23	6.0%
滋賀県	223	22	9.9%	11	4.9%	239	29	12.1%	19	7.9%
京都府	501	56	11.2%	33	6.6%	459	64	13.9%	36	7.8%
大阪府	1,600	249	15.6%	154	9.6%	1,699	268	15.8%	167	9.8%
兵庫県	961	127	13.2%	66	6.9%	979	121	12.4%	71	7.3%
奈良県	279	22	7.9%	13	4.7%	274	24	8.8%	16	5.8%
和歌山県	157	17	10.8%	9	5.7%	181	20	11.0%	9	5.0%
鳥取県	113	9	8.0%	5	4.4%	134	25	18.7%	16	11.9%
島根県	210	30	14.3%	24	11.4%	194	40	20.6%	29	14.9%
岡山県	313	40	12.8%	21	6.7%	296	33	11.1%	24	8.1%
広島県	382	42	11.0%	24	6.3%	373	43	11.5%	11	2.9%
山口県	228	27	11.8%	14	6.1%	235	15	6.4%	8	3.4%
徳島県	128	11	8.6%	10	7.8%	113	13	11.5%	9	8.0%
香川県	152	13	8.6%	11	7.2%	142	20	14.1%	12	8.5%
愛媛県	290	26	9.0%	21	7.2%	255	10	3.9%	4	1.6%
高知県	106	17	16.0%	14	13.2%	107	15	14.0%	10	9.3%
福岡県	601	111	18.5%	71	11.8%	534	97	18.2%	72	13.5%
佐賀県	109	11	10.1%	9	8.3%	93	18	19.4%	15	16.1%
長崎県	218	19	8.7%	14	6.4%	222	23	10.4%	17	7.7%
熊本県	347	39	11.2%	24	6.9%	317	45	14.2%	27	8.5%
大分県	173	20	11.6%	10	5.8%	180	18	10.0%	13	7.2%
宮崎県	205	20	9.8%	12	5.9%	189	18	9.5%	13	6.9%
鹿児島県	310	40	12.9%	31	10.0%	272	37	13.6%	20	7.4%
沖縄県	197	27	13.7%	19	9.6%	216	27	12.5%	9	4.2%
全国	23,296	2,655	11.4%	1,677	7.2%	23,797	2,736	11.5%	1,710	7.2%

第 83 図 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例  
の 1 ヶ月後生存率と生存者数及び 1 ヶ月後社会復帰率と社会復帰者数の推移



第 84 表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例  
の 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（8 ヶ年集計、都道府県別）

都道府県	8カ年全件数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性的心肺機能停止症例				
			1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数	
				1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率
北海道	39,474	6,616	875	13.2%	495	7.5%
青森県	12,298	2,318	204	8.8%	112	4.8%
岩手県	12,469	2,493	161	6.5%	92	3.7%
宮城県	18,158	3,753	312	8.3%	182	4.8%
秋田県	11,413	2,095	191	9.1%	131	6.3%
山形県	11,432	2,002	147	7.3%	87	4.3%
福島県	17,264	3,908	260	6.7%	154	3.9%
茨城県	22,666	3,917	300	7.7%	154	3.9%
栃木県	16,129	3,093	229	7.4%	138	4.5%
群馬県	15,645	2,820	265	9.4%	144	5.1%
埼玉県	45,673	9,634	1,040	10.8%	613	6.4%
千葉県	40,134	7,323	690	9.4%	392	5.4%
東京都	97,848	16,937	1,310	7.7%	883	5.2%
神奈川県	63,072	11,015	1,189	10.8%	695	6.3%
新潟県	21,842	3,266	345	10.6%	232	7.1%
富山県	8,592	1,162	165	14.2%	85	7.3%
石川県	7,969	1,289	191	14.8%	116	9.0%
福井県	5,503	729	69	9.5%	49	6.7%
山梨県	7,241	1,385	129	9.3%	81	5.8%
長野県	19,088	2,900	219	7.6%	139	4.8%
岐阜県	17,398	3,119	316	10.1%	188	6.0%
静岡県	31,173	5,274	413	7.8%	242	4.6%
愛知県	50,921	10,813	1,441	13.3%	818	7.6%
三重県	16,120	2,705	239	8.8%	137	5.1%
滋賀県	9,306	1,614	165	10.2%	99	6.1%
京都府	18,008	3,558	409	11.5%	215	6.0%
大阪府	55,246	11,772	1,656	14.1%	963	8.2%
兵庫県	36,307	6,998	826	11.8%	453	6.5%
奈良県	8,786	2,045	146	7.1%	84	4.1%
和歌山県	9,008	1,347	128	9.5%	75	5.6%
鳥取県	4,990	962	104	10.8%	64	6.7%
島根県	7,143	1,352	198	14.6%	135	10.0%
岡山県	13,678	2,305	231	10.0%	139	6.0%
広島県	17,738	2,865	308	10.8%	168	5.9%
山口県	10,360	1,779	154	8.7%	92	5.2%
徳島県	5,056	901	64	7.1%	40	4.4%
香川県	6,910	963	80	8.3%	51	5.3%
愛媛県	11,338	2,182	158	7.2%	87	4.0%
高知県	5,949	895	117	13.1%	60	6.7%
福岡県	31,530	4,598	731	15.9%	460	10.0%
佐賀県	5,782	798	91	11.4%	59	7.4%
長崎県	9,360	1,622	140	8.6%	84	5.2%
熊本県	12,765	2,314	260	11.2%	154	6.7%
大分県	7,897	1,334	142	10.6%	68	5.1%
宮崎県	7,794	1,402	143	10.2%	94	6.7%
鹿児島県	12,143	2,162	233	10.8%	151	7.0%
沖縄県	8,672	1,589	240	15.1%	115	7.2%
全国	925,288	167,923	17,424	10.4%	10,269	6.1%

#### 14 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VT症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（8ヵ年集計、都道府県別）

平成24年の心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VT症例は4,773人であり、そのうちの1ヵ月後生存者数は1,535人、1ヵ月後生存率は32.2%であった。また、社会復帰については、1ヵ月後社会復帰者数は1,025人で、1ヵ月後社会復帰率は21.5%であった。都道府県別の1ヵ月後生存率では、鳥取県（66.7%）、島根県（50.0%）、佐賀県（48.0%）等が高くなっている。また、1ヵ月後社会復帰率については、鳥取県（50.0%）、佐賀県（36.0%）、愛知県（31.6%）等が高くなっている。（第85表、第86図参照）

平成17年から平成24年までの心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された初期心電図波形がVF又は無脈性VT症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率は、それぞれここ数年横ばいである。都道府県別の1ヵ月後生存率では、大阪府（37.6%）愛知県（37.2%）及び島根県（36.7%）等が高くなっている。また、1ヵ月後社会復帰率においては、福岡県（24.9%）、大阪府（24.6%）及び愛知県（24.2%）等が高くなっている。（第87表参照）



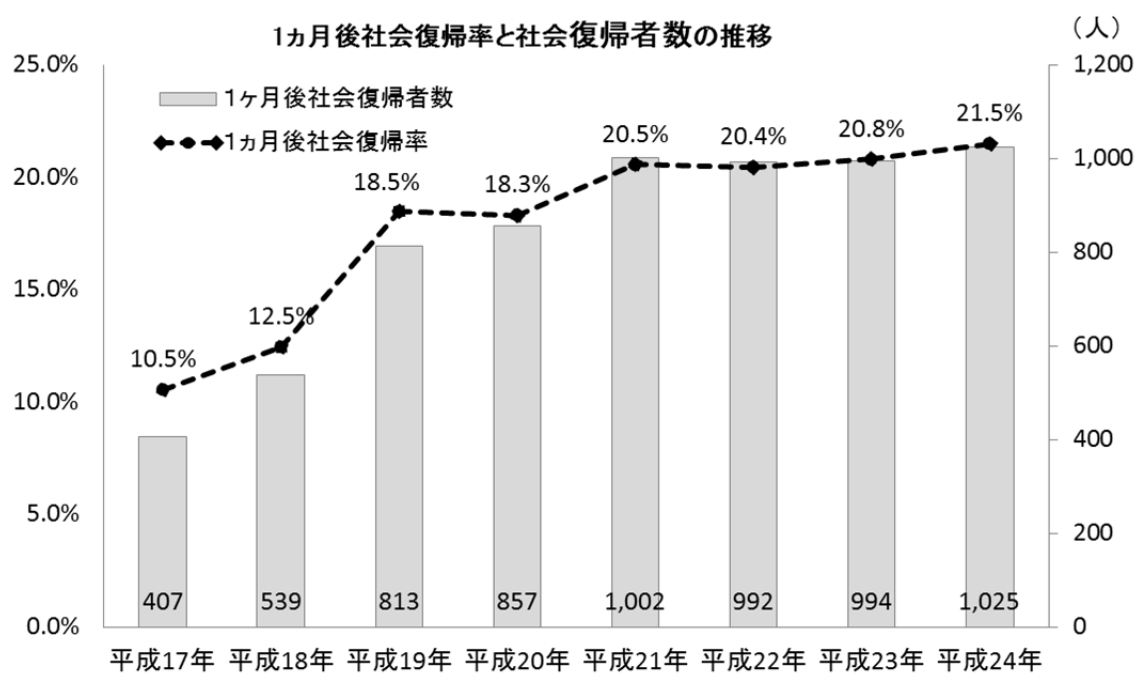
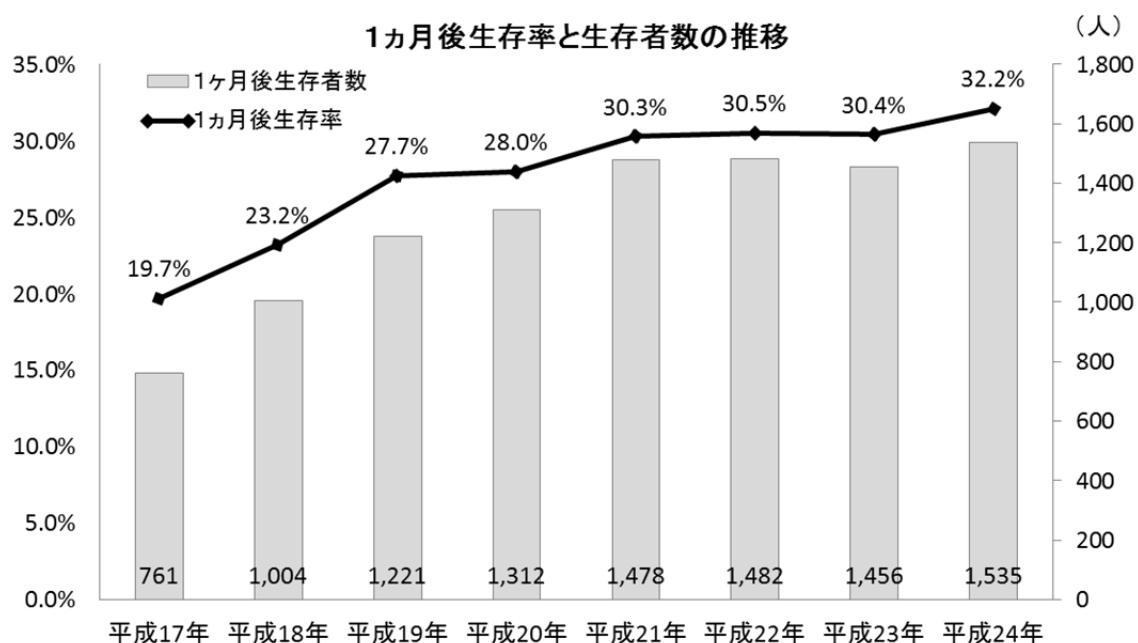
第 85 表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形が VF 又は無脈性 VT 症例の 1 カ月後生存率及び 1 カ月後社会復帰率（平成 17 年～平成 24 年、都道府県別）

都道府県	平成17年				平成18年				平成19年						
	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止症例		1か月後生存者数		1か月後生存率		1か月後社会復帰者数		1か月後生存者数		1か月後生存率		1か月後社会復帰者数		
	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰者数	
北海道	188	45	23.9%	21	11.2%	237	59	24.9%	32	13.5%	211	72	34.1%	48	22.7%
青森県	57	6	10.5%	2	3.5%	61	14	23.0%	7	11.5%	57	18	31.6%	10	17.5%
岩手県	53	8	15.1%	4	7.5%	55	11	20.0%	5	9.1%	67	16	23.9%	9	13.4%
宮城県	77	11	14.3%	7	9.1%	100	21	21.0%	14	14.0%	90	21	23.3%	12	13.3%
秋田県	53	10	18.9%	9	17.0%	49	14	28.6%	9	18.4%	57	16	28.1%	14	24.6%
山形県	51	3	5.9%	1	2.0%	50	15	30.0%	9	18.0%	43	11	25.6%	6	14.0%
福島県	84	11	13.1%	4	4.8%	82	8	9.8%	4	4.9%	82	22	23.9%	13	14.1%
茨城県	70	10	14.3%	7	10.0%	97	15	15.5%	8	8.2%	91	24	26.4%	16	17.6%
栃木県	73	8	11.0%	2	2.7%	91	11	12.1%	7	7.7%	81	12	14.8%	7	8.6%
群馬県	60	11	18.3%	7	11.7%	57	9	15.8%	9	15.8%	64	18	28.1%	12	18.8%
埼玉県	210	36	17.1%	18	8.6%	220	44	20.0%	28	12.7%	254	75	29.5%	52	20.5%
千葉県	141	25	17.7%	11	7.8%	169	34	20.1%	19	11.2%	171	47	27.5%	36	21.1%
東京都	333	74	22.2%	41	12.3%	367	59	16.1%	31	8.4%	399	77	19.3%	51	12.8%
神奈川県	280	52	18.6%	22	7.9%	282	61	23.3%	29	11.1%	288	74	24.8%	47	15.8%
新潟県	70	10	14.3%	6	8.6%	101	13	12.9%	7	6.9%	80	24	30.0%	15	18.8%
富山県	35	12	34.3%	3	8.6%	54	22	40.7%	9	16.7%	40	11	27.5%	7	17.5%
石川県	47	11	23.4%	8	17.0%	53	13	24.5%	4	7.5%	35	11	31.4%	10	28.6%
福井県	22	5	22.7%	3	13.6%	13	3	23.1%	2	15.4%	27	5	18.5%	4	14.8%
山梨県	36	5	13.9%	3	8.3%	33	4	12.1%	3	9.1%	22	4	18.2%	4	18.2%
長野県	73	10	13.7%	6	8.2%	74	7	9.5%	2	2.7%	57	10	17.5%	6	10.5%
岐阜県	74	21	28.4%	11	14.9%	60	14	23.3%	8	13.3%	59	15	25.4%	12	20.3%
静岡県	119	10	8.4%	7	5.9%	152	40	26.3%	18	11.8%	156	24	15.4%	12	7.7%
愛知県	244	48	19.7%	24	9.8%	279	96	34.4%	51	18.3%	293	111	37.9%	75	25.6%
三重県	60	8	13.3%	5	8.3%	60	12	20.0%	6	10.0%	61	13	21.3%	9	14.8%
滋賀県	39	8	20.5%	6	15.4%	44	11	25.0%	6	13.6%	38	9	23.7%	6	15.8%
京都府	107	37	34.6%	19	17.8%	96	33	34.4%	17	17.7%	110	32	29.1%	14	12.7%
大阪府	261	71	27.2%	45	17.2%	327	103	31.5%	54	16.5%	319	131	41.1%	95	29.8%
兵庫県	177	37	20.9%	21	11.9%	191	54	28.3%	27	14.1%	156	46	29.5%	28	17.9%
奈良県	29	6	20.7%	5	17.2%	37	9	24.3%	5	13.5%	42	11	26.2%	5	11.9%
和歌山県	33	8	24.2%	3	9.1%	44	11	25.0%	7	15.9%	42	5	11.9%	5	11.9%
鳥取県	26	6	23.1%	3	11.5%	29	8	27.6%	4	13.8%	29	7	24.1%	6	20.7%
島根県	28	10	35.7%	7	25.0%	35	10	28.6%	5	14.3%	28	11	39.3%	8	28.6%
岡山県	54	9	16.7%	3	5.6%	59	8	13.6%	4	6.8%	59	12	20.3%	5	8.5%
広島県	82	19	20.7%	12	13.0%	92	22	23.9%	14	15.2%	84	28	33.3%	18	21.4%
山口県	33	3	9.1%	1	3.0%	44	14	31.8%	10	22.7%	42	13	31.0%	9	21.4%
徳島県	29	3	10.3%	3	10.3%	37	3	8.1%	0	0.0%	30	6	20.0%	5	16.7%
香川県	18	1	5.6%	1	5.6%	34	2	5.9%	0	0.0%	26	5	19.2%	4	17.5%
愛媛県	46	3	6.5%	1	2.2%	40	8	20.0%	4	10.0%	40	12	30.0%	7	17.5%
高知県	20	7	35.0%	1	5.0%	23	7	30.4%	3	13.0%	37	13	35.1%	6	16.2%
福岡県	129	40	31.0%	21	16.3%	144	35	24.3%	22	15.2%	169	53	31.4%	35	20.7%
佐賀県	18	8	44.4%	5	27.8%	19	5	26.3%	2	10.5%	40	13	32.5%	3	7.5%
長門県	30	4	13.3%	3	10.0%	50	11	22.0%	8	16.0%	61	13	21.3%	10	16.4%
熊本県	66	5	7.6%	4	6.1%	44	9	20.5%	6	13.6%	63	21	33.3%	13	20.6%
大分県	20	4	20.0%	2	10.0%	37	7	18.9%	4	10.8%	33	7	21.2%	4	12.1%
宮崎県	29	9	31.0%	4	13.8%	23	8	34.8%	6	26.1%	52	18	34.6%	13	25.0%
鹿児島県	40	4	10.0%	5	12.5%	54	14	25.9%	7	13.0%	49	17	34.7%	12	24.5%
沖縄県	25	6	24.0%	2	8.0%	50	13	26.0%	3	6.0%	49	17	34.7%	15	30.6%
全国	3,859	761	19.7%	407	10.5%	4,329	1,004	23.2%	559	12.9%	4,403	1,221	27.7%	813	18.5%

都道府県	平成20年				平成21年				平成22年			
	一般市民により心臓機能停止の時点が自家された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止症例				一般市民により心臓機能停止の時点が自家された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止症例				一般市民により心臓機能停止の時点が自家された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止症例			
	1か月後 生存率	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰者数	1か月後 生存率	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰者数	1か月後 生存率	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰者数
北海道	196	27.0%	53	16.8%	235	40.4%	95	27.7%	213	31.9%	68	41
青森県	60	28.3%	17	18.3%	72	22.3%	16	13.9%	73	34.2%	25	15
岩手県	52	15.4%	8	9.6%	61	19.7%	12	14.8%	50	18.0%	9	7
宮城県	115	30.2%	30	26.1%	97	25.8%	25	25.5%	92	25.0%	23	15
秋田県	52	21.4%	21	40.4%	51	31.4%	16	31.4%	44	34.1%	15	10
山形県	17	32.7%	17	32.7%	52	19.2%	10	13.5%	43	25.6%	8	18.6%
福島県	111	15.3%	17	12.6%	103	28.2%	29	18.4%	93	30.1%	28	20
茨城県	123	14.6%	18	13.0%	124	29.8%	37	21.0%	96	26.0%	25	13
栃木県	95	20.0%	19	20.0%	90	17.8%	16	12.2%	91	23.1%	17	18.7%
群馬県	72	30.6%	22	19.4%	65	20.0%	13	20.0%	76	23.7%	14	18.4%
埼玉県	277	30.7%	85	19.5%	317	31.9%	101	21.8%	277	29.6%	82	53
千葉県	211	25.1%	53	24.5%	212	24.5%	52	16.0%	242	26.9%	65	37
東京都	351	16.2%	57	10.5%	414	16.9%	70	10.8%	489	23.1%	113	86
神奈川県	288	32.5%	93	23.5%	319	32.5%	103	23.2%	316	31.0%	98	63
新潟県	115	27.8%	32	23.5%	117	35.9%	42	19.7%	105	27.6%	29	23
富山県	50	24.0%	12	24.0%	39	17.9%	7	12.8%	38	31.6%	12	8
石川県	44	38.6%	17	25.0%	49	36.7%	18	24.5%	63	38.1%	24	14
福井県	23	26.1%	6	21.7%	27	25.9%	4	22.2%	24	37.5%	9	7
山梨県	30	30.0%	9	20.0%	42	38.1%	16	28.6%	36	30.6%	11	8
長野県	85	25.9%	22	18.8%	100	22.0%	22	18.0%	91	27.5%	25	18
岐阜県	84	31.0%	26	22.6%	84	32.1%	27	25.0%	70	18.6%	13	12.9%
静岡県	141	18.4%	26	12.1%	147	24.5%	36	17.7%	162	25.3%	26	16.0%
愛知県	303	34.7%	73	24.1%	325	38.5%	125	24.0%	317	42.3%	83	26.2%
三重県	76	15.8%	12	11.8%	80	30.0%	24	22.5%	75	26.7%	20	18.7%
滋賀県	37	32.4%	12	18.9%	51	39.2%	20	31.4%	39	30.8%	12	10
京都府	106	26.4%	28	10.4%	97	36.1%	35	25.8%	99	30.3%	30	18
大阪府	356	41.6%	148	27.0%	317	38.2%	121	24.0%	350	38.3%	134	88
兵庫県	193	38.3%	74	25.4%	190	33.7%	64	21.1%	181	34.8%	63	44
奈良県	49	22.4%	11	12.2%	58	22.4%	13	15.5%	45	26.7%	12	8
和歌山県	40	20.0%	8	19.2%	33	30.3%	10	21.2%	51	39.2%	20	14
鳥取県	26	26.9%	7	30.4%	16	25.0%	4	25.0%	22	31.8%	7	5
徳島県	23	47.8%	11	30.4%	34	32.4%	11	17.6%	25	44.0%	11	24.0%
岡山県	72	19.4%	8	11.1%	71	33.8%	24	25.4%	73	27.4%	20	16
広島県	26	25.5%	17	16.7%	94	27.7%	26	20.2%	122	37.7%	46	32
山口県	57	17.5%	10	8.8%	66	28.5%	19	24.2%	41	24.4%	10	7
徳島県	25	28.0%	7	8.0%	28	14.3%	4	10.7%	18	5.6%	1	5.6%
香川県	25	24.0%	6	12.0%	31	35.5%	11	32.3%	24	20.8%	5	12.5%
愛媛県	54	31.5%	17	22.2%	54	24.1%	13	16.7%	59	27.1%	16	10
高知県	25	40.0%	10	24.0%	28	28.6%	8	14.3%	24	37.5%	9	6
福岡県	165	38.8%	64	28.5%	156	43.8%	68	28.2%	161	36.6%	59	46
佐賀県	25	20.0%	5	12.0%	29	31.0%	10	27.6%	31	41.9%	13	7
熊本県	50	18.0%	9	6.0%	47	17.0%	15	17.0%	50	22.0%	11	7
鹿児島県	69	14.5%	10	7.2%	59	20.3%	16	20.3%	67	34.3%	23	15
大分県	56	28.6%	16	12.5%	47	31.9%	15	17.0%	53	26.4%	14	17.0%
宮崎県	46	26.1%	12	10.9%	35	37.1%	13	22.9%	36	30.6%	11	8
沖縄県	43	27.9%	12	20.9%	61	29.5%	18	21.3%	60	28.3%	17	12
計	4,684	28.0%	1,312	18.3%	4,878	30.3%	1,478	20.5%	4,856	30.5%	1,482	982
全国												

都道府県	平成23年				平成24年					
	一般市民により心臓機能停止の時点で目撃された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTCである心臓機能停止症例		1か月後生存者数		一般市民により心臓機能停止の時点で目撃された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTCである心臓機能停止症例		1か月後生存者数			
	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率		
北海道	235	77	32.8%	51	21.7%	228	79	34.6%	43	21.1%
青森県	61	21	34.4%	12	19.7%	68	14	20.6%	11	16.2%
岩手県	19	14	31.1%	14	23.0%	65	18	27.7%	9	13.8%
宮城県	80	26	32.5%	18	22.5%	85	23	27.1%	18	21.2%
秋田県	58	18	31.0%	13	22.4%	53	18	34.0%	10	18.9%
山形県	6	4	10.5%	4	7.0%	70	14	20.0%	4	5.7%
福島県	103	29	24.3%	18	17.5%	88	27	30.7%	21	23.9%
茨城県	123	28	22.8%	16	13.0%	106	27	25.5%	20	18.9%
栃木県	94	28	29.8%	18	19.1%	82	27	32.9%	20	24.4%
群馬県	96	33	34.4%	25	26.0%	86	22	25.6%	13	15.1%
埼玉県	276	84	30.4%	48	17.4%	300	115	38.3%	72	24.0%
千葉県	220	53	24.1%	30	13.6%	199	61	30.7%	38	19.1%
東京都	485	91	18.8%	68	14.0%	491	75	15.3%	54	11.0%
神奈川県	297	84	28.3%	56	18.9%	314	113	36.0%	78	24.8%
新潟県	117	43	36.8%	33	28.2%	111	39	35.1%	26	23.4%
富山県	41	10	24.4%	9	22.0%	41	14	34.1%	12	29.3%
石川県	48	17	35.4%	15	31.2%	51	22	43.1%	13	25.5%
福井県	26	4	15.4%	3	11.5%	27	8	29.6%	7	25.9%
山梨県	33	12	36.4%	5	15.2%	29	9	31.0%	8	27.6%
長野県	83	29	34.9%	19	22.9%	93	21	22.6%	15	16.1%
岐阜県	59	22	37.3%	16	27.1%	80	28	35.0%	23	28.8%
静岡県	157	46	29.3%	27	17.2%	143	39	27.3%	21	14.7%
愛知県	286	122	42.7%	90	31.5%	297	132	44.4%	94	31.6%
三重県	62	17	27.4%	9	14.5%	77	18	23.4%	13	16.9%
滋賀県	46	12	26.1%	8	17.4%	55	21	38.2%	13	23.6%
京都府	128	36	28.1%	26	20.3%	100	42	42.0%	26	26.0%
大阪府	306	121	39.5%	83	27.1%	345	141	40.9%	99	28.7%
兵庫県	180	53	29.4%	33	18.3%	209	76	36.4%	48	23.0%
奈良県	45	13	28.9%	8	17.8%	47	8	17.0%	7	14.9%
和歌山県	32	7	21.9%	5	15.6%	41	11	26.8%	7	17.1%
鳥取県	21	3	14.3%	3	14.3%	24	16	66.7%	12	50.0%
島根県	26	6	23.1%	5	19.2%	22	11	50.0%	6	27.3%
岡山県	67	25	37.3%	12	17.9%	56	20	35.7%	17	30.4%
広島県	100	33	33.0%	22	22.0%	84	33	39.3%	11	13.1%
山口県	53	16	30.2%	7	13.2%	38	10	26.3%	6	15.8%
徳島県	35	7	20.0%	7	20.0%	31	11	35.5%	8	25.8%
香川県	34	10	29.4%	9	26.5%	22	7	31.8%	5	22.7%
愛媛県	39	11	28.2%	11	28.2%	29	3	10.3%	1	3.4%
高知県	22	11	50.0%	8	36.4%	22	8	36.4%	4	18.2%
福岡県	184	66	40.2%	48	29.3%	147	59	40.1%	45	30.6%
佐賀県	29	7	24.1%	5	17.2%	25	12	48.0%	9	36.0%
長崎県	49	16	32.7%	12	24.5%	52	13	25.0%	9	17.3%
熊本県	63	23	36.5%	15	23.8%	69	19	27.5%	10	14.5%
大分県	47	13	27.7%	9	19.1%	48	14	29.2%	10	20.8%
宮崎県	36	10	27.8%	5	13.9%	38	10	26.3%	8	21.1%
鹿児島県	55	24	43.6%	21	38.2%	45	15	33.3%	11	24.4%
沖縄県	50	18	36.0%	15	30.0%	40	12	30.0%	5	12.5%
全国	4,785	1,456	30.4%	994	20.8%	4,773	1,535	32.2%	1,025	21.5%

第 86 図 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形が VF 又は無脈性 VT 症例の 1 ヶ月後生存率と生存者数及び 1 ヶ月後社会復帰率と社会復帰者数の推移



第 87 表 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、初期心電図波形がVF 又は無脈性VT 症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（8ヵ年集計、都道府県別）

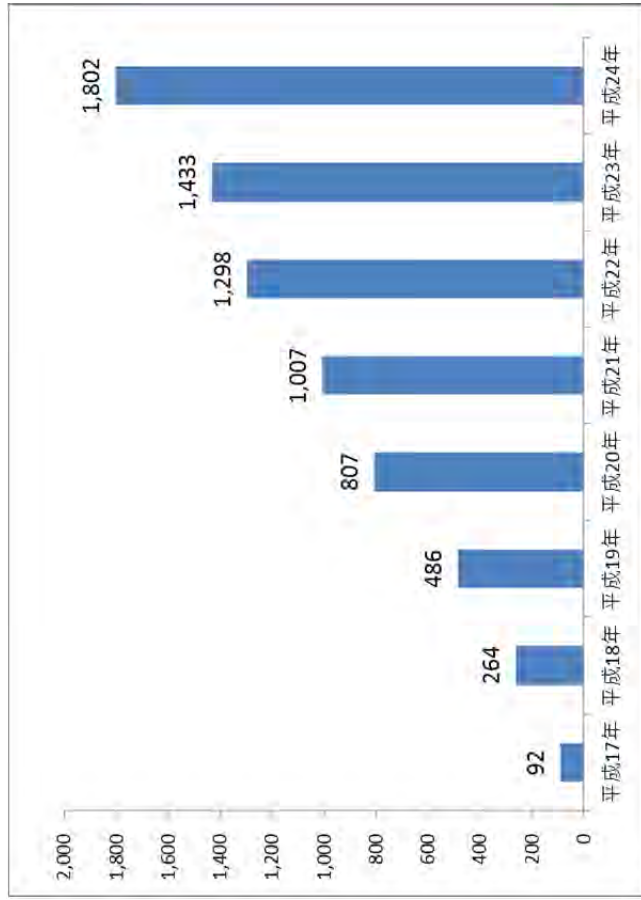
都道府県	全件数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された 心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心肺機能停止症例				
			1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数	
				1ヵ月後生存率		1ヵ月後 社会復帰率
北海道	39,474	1,743	548	31.4%	339	19.4%
青森県	12,298	509	131	25.7%	78	15.3%
岩手県	12,469	464	101	21.8%	62	13.4%
宮城県	18,158	736	180	24.5%	121	16.4%
秋田県	11,413	417	128	30.7%	93	22.3%
山形県	11,432	418	87	20.8%	51	12.2%
福島県	17,264	756	167	22.1%	113	14.9%
茨城県	22,666	830	184	22.2%	120	14.5%
栃木県	16,129	697	142	20.4%	94	13.5%
群馬県	15,645	576	146	25.3%	102	17.7%
埼玉県	45,673	2,131	622	29.2%	394	18.5%
千葉県	40,134	1,565	390	24.9%	229	14.6%
東京都	97,848	3,329	616	18.5%	412	12.4%
神奈川県	63,072	2,374	678	28.6%	437	18.4%
新潟県	21,842	816	232	28.4%	160	19.6%
富山県	8,592	338	100	29.6%	61	18.0%
石川県	7,969	390	133	34.1%	87	22.3%
福井県	5,503	189	47	24.9%	37	19.6%
山梨県	7,241	261	70	26.8%	49	18.8%
長野県	19,088	656	146	22.3%	100	15.2%
岐阜県	17,398	570	166	29.1%	119	20.9%
静岡県	31,173	1,177	262	22.3%	154	13.1%
愛知県	50,921	2,344	873	37.2%	568	24.2%
三重県	16,120	551	124	22.5%	83	15.1%
滋賀県	9,306	349	105	30.1%	72	20.6%
京都府	18,008	843	273	32.4%	156	18.5%
大阪府	55,246	2,581	970	37.6%	636	24.6%
兵庫県	36,307	1,477	467	31.6%	290	19.6%
奈良県	8,786	352	83	23.6%	53	15.1%
和歌山県	9,008	316	80	25.3%	53	16.8%
鳥取県	4,990	193	58	30.1%	42	21.8%
島根県	7,143	221	81	36.7%	50	22.6%
岡山県	13,678	511	132	25.8%	83	16.2%
広島県	17,738	770	233	30.3%	145	18.8%
山口県	10,360	374	95	25.4%	61	16.3%
徳島県	5,056	233	42	18.0%	29	12.4%
香川県	6,910	214	47	22.0%	35	16.4%
愛媛県	11,338	361	83	23.0%	55	15.2%
高知県	5,949	201	73	36.3%	38	18.9%
福岡県	31,530	1,235	444	36.0%	308	24.9%
佐賀県	5,782	216	63	29.2%	42	19.4%
長崎県	9,360	389	92	23.7%	60	15.4%
熊本県	12,765	500	126	25.2%	80	16.0%
大分県	7,897	341	90	26.4%	53	15.5%
宮崎県	7,794	295	91	30.8%	57	19.3%
鹿児島県	12,143	407	124	30.5%	90	22.1%
沖縄県	8,672	361	124	34.3%	78	21.6%
全国	925,288	36,577	10,249	28.0%	6,629	18.1%

### 15 心肺機能停止傷病者のうち、一般市民により除細動が実施された件数

平成17年から平成24年の各年の各年の心肺機能停止傷病者のうち、一般市民により除細動が実施された件数は、平成17年以降、年々増加している。平成24年における一般市民により除細動が実施された件数は1,802件であり、平成17年に比べ19.6倍であった。(第88表参照)

第88表 心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数(都道府県別)

都道府県	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
北海道	1	10	17	15	33	40	57	57
青森県	1	2	4	3	20	16	35	17
岩手県	2	1	5	8	15	14	30	25
宮城県	4	4	13	10	10	17	19	17
秋田県	0	1	2	5	9	11	8	23
山形県	2	6	3	6	7	16	11	15
福島県	5	9	4	10	12	17	15	32
茨城県	2	4	9	13	23	17	21	36
栃木県	2	2	7	4	16	13	10	31
群馬県	4	6	5	12	17	26	27	28
埼玉県	5	18	32	40	56	80	73	90
千葉県	2	16	14	45	65	80	97	105
東京都	10	51	96	123	143	204	203	255
神奈川県	8	15	21	59	77	64	99	128
新潟県	3	5	9	11	21	44	58	62
富山県	0	1	3	7	9	13	6	10
石川県	0	2	7	5	4	4	5	7
福井県	3	2	1	10	4	8	11	9
山梨県	0	3	2	8	7	11	7	11
長野県	0	5	7	14	14	12	18	27
岐阜県	0	7	11	13	27	17	31	33
静岡県	1	10	17	36	27	43	43	46
愛知県	8	10	41	60	56	88	87	107
三重県	0	6	12	16	21	25	19	34
滋賀県	0	2	7	8	13	19	14	20
京都府	1	2	10	9	20	13	20	30
大阪府	3	16	29	34	52	58	61	86
兵庫県	6	7	33	47	44	60	48	47
奈良県	0	1	0	11	11	15	19	28
和歌山県	0	3	3	8	3	6	8	10
鳥取県	4	0	3	2	3	4	7	11
島根県	0	2	3	4	4	8	14	15
岡山県	2	0	4	4	9	12	6	9
広島県	6	8	15	25	13	32	12	40
山口県	0	3	3	12	12	10	3	17
徳島県	0	1	1	1	1	2	10	4
香川県	0	1	1	6	7	5	7	4
愛媛県	1	3	5	11	7	14	6	17
高知県	0	1	2	4	9	8	11	28
福岡県	3	14	7	28	48	84	90	133
佐賀県	1	0	5	7	6	4	14	7
長崎県	3	1	2	7	9	2	9	11
熊本県	1	1	1	13	10	19	10	11
大分県	0	0	2	12	6	18	14	17
宮崎県	0	1	4	12	6	6	10	11
鹿児島県	1	1	3	3	7	6	20	17
沖縄県	0	3	1	6	6	14	17	19
全国	92	264	486	807	1,007	1,298	1,433	1,802



## 16 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例について、1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率ともに0～9歳が最も高い。(第89表参照)

第89表 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率(平成17年から平成24年合計)

		8カ年集計												
		総件数	非心原性かつ一般市民により目撃あり症例数											
			うち、男性				うち、女性							
			人数	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後社会復帰率	人数	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後社会復帰率				
年齢区分	0～9	10,618	1,781	1,049	267	25.5%	148	14.1%	732	188	25.7%	93	12.7%	
	10～19	6,816	1,560	1,125	118	10.5%	65	5.8%	435	68	15.6%	33	7.6%	
	20～29	16,375	3,085	2,177	118	5.4%	58	2.7%	908	71	7.8%	36	4.0%	
	30～39	25,750	4,189	2,915	167	5.7%	107	3.7%	1,274	112	8.8%	48	3.8%	
	40～49	39,961	5,725	3,865	232	6.0%	116	3.0%	1,860	175	9.4%	65	3.5%	
	50～59	75,789	10,234	6,914	525	7.6%	227	3.3%	3,320	271	8.2%	101	3.0%	
	60～69	134,399	18,337	12,314	985	8.0%	363	2.9%	6,023	530	8.8%	173	2.9%	
	70～79	224,491	31,875	21,144	1,630	7.7%	499	2.4%	10,731	952	8.9%	281	2.6%	
	80～89	276,666	40,096	21,630	1,541	7.1%	422	2.0%	18,466	1,473	8.0%	410	2.2%	
	90～99	109,707	17,098	5,818	331	5.7%	94	1.6%	11,280	665	5.9%	167	1.5%	
100～119	4,649	811	155	7	4.5%	3	1.9%	656	30	4.6%	7	1.1%		
不詳	67	9	6	1	-	0	-	3	0	-	0	-		
合計	925,288	134,800	79,112	5,922	7.5%	2,102	2.7%	55,688	4,535	8.1%	1,414	2.5%		



## 17 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

平成17年から平成24年の8カ年集計の非心原性でかつ心肺機能停止の時点が一般市民により目撃された症例は134,800件であり、そのうちの1ヵ月後生存者数は1万457人、1ヵ月後生存率は7.8%であった。また、1ヵ月後社会復帰者数は3,516人で、1ヵ月後社会復帰率は2.6%であった。都道府県別の1ヵ月後生存率では、島根県(18.2%)、沖縄県(13.5%)、富山県(12.2%)等が高くなっている。また、1ヵ月後社会復帰率については、島根県(10.7%)、福岡県(4.8%)、鳥取県及び熊本県(4.2%)等が高くなっている。(第90表参照)

第 90 表 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率（8 ヶ年集計、都道府県別）

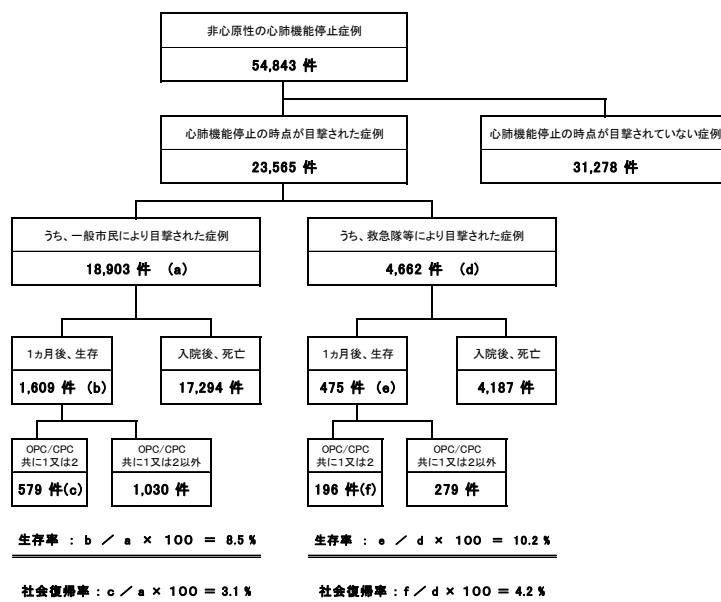
都道府県	8 年 全件数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された非心原性の心肺機能停止症例				
		1 ヶ月後生存者数	1 ヶ月後生存率	1 ヶ月後社会復帰者数		
				1 ヶ月後社会復帰率		
北海道	39,474	4,803	507	10.6%	139	2.9%
青森県	12,298	1,551	107	6.9%	42	2.7%
岩手県	12,469	1,777	82	4.6%	34	1.9%
宮城県	18,158	2,608	180	6.9%	59	2.3%
秋田県	11,413	1,822	151	8.3%	54	3.0%
山形県	11,432	1,675	112	6.7%	46	2.7%
福島県	17,264	2,132	119	5.6%	41	1.9%
茨城県	22,666	3,158	200	6.3%	52	1.6%
栃木県	16,129	2,074	105	5.1%	41	2.0%
群馬県	15,645	2,373	164	6.9%	61	2.6%
埼玉県	45,673	6,770	504	7.4%	184	2.7%
千葉県	40,134	5,700	350	6.1%	114	2.0%
東京都	97,848	13,194	525	4.0%	234	1.8%
神奈川県	63,072	8,525	566	6.6%	140	1.6%
新潟県	21,842	3,439	226	6.6%	85	2.5%
富山県	8,592	1,301	159	12.2%	46	3.5%
石川県	7,969	1,430	124	8.7%	58	4.1%
福井県	5,503	768	49	6.4%	18	2.3%
山梨県	7,241	900	67	7.4%	27	3.0%
長野県	19,088	3,377	233	6.9%	71	2.1%
岐阜県	17,398	2,126	178	8.4%	65	3.1%
静岡県	31,173	5,730	320	5.6%	104	1.8%
愛知県	50,921	7,376	648	8.8%	150	2.0%
三重県	16,120	2,319	178	7.7%	78	3.4%
滋賀県	9,306	1,555	149	9.6%	42	2.7%
京都府	18,008	2,298	210	9.1%	62	2.7%
大阪府	55,246	7,143	830	11.6%	260	3.6%
兵庫県	36,307	5,988	585	9.8%	149	2.5%
奈良県	8,786	1,010	56	5.5%	16	1.6%
和歌山県	9,008	1,622	149	9.2%	61	3.8%
鳥取県	4,990	641	66	10.3%	27	4.2%
島根県	7,143	1,149	209	18.2%	123	10.7%
岡山県	13,678	2,181	177	8.1%	60	2.8%
広島県	17,738	2,927	205	7.0%	50	1.7%
山口県	10,360	1,422	88	6.2%	22	1.5%
徳島県	5,056	816	57	7.0%	22	2.7%
香川県	6,910	983	70	7.1%	19	1.9%
愛媛県	11,338	1,528	115	7.5%	43	2.8%
高知県	5,949	963	78	8.1%	16	1.7%
福岡県	31,530	5,958	683	11.5%	288	4.8%
佐賀県	5,782	910	65	7.1%	32	3.5%
長崎県	9,360	1,412	98	6.9%	34	2.4%
熊本県	12,765	1,744	174	10.0%	73	4.2%
大分県	7,897	1,231	98	8.0%	26	2.1%
宮崎県	7,794	1,303	93	7.1%	36	2.8%
鹿児島県	12,143	1,743	166	9.5%	60	3.4%
沖縄県	8,672	1,345	182	13.5%	52	3.9%
全国	925,288	134,800	10,457	7.8%	3,516	2.6%



## 18 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率

平成24年の非心原性でかつ心肺機能停止の時点が一般市民により目撃された症例の1ヵ月後生存率は8.5%で、1ヵ月後社会復帰率は3.1%であった。平成17年に比べて、それぞれ2.2ポイント、1.6ポイント上昇した。また、非心原性でかつ心肺機能停止の時点が救急隊等により目撃された症例の1ヵ月後生存率は10.2%で、1ヵ月後社会復帰率は4.2%であった。平成17年に比べて、それぞれ3.2ポイント、1.7ポイント上昇している。(第91図、第92表、第93図参照)

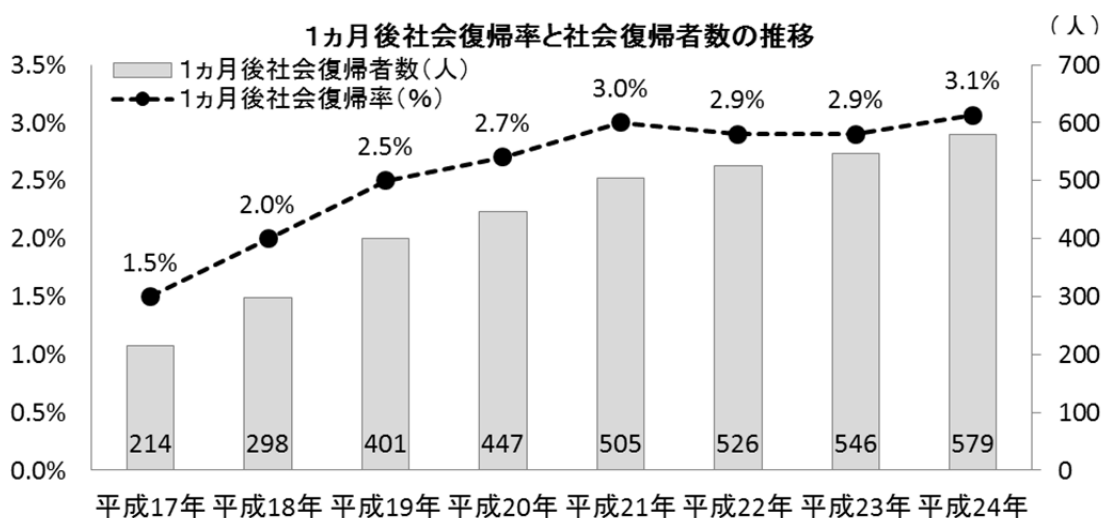
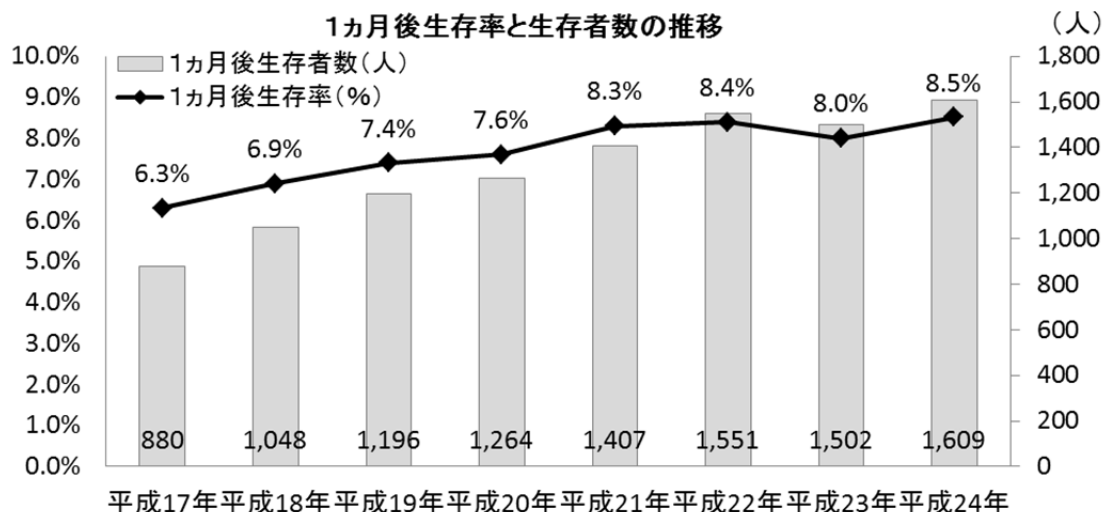
第91図 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率(平成24年)



第92表 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率(平成17年~平成24年)

区分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
非心原性の心肺機能停止症例		46,326	48,760	50,460	50,531	50,291	54,802	55,449	54,843
心肺機能停止の時点が目撃された症例		17,897	19,378	20,325	20,664	21,198	23,214	23,498	23,565
うち、一般市民により目撃された症例		13,935	15,190	16,170	16,561	16,922	18,401	18,718	18,903
1ヵ月後、生存		880	1,048	1,196	1,264	1,407	1,551	1,502	1,609
生存率		6.3%	6.9%	7.4%	7.6%	8.3%	8.4%	8.0%	8.5%
OPC/CPC共に1又は2		214	298	401	447	505	526	546	579
社会復帰率		1.5%	2.0%	2.5%	2.7%	3.0%	2.9%	2.9%	3.1%
うち、救急隊等により目撃された症例		3,921	4,116	4,154	4,086	4,276	4,813	4,780	4,662
1ヵ月後、生存		276	312	356	376	344	447	418	475
生存率		7.0%	7.6%	8.6%	9.2%	8.0%	9.3%	8.7%	10.2%
OPC/CPC共に1又は2		98	102	150	143	142	170	165	196
社会復帰率		2.5%	2.5%	3.6%	3.5%	3.3%	3.5%	3.5%	4.2%
うち、目撃者が不詳である症例		41	72	1	17	0	0	0	0
心肺機能停止の時点が目撃されていない症例		28,429	29,382	30,135	29,867	29,093	31,588	31,951	31,278

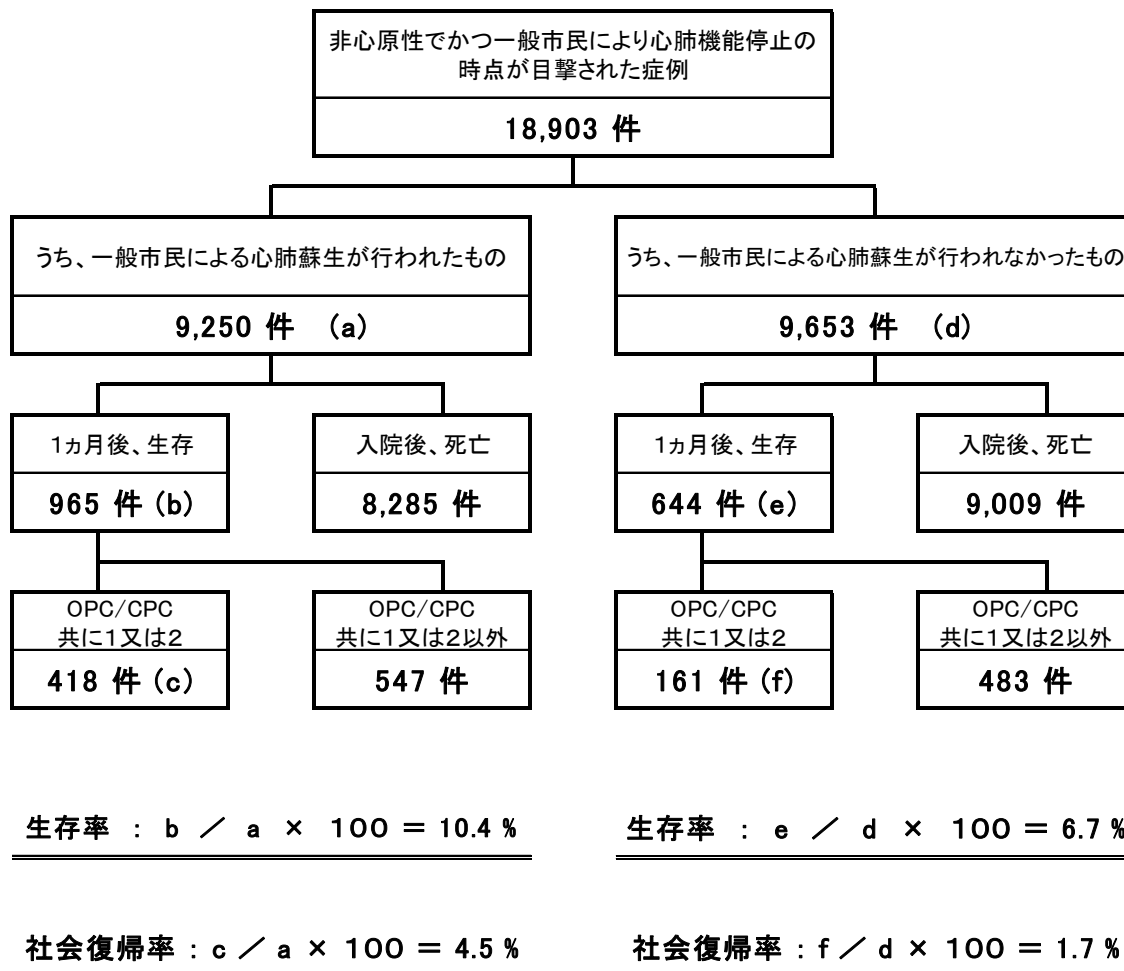
第 93 図 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率と生存者数及び 1 ヶ月後社会復帰率と社会復帰者数の推移



19 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率及び 1 ヶ月後社会復帰率

平成 24 年の非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの 1 ヶ月後生存率は 10.4% で、心肺蘇生が行われなかったものの 1.6 倍であった。また、1 ヶ月後社会復帰率では心肺蘇生が実施されたものは 4.5% で、心肺蘇生が行われなかったものと比較し、2.6 倍であった。(第 94 図、第 95 表参照)

第 94 図 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成 24 年）



第 95 表 非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例のうち、一般市民による心肺蘇生が行われたものの1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率（平成 17 年～平成 24 年）

区 分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
非心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の 時点が目撃された症例		13,935	15,190	16,170	16,561	16,922	18,401	18,718	18,903
うち、一般市民による心肺蘇生が行われたもの		5,258	5,984	6,829	7,411	8,020	8,609	8,738	9,250
1ヵ月後、生存		390	492	627	705	821	890	897	965
生存率		7.4%	8.2%	9.2%	9.5%	10.2%	10.3%	10.3%	10.4%
OPC/CPC共に1又は2		113	174	243	288	328	365	385	418
社会復帰率		2.1%	2.9%	3.6%	3.9%	4.1%	4.2%	4.4%	4.5%
うち、一般市民による心肺蘇生が 行われなかったもの		8,677	9,206	9,341	9,150	8,902	9,792	9,980	9,653
1ヵ月後、生存		490	556	569	559	586	661	605	644
生存率		5.6%	6.0%	6.1%	6.1%	6.5%	6.8%	6.1%	6.7%
OPC/CPC共に1又は2		101	124	158	159	177	161	161	161
社会復帰率		1.2%	1.3%	1.7%	1.7%	2.0%	1.6%	1.6%	1.7%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が 不明のもの		0	0	0	0	0	0	0	0

## 20 用語の定義及び収集方法について

### (1) ウツタイン様式とは

「ウツタイン様式」とは、心肺機能停止症例について地域間・国際間での蘇生率等の統計比較を可能とするために、その原因別（心臓に原因があるものかそれ以外か）の分類、心肺機能停止時点の目撃の有無、バイスタンダー(その場に居合わせた人)や救急隊員による心肺蘇生の有無やその開始時期、除細動の有無などに応じた傷病者の経過の記録に関するガイドラインのことを指し、平成2年にノルウェーの「ウツタイン修道院」で開催された国際蘇生会議において提唱されたことからこのように呼ばれる。

### (2) 各用語の定義について

#### ●心肺機能停止

脈拍が触知出来ない、反応が無い（意識が無い）、無呼吸あるいはあえぎ呼吸（死戦期呼吸）で確認される心臓機能の機械的な活動の停止をいう。

#### ●V F、無脈性V T症例

V F：心室細動（Ventricular Fibrillation）

無脈性V T：無脈性心室頻拍（Pulseless Ventricular Tachycardia）

#### ●A E D

A E D：自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator）

小型の機器で、傷病者の胸に貼ったパッドから自動的に心臓の状態を判断し、もし心室細動や無脈性心室頻拍の不整脈があったと判断された場合は、電気ショックを心臓に与える機能を持っている。

#### ●一般市民による応急手当

胸骨圧迫、人工呼吸等の心肺蘇生法及びA E Dによる除細動の実施をいう。

※胸骨圧迫、人工呼吸、除細動のいずれかが実施された場合に「一般市民による応急手当あり」としている。

#### ●一般市民による目撃

心肺機能停止の瞬間を目撃、または音を聞いた人のことをいう。

「目撃、または音を聞いた」に該当する例は、次のとおりである。

- ・ 家族の目で「倒れた」、「ぐったりした」等、また、物音を聞いてすぐに駆けつけたところ倒れていた場合。
- ・ 交通事故等の目撃者からの通報で、救急隊（救急隊と連携して出動した消防隊も含む、以下同じ。）到着時には心肺機能停止状態であった場合。
- ・ 通報時、通報者が傷病者の生存を確認できたが、救急隊到着時には心肺機能停止状態であった場合。

#### ●除細動実施症例

AED又は半自動体外式除細動器において、除細動が必要と判断され、実施したもの。

#### ●除細動未実施症例

AED又は半自動体外式除細動器において、除細動が必要でないと判断されたもの、又は、AEDを装着していないもの。

#### ●救急隊等

救急隊もしくは救急隊と連携して出動した消防隊をいう。

#### ●初期心電図波形

救急隊等が傷病者に接触し、最初に確認した心電図波形をいう。

※救急隊到着前に、一般市民により除細動が行われ、傷病者の心拍が再開した症例については、心電図波形上、VF、無脈性VTが救急隊によって確認されないため、「初期心電図波形が、VF、無脈性VT」には含まれない。

#### ●社会復帰者

脳機能カテゴリー(CPC)、全身機能カテゴリー(OPC)が共に1又は2であったものをいう。

#### ●CPC、OPC

グラスゴー・ピッツバーグ脳機能・全身機能カテゴリー (The Glasgow - Pittsburgh Outcome Categories) は、心肺蘇生が成功した傷病者のその後の生活の質 (QOL : Quality of Life) を評価するために広く用いられている分類法であり、その項目は、以下のとおりである。

## 脳機能カテゴリー（CPC：Cerebral Performance Categories）

脳に関する機能を評価する分類法をいう。

## 全身機能カテゴリー（OPC：Overall Performance Categories）

脳および脳以外の状態も類別し、身体全体としての機能を評価する分類法をいう。

### ●脳機能カテゴリー(CPC)

#### (1) CPC1:機能良好

意識は清明、普通の生活ができ、労働が可能である。障害があるが軽度の構音障害、脳神経障害、不完全麻痺などの軽い神経障害あるいは精神障害まで。

#### (2) CPC2:中等度障害

意識あり。保護された状況でパートタイムの仕事ができ、介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。片麻痺、痙攣失調、構音障害、嚥下障害、記憶力障害、精神障害など。

#### (3) CPC3:高度障害

意識あり。脳の障害により、日常生活に介助を必要とする。少なくとも認識力は低下している。高度な記憶力障害や認知力障害、Locked-in症候群のように目でのみ意思表示ができるなど。

#### (4) CPC4:昏睡

昏睡、植物状態。意識レベルは低下、認識力欠如、周囲との会話や精神的交流も欠如。

#### (5) CPC5:死亡、若しくは脳死

### ●全身機能カテゴリー(OPC)

#### (1) OPC1:機能良好

健康で意識清明。正常な生活を営む。CPC1であるとともに脳以外の原因による軽度の障害。

#### (2) OPC2:中等度障害

意識あり。OPC2の状態。あるいは脳以外の原因による中等度の障害、若しくは両者の合併。介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。保護された状況でパートタイムの仕事ができるが厳しい仕事はできない。

#### (3) OPC3:高度障害

意識あり。OPC3の状態。あるいは脳以外の原因による高度の障害、若しくは両者の合併。日常生活に介助が必要。

#### (4) OPC4:昏睡

OPC4に同じ。

#### (5) OPC5:死亡、もしくは脳死

OPC5に同じ。

## (3) 収集方法、データクリーニング基本方針について

### ●収集方法

全国の消防本部が、「ウツタイン様式オンライン入力要領」に従ってデータを収集し、収集したデータを次のいずれかの方法により消防庁システムへ登録することでデータ収集を行っている。

- ・ 消防庁オンラインシステムの登録画面にデータを直接入力し、そのデータを登録する。
- ・ 国が提供している「救急調査オフライン処理システム」の登録画面にデータを入力し、そのデータを消防庁オンラインシステムに登録する。
- ・ 消防本部が独自に保有する統計システムを用いてデータを入力し、消防庁オンラインシステムに整合するようにデータ変換したものを登録する。

●収集項目

事例No \_\_\_\_\_ 発生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 性別 男 女 年齢 \_\_\_\_\_

救急救命士乗車 あり なし 医師の乗車 あり なし 医師の2次救命処置 あり なし

1. 心停止の目撃

目撃、または音を聞いた \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

家族  その他のバイスタンダー( 友人 同僚 通行人 その他 )

消防隊  救急隊( 救急救命士隊 )

既に心肺機能停止(発見時)

2. バイスタンダーCPR あり ( 心臓マッサージ 人工呼吸 市民等による除細動 ) なし

バイスタンダーCPRまたは市民等による除細動開始時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 確定 推定 不明

口頭指導あり

3. 初期心電図波形

VF(心室細動) Pulseless VT(無脈性心室頻拍) PEA(無脈性電氣的活動)

心静止 その他( \_\_\_\_\_ )

4. 救急救命処置等の内容

除細動( 二相性 単相性 ) 初回除細動実施時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 施行回数 \_\_\_\_\_ 回

実施者 救急救命士 救急隊員 消防職員 その他

気道確保 特定行為器具使用( LM 食道閉鎖式エアウェイ 気管内チューブ )

静脈路確保

薬剤投与 初回投与時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 投与回数 \_\_\_\_\_ 回

5. 時間経過

覚知 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 現着 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 接触 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 CPR開始 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 病院収容 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

6. 心停止の推定原因

心原性: 確定 除外診断による心原性

非心原性: 脳血管障害 呼吸器系疾患 悪性腫瘍 外因性 その他( \_\_\_\_\_ )

7. 転帰及び予後

・病院収容前の心拍再開 あり なし 初回心拍再開時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

1ヶ月予後 (回答: あり なし)

1ヶ月生存 あり なし

○ 脳機能カテゴリー(CPC)

CPC1 機能良好  CPC2 中等度障害  CPC3 高度障害

CPC4 昏睡  CPC5 死亡、もしくは脳死

○ 全身機能カテゴリー(OPC)

OPC1 機能良好  OPC2 中等度障害  OPC3 高度障害

OPC4 昏睡  OPC5 死亡、もしくは脳死

#### ●データクリーニング基本方針

報告のあったデータを以下の方針に基づき、精査し、平成 17 年からの全てのウツタインデータを改めて見直し、全てのウツタイン統計データの再集計を行った。

- ・ システムやコンバートによるエラーであることが明らかであるものについては、修正可能であれば修正、又は、各消防本部に確認し修正する。
- ・ 各消防本部別・各項目別のエラー件数が、それぞれの消防本部における心肺機能停止症例数からみて 25%以上だった場合、当該消防本部に確認し修正する。
- ・ 最終的には都道府県にてデータを確認

#### (4) その他

都道府県別のデータについては、8年分のデータを合わせて集計している。一定の標本蓄積がなされたが、都道府県別で正確な比較をするには、地域ごとに医療提供体制に違いがあること、傷病者の背景因子に違いがあること、さらにデータの精度を向上させる必要があること等から、平成 22 年度救急業務高度化推進検討会（救急蘇生作業部会）において、都道府県別に単純比較を行うことについては適切でないと指摘されており、データを活用する際には十分に注意を払う必要がある。



# 別 表

# 別表 1 救急業務実施市町村数及び人口

(平成 25 年 4 月 1 日)

	市町村数				H22国勢調査 人口(B)	救急業務実施市町村数及び人口														未実施 (役場救急等含む)			市町村数 実施率 (C)/(A) (%)	人口 実施率 (D)/(B) (%)			
	市	町	村	計(A)		単 独 実 施				組 合 実 施				委 託 実 施				計				人口(D)			町	村	計
						市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計(C)						
北海道	35	129	15	179	5,506,419	20	5	0	25	15	123	15	153	0	1	0	1	35	129	15	179	5,506,419	0	0	0	100.0	100.0
青森	10	22	8	40	1,373,339	3	1	0	4	7	21	8	36	0	0	0	0	10	22	8	40	1,373,339	0	0	0	100.0	100.0
岩手	13	15	5	33	1,330,147	4	0	0	4	9	14	5	28	0	1	0	1	13	15	5	33	1,330,147	0	0	0	100.0	100.0
宮城	13	21	1	35	2,348,165	5	0	0	5	8	21	1	30	0	0	0	0	13	21	1	35	2,348,165	0	0	0	100.0	100.0
秋田	13	9	3	25	1,085,997	6	1	0	7	7	8	2	17	0	0	1	1	13	9	3	25	1,085,997	0	0	0	100.0	100.0
山形	13	19	3	35	1,168,924	7	0	0	7	6	15	3	24	0	4	0	4	13	19	3	35	1,168,924	0	0	0	100.0	100.0
福島	13	31	15	59	2,029,064	2	0	0	2	11	31	15	57	0	0	0	0	13	31	15	59	2,029,064	0	0	0	100.0	100.0
茨城	32	10	2	44	2,969,770	14	4	0	18	18	5	2	25	0	1	0	1	32	10	2	44	2,969,770	0	0	0	100.0	100.0
栃木	14	12	0	26	2,007,683	6	0	0	6	8	11	0	19	0	1	0	1	14	12	0	26	2,007,683	0	0	0	100.0	100.0
群馬	12	15	8	35	2,008,068	4	0	0	4	7	13	8	28	1	2	0	3	12	15	8	35	2,008,068	0	0	0	100.0	100.0
埼玉	40	22	1	63	7,194,556	15	1	0	16	25	20	1	46	0	1	0	1	40	22	1	63	7,194,556	0	0	0	100.0	100.0
千葉	37	16	1	54	6,216,289	22	1	0	23	15	14	1	30	0	1	0	1	37	16	1	54	6,216,289	0	0	0	100.0	100.0
東京	27	5	8	40	13,159,388	2	2	1	5	0	0	0	0	25	3	1	29	27	5	2	34	13,159,388	0	6	6	85.0	99.9
神奈川	19	13	1	33	9,048,331	18	7	0	25	0	0	0	0	1	6	1	8	19	13	1	33	9,048,331	0	0	0	100.0	100.0
新潟	20	6	4	30	2,374,450	13	1	0	14	7	3	1	11	0	2	3	5	20	6	4	30	2,374,450	0	0	0	100.0	100.0
富山	10	4	1	15	1,093,247	4	1	0	5	6	3	1	10	0	0	0	0	10	4	1	15	1,093,247	0	0	0	100.0	100.0
石川	11	8	0	19	1,169,788	5	2	0	7	6	5	0	11	0	1	0	1	11	8	0	19	1,169,788	0	0	0	100.0	100.0
福井	9	8	0	17	806,314	3	1	0	4	6	7	0	13	0	0	0	0	9	8	0	17	806,314	0	0	0	100.0	100.0
山梨	13	8	6	27	863,075	5	0	0	5	8	8	3	19	0	0	3	3	13	8	6	27	863,075	0	0	0	100.0	100.0
長野	19	23	35	77	2,152,449	2	0	0	2	17	20	33	70	0	3	2	5	19	23	35	77	2,152,449	0	0	0	100.0	100.0
岐阜	21	19	2	42	2,080,773	14	1	0	15	6	18	1	25	1	0	1	2	21	19	2	42	2,080,773	0	0	0	100.0	100.0
静岡	23	12	0	35	3,765,007	16	3	0	19	7	8	0	15	0	1	0	1	23	12	0	35	3,765,007	0	0	0	100.0	100.0
愛知	38	14	2	54	7,410,719	26	2	0	28	12	10	1	23	0	2	1	3	38	14	2	54	7,410,719	0	0	0	100.0	100.0
三重	14	15	0	29	1,854,724	10	1	0	11	3	6	0	9	1	8	0	9	14	15	0	29	1,854,724	0	0	0	100.0	100.0
滋賀	13	6	0	19	1,410,777	3	0	0	3	10	3	0	13	0	3	0	3	13	6	0	19	1,410,777	0	0	0	100.0	100.0
京都	15	10	1	26	2,636,092	9	2	0	11	6	6	1	13	0	2	0	2	15	10	1	26	2,636,092	0	0	0	100.0	100.0
大阪	33	9	1	43	8,865,245	22	4	0	26	10	3	0	13	1	1	1	3	33	9	1	42	8,853,595	1	0	1	97.7	99.9
兵庫	29	12	0	41	5,588,133	18	1	0	19	11	4	0	15	0	7	0	7	29	12	0	41	5,588,133	0	0	0	100.0	100.0
奈良	12	15	12	39	1,400,728	6	0	0	6	6	15	8	29	0	0	3	3	12	15	12	38	1,396,097	0	1	1	97.4	99.7
和歌山	9	20	1	30	1,002,198	7	6	0	13	2	10	0	12	0	3	0	3	9	20	1	28	998,462	1	1	2	93.3	99.6
鳥取	4	14	1	19	588,667	0	0	0	0	4	14	1	19	0	0	0	0	4	14	1	19	588,667	0	0	0	100.0	100.0
島根	8	10	1	19	717,397	5	0	0	5	3	10	1	14	0	0	0	0	8	10	1	19	717,397	0	0	0	100.0	100.0
岡山	15	10	2	27	1,945,276	10	0	0	10	5	8	0	13	0	2	2	4	15	10	2	27	1,945,276	0	0	0	100.0	100.0
広島	14	9	0	23	2,860,750	9	2	0	11	4	1	0	5	1	6	0	7	14	9	0	23	2,860,750	0	0	0	100.0	100.0
山口	13	6	0	19	1,451,338	8	0	0	8	5	5	0	10	0	1	0	1	13	6	0	19	1,451,338	0	0	0	100.0	100.0
徳島	8	15	1	24	785,491	5	0	0	5	3	13	0	16	0	0	0	0	8	13	0	21	775,355	2	1	3	87.5	98.7
香川	8	9	0	17	995,842	4	1	0	5	4	4	0	8	0	3	0	3	8	9	0	16	992,517	1	0	1	94.1	99.7
愛媛	11	9	0	20	1,431,493	7	3	0	10	4	6	0	10	0	0	0	0	11	9	0	20	1,431,493	0	0	0	100.0	100.0
高知	11	17	6	34	764,456	8	0	0	8	3	16	5	24	0	1	1	2	11	17	6	34	764,456	0	0	0	100.0	100.0
福岡	28	30	2	60	5,071,968	11	1	0	12	17	29	2	48	0	0	0	0	28	30	2	60	5,071,968	0	0	0	100.0	100.0
佐賀	10	10	0	20	849,788	2	1	0	3	8	8	0	16	0	1	0	1	10	10	0	20	849,788	0	0	0	100.0	100.0
長崎	13	8	0	21	1,426,779	7	1	0	8	5	0	0	5	1	7	0	8	13	8	0	21	1,426,779	0	0	0	100.0	100.0
熊本	14	23	8	45	1,817,426	1	0	0	1	13	23	8	44	0	0	0	0	14	23	8	45	1,817,426	0	0	0	100.0	100.0
大分	14	3	1	18	1,196,529	12	0	0	12	2	3	0	5	0	0	1	1	14	3	1	18	1,196,529	0	0	0	100.0	100.0
宮崎	9	14	3	26	1,135,233	7	0	0	7	2	6	0	8	0	4	0	4	9	10	0	19	1,100,157	4	3	7	73.1	96.9
鹿児島	19	20	4	43	1,706,242	10	1	0	11	9	19	2	30	0	0	0	0	19	20	4	41	1,705,167	0	2	2	95.3	99.9
沖縄	11	11	19	41	1,392,818	10	1	0	11	1	8	9	18	0	0	0	0	11	9	9	29	1,373,313	2	10	12	70.7	98.6
計	790	746	184	1,720	128,057,352	407	58	1	466	351	598	138	1,087	32	79	21	132	790	735	160	1,685	127,959,771	11	24	35	98.0	99.9

別表 2の1 都道府県別救急体制

(平成 25 年 4 月 1 日)

区分	救急自動車数					救急 隊数	救急隊員数					
	合 計 (a)	高規格の 救急自動 車数(b)	高規格の 救急自動 車以外	比率 (b)/(a)	(a)の うち 非常用		合 計	専任		兼任		
								うち 女性	うち 女性	うち 女性	うち 女性	
都道府県												
北海道	402	333	69	82.8%	78	307	4,477	42	822	23	3,655	19
青森	111	78	33	70.3%	23	88	1,206	10	318	7	888	3
岩手	99	91	8	91.9%	13	83	1,157	10	259	2	898	8
宮城	112	110	2	98.2%	20	92	1,049	25	383	11	666	14
秋田	84	70	14	83.3%	7	76	1,000	12	114	4	886	8
山形	77	73	4	94.8%	12	64	712	7	103	4	609	3
福島	130	87	43	66.9%	15	116	1,404	21	158	7	1,246	14
茨城	168	154	14	91.7%	19	151	2,274	24	528	12	1,746	12
栃木	100	100	0	100.0%	16	87	975	13	401	7	574	6
群馬	104	100	4	96.2%	13	90	1,029	17	273	15	756	2
埼玉	257	249	8	96.9%	36	217	1,973	75	1,340	65	633	10
千葉	247	236	11	95.5%	45	219	2,297	65	1,260	48	1,037	17
東京	340	338	2	99.4%	94	242	2,213	123	2,167	122	46	1
神奈川	278	275	3	98.9%	63	214	2,046	86	1,800	85	246	1
新潟	155	120	35	77.4%	31	129	1,695	22	353	7	1,342	15
富山	64	61	3	95.3%	8	53	663	4	78	1	585	3
石川	58	58	0	100.0%	8	50	737	8	139	6	598	2
福井	55	50	5	90.9%	6	50	428	7	85	3	343	4
山梨	63	48	15	76.2%	10	53	598	1	118	1	480	0
長野	142	119	23	83.8%	24	118	1,751	29	180	5	1,571	24
岐阜	142	124	18	87.3%	18	127	1,699	21	176	7	1,523	14
静岡	171	166	5	97.1%	30	141	1,425	39	472	26	953	13
愛知	252	245	7	97.2%	28	223	3,305	49	966	17	2,339	32
三重	118	111	7	94.1%	15	103	1,735	13	154	3	1,581	10
滋賀	65	64	1	98.5%	7	58	811	18	215	11	596	7
京都	104	101	3	97.1%	24	83	1,078	30	418	22	660	8
大阪	284	279	5	98.2%	67	217	2,420	63	1,536	55	884	8
兵庫	218	212	6	97.2%	30	187	2,069	46	934	34	1,135	12
奈良	81	68	13	84.0%	14	67	910	4	221	4	689	0
和歌山	79	77	2	97.5%	13	65	760	10	82	1	678	9
鳥取	33	31	2	93.9%	3	31	577	6	69	0	508	6
島根	80	70	10	87.5%	8	69	807	7	94	1	713	6
岡山	116	103	13	88.8%	18	98	1,778	21	168	12	1,610	9
広島	162	153	9	94.4%	29	124	1,167	23	562	21	605	2
山口	87	83	4	95.4%	13	70	917	14	163	5	754	9
徳島	51	46	5	90.2%	8	44	557	1	62	1	495	0
香川	52	52	0	100.0%	10	42	410	4	213	2	197	2
愛媛	92	83	9	90.2%	15	75	730	7	229	6	501	1
高知	65	55	10	84.6%	18	46	660	4	65	4	595	0
福岡	184	177	7	96.2%	27	151	1,515	44	812	41	703	3
佐賀	50	47	3	94.0%	9	40	589	8	129	3	460	5
長崎	90	67	23	74.4%	16	76	759	1	144	1	615	0
熊本	115	99	16	86.1%	18	96	904	14	332	9	572	5
大分	72	57	15	79.2%	12	60	622	6	185	4	437	2
宮崎	50	49	1	98.0%	9	41	436	2	195	2	241	0
鹿児島	139	87	52	62.6%	32	107	1,101	6	327	6	774	0
沖縄	75	65	10	86.7%	14	64	958	11	166	5	792	6
合 計	6,073	5,521	552	90.9%	1,046	5,004	60,383	1,073	19,968	738	40,415	335

別表 2の2 資格別救急隊員数調

(平成 25 年 4 月 1 日)

都道府県	専任 合計	旧救急	旧救急	救急科【旧救急	救急	兼任 合計	旧救急	旧救急	救急科【旧救急	救急
		I 課程 修了者	II 課程 修了者	標準課程 修了者含む】	救命士 資格者		I 課程 修了者	II 課程 修了者	標準課程 修了者含む】	救命士 資格者
北海道	822	1	64	212	545	3,655	70	788	1,456	1,341
青森	318	1	16	107	194	888	24	75	617	172
岩手	259	0	29	145	85	898	2	104	518	274
宮城	383	0	1	150	232	666	0	26	527	113
秋田	114	0	0	13	101	886	8	79	615	184
山形	103	0	2	35	66	609	3	127	313	166
福島	158	0	12	44	102	1,246	33	315	617	281
茨城	528	0	27	92	409	1,746	2	341	1,160	243
栃木	401	0	13	131	257	574	0	117	310	147
群馬	273	0	22	42	209	756	11	162	402	181
埼玉	1,340	2	31	479	828	633	14	59	315	245
千葉	1,260	8	133	446	673	1,037	57	138	546	296
東京	2,167	0	343	344	1,480	46	0	5	26	15
神奈川	1,800	6	52	634	1,108	246	6	59	107	74
新潟	353	4	26	75	248	1,342	46	348	642	306
富山	78	0	1	17	60	585	8	136	242	199
石川	139	0	1	41	97	598	6	125	328	139
福井	85	0	2	29	54	343	1	35	193	114
山梨	118	1	6	3	108	480	7	101	271	101
長野	180	0	34	57	89	1,571	1	522	551	497
岐阜	176	0	3	24	149	1,523	10	457	736	320
静岡	472	4	20	142	306	953	25	105	543	280
愛知	966	0	50	257	659	2,339	29	532	1,238	540
三重	154	0	0	20	134	1,581	15	608	706	252
滋賀	215	0	4	43	168	596	23	103	367	103
京都	418	0	7	129	282	660	14	148	325	173
大阪	1,536	3	21	516	996	884	23	78	498	285
兵庫	934	1	24	238	671	1,135	15	315	428	377
奈良	221	0	19	48	154	689	15	249	281	144
和歌山	82	0	5	17	60	678	1	201	239	237
鳥取	69	0	1	8	60	508	3	164	234	107
島根	94	0	4	34	56	713	2	237	313	161
岡山	168	0	0	7	161	1,610	10	459	905	236
広島	562	0	16	179	367	605	5	91	266	243
山口	163	0	10	26	127	754	15	103	426	210
徳島	62	0	0	32	30	495	4	103	229	159
香川	213	0	5	87	121	197	2	19	114	62
愛媛	229	0	4	67	158	501	12	113	234	142
高知	65	0	5	19	41	595	0	180	252	163
福岡	812	4	77	288	443	703	36	88	377	202
佐賀	129	0	0	24	105	460	6	85	267	102
長崎	144	0	8	48	88	615	8	150	269	188
熊本	332	0	19	86	227	572	31	36	372	133
大分	185	0	3	42	140	437	1	81	228	127
宮崎	195	0	0	71	124	241	0	52	86	103
鹿児島	327	1	8	79	239	774	10	185	401	178
沖縄	166	0	1	25	140	792	1	128	385	278
合計	19,968	36	1,129	5,652	13,151	40,415	615	8,732	20,475	10,593

別表 2の3 資格別救急隊員数（救急救命士）調

（平成 25 年 4 月 1 日）

都道府県	救急救命士計	第34条第4号以外	男性	女性	気管挿管 認定(A)	アドレナリン投与 認定(B)	(A)、(B)うち気管挿管 アドレナリン投与 両認定	救急救命士として 運用しているもの
北海道	1,886	661	1,852	34	700	1,354	713	1,753
青森	366	65	359	7	263	288	199	354
岩手	359	42	353	6	282	238	252	344
宮城	345	26	332	13	193	321	187	340
秋田	285	34	280	5	95	273	89	273
山形	232	31	226	6	95	189	75	228
福島	383	67	373	10	168	263	122	368
茨城	652	102	632	20	315	529	334	596
栃木	404	87	393	11	168	221	153	394
群馬	390	77	375	15	87	219	71	375
埼玉	1,073	246	1,014	59	540	970	535	1,049
千葉	969	257	922	47	413	741	483	921
東京	1,495	381	1,389	106	328	1,015	336	1,477
神奈川	1,182	162	1,121	61	450	871	402	1,161
新潟	554	160	537	17	141	512	143	532
富山	259	42	256	3	182	146	116	248
石川	236	12	231	5	176	175	162	230
福井	168	15	165	3	135	151	127	162
山梨	209	23	208	1	70	166	103	203
長野	586	176	563	23	364	462	337	560
岐阜	469	109	457	12	195	341	132	449
静岡	586	129	555	31	264	535	278	573
愛知	1,199	172	1,174	25	243	868	243	1,135
三重	386	67	379	7	93	350	88	376
滋賀	271	52	260	11	83	227	74	270
京都	455	52	437	18	239	328	256	447
大阪	1,281	148	1,244	37	777	1,012	744	1,250
兵庫	1,048	108	1,016	32	365	666	445	1,026
奈良	298	16	296	2	83	245	102	285
和歌山	297	58	288	9	202	180	173	295
鳥取	167	12	164	3	125	151	125	149
島根	217	34	212	5	80	180	103	212
岡山	397	25	390	7	275	378	273	385
広島	610	59	595	15	195	486	184	606
山口	337	75	333	4	174	321	168	329
徳島	189	26	188	1	120	125	124	180
香川	183	11	179	4	154	140	126	182
愛媛	300	43	295	5	192	242	207	295
高知	204	26	201	3	199	189	186	203
福岡	645	69	628	17	171	411	179	626
佐賀	207	29	203	4	28	141	37	192
長崎	276	57	276	0	163	193	150	270
熊本	360	94	350	10	159	298	162	335
大分	267	79	261	6	116	215	99	245
宮崎	227	47	226	1	86	169	78	190
鹿児島	417	82	413	4	243	353	217	400
沖縄	418	124	409	9	122	292	112	397
合計	23,744	4,469	23,010	734	10,311	18,140	10,004	22,870

別表 3 救急自動車による都道府県別事故種別救急出動件数

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送
都道府県												
北海道	1,205	27	233	14,148	2,198	1,347	31,822	1,015	3,598	144,563	27,611	1,305
青森	270	14	54	3,489	363	256	5,918	186	605	30,658	5,923	32
岩手	155	6	30	3,680	438	383	5,634	165	611	31,075	5,612	10
宮城	452	23	54	8,174	831	623	11,609	550	1,287	60,598	12,557	3
秋田	171	17	39	2,789	368	268	5,490	113	567	26,574	2,843	12
山形	218	5	20	2,936	389	272	5,865	101	488	27,736	4,281	2
福島	250	6	32	6,885	697	547	9,868	354	910	51,949	6,270	203
茨城	516	19	127	13,958	1,448	746	14,253	728	1,386	73,073	9,429	430
栃木	305	12	37	8,738	742	441	8,483	434	1,108	46,513	7,904	23
群馬	459	6	36	8,878	795	680	10,940	374	941	52,417	8,027	27
埼玉	1,650	13	154	32,638	3,505	2,405	41,447	2,891	4,287	192,742	20,468	31
千葉	1,250	40	210	27,888	2,374	1,596	38,326	2,343	3,203	177,045	22,520	108
東京	3,529	30	949	62,264	4,707	5,212	123,321	7,613	5,762	479,744	42,790	287
神奈川	1,863	48	267	35,363	2,986	2,583	63,706	3,235	4,533	276,684	24,538	40
新潟	410	42	128	8,005	1,190	566	14,059	414	1,297	57,851	9,551	1,850
富山	167	43	89	3,375	398	282	5,753	146	428	23,144	3,690	28
石川	133	8	55	3,711	434	287	5,867	149	477	24,507	3,088	2
福井	91	5	58	2,709	260	210	3,901	97	256	16,099	2,876	4
山梨	138	1	18	4,313	414	347	5,323	187	431	22,697	2,755	8
長野	246	0	33	7,097	745	652	13,207	306	874	54,930	8,524	78
岐阜	167	2	78	9,581	853	612	11,742	321	899	49,883	6,208	24
静岡	569	46	170	15,236	1,555	982	19,931	582	1,682	93,008	16,295	110
愛知	1,231	22	179	30,992	2,952	1,899	39,577	1,775	3,538	205,857	21,361	445
三重	300	13	83	8,966	891	521	12,570	444	810	55,032	7,194	7
滋賀	195	6	55	7,069	765	450	7,868	301	665	36,281	3,476	2
京都	499	8	84	14,780	904	758	18,718	826	1,267	82,744	6,022	22
大阪	2,364	55	168	51,425	4,092	2,789	79,227	5,993	6,443	344,647	27,653	3
兵庫	940	37	170	24,610	1,949	1,429	38,727	1,777	3,074	157,511	20,040	274
奈良	255	5	34	6,404	630	370	9,428	266	709	38,679	5,369	112
和歌山	91	13	76	5,550	376	227	7,158	244	560	31,278	3,824	19
鳥取	140	11	51	1,973	157	220	3,302	70	248	15,129	2,500	44
島根	42	8	57	2,374	295	257	4,109	73	327	17,139	2,856	174
岡山	107	5	51	9,461	667	435	11,518	352	831	49,273	8,845	39
広島	309	4	98	13,027	889	814	17,473	606	1,335	70,749	14,355	195
山口	286	21	68	5,523	488	367	9,552	264	754	38,798	7,634	152
徳島	39	2	35	3,704	286	192	4,424	134	284	18,635	3,477	3
香川	215	12	49	5,529	360	277	6,644	231	429	26,702	5,669	17
愛媛	195	4	57	6,828	515	335	8,894	309	740	38,563	7,299	4
高知	96	4	54	3,551	307	231	6,052	189	446	22,958	4,367	16
福岡	554	42	212	19,649	1,609	1,302	32,712	1,283	2,939	143,482	22,425	21
佐賀	122	5	36	3,583	243	247	4,360	131	348	18,191	5,603	167
長崎	59	4	78	4,218	326	413	8,743	205	618	35,037	9,341	53
熊本	333	41	72	8,188	617	728	10,975	337	1,141	49,153	8,603	40
大分	98	8	39	4,164	326	308	6,932	194	530	27,772	7,981	23
宮崎	151	7	70	3,675	258	289	4,888	179	627	23,935	6,607	11
鹿児島	198	9	105	6,342	543	506	9,887	300	865	43,753	11,745	80
沖縄	251	81	131	5,778	364	441	8,868	547	876	43,286	5,691	37
合計	23,284	840	4,983	543,218	48,499	37,102	829,071	39,334	66,034	3,648,074	483,697	6,577
平成23年中	24,822	2,610	4,727	555,402	47,819	35,872	807,741	40,282	72,144	3,562,208	478,067	5,680
増減数	▲1,538	▲1,770	256	▲12,184	680	1,230	21,330	▲948	▲6,110	85,866	5,630	897
増減率	▲6.2	▲67.8	5.4	▲2.2	1.4	3.4	2.6	▲2.4	▲8.5	2.4	1.2	15.8

(平成 24 年中)

資器材等 輸送	その他	合 計	平成23年中	増減数	対前年 増減率 (%)	平成19年中	増減数	対H19年 増減率 (%)	人 口 (H22年国勢調 査確定値)	救急業務実施 市町村人口	人口1万人 あたりの 救急出 動件数	区分 都道府県
17	5,179	<b>234,268</b>	226,254	8,014	3.5	217672	16596	7.6	5,506,419	5,506,419	425.4	北海道
9	372	<b>48,149</b>	47,053	1,096	2.3	41479	6670	16.1	1,373,339	1,373,339	350.6	青 森
1	267	<b>48,067</b>	50,421	▲ 2,354	▲ 4.7	43414	4653	10.7	1,330,147	1,330,147	361.4	岩 手
60	1,407	<b>98,228</b>	103,694	▲ 5,466	▲ 5.3	86192	12036	14.0	2,348,165	2,348,165	418.3	宮 城
2	552	<b>39,805</b>	39,803	2	0.0	36693	3112	8.5	1,085,997	1,085,997	366.5	秋 田
0	271	<b>42,584</b>	42,288	296	0.7	38611	3973	10.3	1,168,924	1,168,924	364.3	山 形
62	671	<b>78,704</b>	79,464	▲ 760	▲ 1.0	71442	7262	10.2	2,029,064	2,029,064	387.9	福 島
8	950	<b>117,071</b>	117,233	▲ 162	▲ 0.1	106598	10473	9.8	2,969,770	2,969,770	394.2	茨 城
2	849	<b>75,591</b>	74,675	916	1.2	68414	7177	10.5	2,007,683	2,007,683	376.5	栃 木
33	660	<b>84,273</b>	82,233	2,040	2.5	75168	9105	12.1	2,008,068	2,008,068	419.7	群 馬
74	4,188	<b>306,493</b>	300,999	5,494	1.8	271496	34997	12.9	7,194,556	7,194,556	426.0	埼 玉
4	7,247	<b>284,154</b>	280,482	3,672	1.3	258189	25965	10.1	6,216,289	6,216,289	457.1	千 葉
676	9,269	<b>746,153</b>	729,042	17,111	2.3	699,970	46183	6.6	13,159,388	13,159,941	567.4	東 京
51	5,217	<b>421,114</b>	413,172	7,942	1.9	383,112	38002	9.9	9,048,331	9,048,331	465.4	神奈川
5	1,297	<b>96,665</b>	94,072	2,593	2.8	84,729	11,936	14.1	2,374,450	2,374,450	407.1	新 潟
50	283	<b>37,876</b>	37,453	423	1.1	34,294	3,582	10.4	1,093,247	1,093,247	346.5	富 山
2	310	<b>39,030</b>	38,607	423	1.1	35,444	3,586	10.1	1,169,788	1,169,788	333.7	石 川
15	123	<b>26,704</b>	26,357	347	1.3	24,024	2,680	11.2	806,314	806,314	331.2	福 井
49	296	<b>36,977</b>	36,660	317	0.9	33,795	3,182	9.4	863,075	863,075	428.4	山 梨
6	503	<b>87,201</b>	86,790	411	0.5	79,856	7,345	9.2	2,152,449	2,152,449	405.1	長 野
32	420	<b>80,822</b>	79,563	1,259	1.6	73,736	7,086	9.6	2,080,773	2,080,773	388.4	岐 阜
30	1,702	<b>151,898</b>	150,904	994	0.7	138,600	13,298	9.6	3,765,007	3,765,007	403.4	静 岡
537	2,549	<b>312,914</b>	306,208	6,706	2.2	283,388	29,526	10.4	7,410,719	7,410,719	422.2	愛 知
1	244	<b>87,076</b>	83,223	3,853	4.6	73,409	13,667	18.6	1,854,724	1,854,724	469.5	三 重
1	469	<b>57,603</b>	56,827	776	1.4	51,991	5,612	10.8	1,410,777	1,410,777	408.3	滋 賀
2	1,866	<b>128,500</b>	126,618	1,882	1.5	117,695	10,805	9.2	2,636,092	2,636,092	487.5	京 都
3	4,016	<b>528,878</b>	515,857	13,021	2.5	498,277	30,601	6.1	8,865,245	8,853,595	597.4	大 阪
5	5,161	<b>255,704</b>	248,843	6,861	2.8	226,215	29,489	13.0	5,588,133	5,588,133	457.6	兵 庫
1	241	<b>62,503</b>	61,082	1,421	2.3	56,890	5,613	9.9	1,400,728	1,396,097	447.7	奈 良
20	299	<b>49,735</b>	48,883	852	1.7	46,669	3,066	6.6	1,002,198	998,462	498.1	和歌山
4	63	<b>23,912</b>	23,672	240	1.0	21,424	2,488	11.6	588,667	588,667	406.2	鳥 取
6	127	<b>27,844</b>	27,735	109	0.4	26,103	1,741	6.7	717,397	717,397	388.1	島 根
51	222	<b>81,857</b>	80,121	1,736	2.2	73,766	8,091	11.0	1,945,276	1,945,276	420.8	岡 山
16	1,476	<b>121,346</b>	120,354	992	0.8	114,646	6,700	5.8	2,860,750	2,860,750	424.2	広 島
13	724	<b>64,644</b>	64,508	136	0.2	62,185	2,459	4.0	1,451,338	1,451,338	445.4	山 口
4	363	<b>31,582</b>	30,506	1,076	3.5	28,528	3,054	10.7	785,491	775,355	407.3	徳 島
18	190	<b>46,342</b>	45,821	521	1.1	42,089	4,253	10.1	995,842	992,517	466.9	香 川
1	345	<b>64,089</b>	62,994	1,095	1.7	57,171	6,918	12.1	1,431,493	1,431,493	447.7	愛 媛
0	128	<b>38,399</b>	38,225	174	0.5	36,031	2,368	6.6	764,456	764,456	502.3	高 知
4	3,824	<b>230,058</b>	226,872	3,186	1.4	207,706	22,352	10.8	5,071,968	5,071,968	453.6	福 岡
0	587	<b>33,623</b>	32,896	727	2.2	30,544	3,079	10.1	849,788	849,788	395.7	佐 賀
26	1,152	<b>60,273</b>	59,325	948	1.6	52,572	7,701	14.6	1,426,779	1,426,779	422.4	長 崎
4	986	<b>81,218</b>	80,043	1,175	1.5	72,889	8,329	11.4	1,817,426	1,817,426	446.9	熊 本
5	406	<b>48,786</b>	48,679	107	0.2	44,666	4,120	9.2	1,196,529	1,196,529	407.7	大 分
2	164	<b>40,863</b>	41,405	▲ 542	▲ 1.3	36,614	4,249	11.6	1,135,233	1,100,157	371.4	宮 崎
1	993	<b>75,327</b>	73,069	2,258	3.1	67,986	7,341	10.8	1,706,242	1,705,167	441.8	鹿 児 島
0	1,201	<b>67,552</b>	66,670	882	1.3	57,854	9,698	16.8	1,392,818	1,373,313	491.9	沖 縄
<b>1,913</b>	<b>69,829</b>	<b>5,802,455</b>	5,707,655	94,800	1.7	5,290,236	512,219	9.7	128,057,352	127,959,771	453.5	合 計
1,923	68,358	5,707,655										
▲ 10	1,471	94,800										
▲ 0.5	2.2	1.7										

別表 4 救急自動車による都道府県別事故種別救急搬送人員

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為
都道府県									
北海道	284	20	105	14,596	2,133	1,341	29,740	828	2,574
青森	86	3	36	3,595	350	255	5,615	164	376
岩手	70	5	14	3,835	429	380	5,332	135	401
宮城	114	17	22	7,971	802	612	10,429	415	841
秋田	68	13	16	2,848	361	262	5,145	99	370
山形	63	5	14	3,214	383	272	5,555	89	305
福島	107	3	16	7,338	687	544	9,375	294	615
茨城	173	20	68	14,726	1,397	746	13,222	604	952
栃木	81	12	17	8,864	714	439	7,738	328	719
群馬	100	4	14	9,067	776	691	10,296	289	665
埼玉	286	11	37	31,807	3,413	2,377	37,085	2,171	2,882
千葉	309	39	101	28,378	2,302	1,574	35,450	1,883	2,167
東京	765	26	582	58,910	4,600	5,167	109,633	6,250	4,150
神奈川	381	40	114	34,531	2,931	2,565	58,286	2,708	3,290
新潟	113	19	49	8,197	1,166	555	13,172	348	841
富山	36	35	46	3,623	395	288	5,472	127	298
石川	44	8	26	3,906	430	299	5,548	130	309
福井	37	5	40	3,198	258	220	3,738	85	159
山梨	42	1	8	4,598	398	349	5,046	171	283
長野	95	0	17	7,951	726	643	12,689	280	592
岐阜	96	2	36	10,225	838	625	11,282	265	622
静岡	142	35	96	15,516	1,525	980	18,856	503	1,216
愛知	315	18	67	30,837	2,890	1,914	36,644	1,485	2,469
三重	103	8	42	9,579	873	518	11,833	372	517
滋賀	42	4	24	7,398	754	451	7,407	245	431
京都	147	5	36	14,902	893	773	17,519	730	869
大阪	491	39	59	48,141	4,000	2,772	65,939	4,330	4,175
兵庫	268	27	70	23,389	1,881	1,418	34,076	1,388	1,937
奈良	82	4	15	6,551	615	371	8,931	224	519
和歌山	54	12	42	5,673	362	232	6,758	198	426
鳥取	36	10	32	2,067	154	221	3,160	60	178
島根	27	6	22	2,405	289	267	3,919	67	214
岡山	85	3	22	9,695	639	444	10,950	297	604
広島	145	4	52	12,205	867	809	15,939	459	907
山口	77	19	29	5,424	484	370	8,862	215	505
徳島	27	1	17	3,925	280	192	4,234	123	204
香川	48	13	24	5,603	352	281	6,255	197	312
愛媛	52	5	26	6,965	504	345	8,413	281	519
高知	32	4	36	3,401	302	234	5,571	146	298
福岡	220	29	95	19,308	1,545	1,293	30,535	1,089	2,041
佐賀	31	2	17	3,663	238	248	4,127	109	240
長崎	54	2	51	4,157	319	419	8,182	162	407
熊本	57	15	32	7,890	594	721	10,203	291	726
大分	42	6	23	4,245	317	309	6,602	163	344
宮崎	42	6	35	3,489	251	282	4,408	131	397
鹿児島	83	3	74	6,372	529	500	9,247	256	580
沖縄	58	70	59	5,631	363	440	8,157	433	635
合計	6,110	638	2,475	539,809	47,309	37,008	756,575	31,617	45,081
平成23年中	6,671	2,447	2,347	553,796	46,733	35,998	739,910	32,646	50,877
増減数	▲ 561	▲ 1,809	128	▲ 13,987	576	1,010	16,665	▲ 1,029	▲ 5,796
増減率	▲ 8.4	▲ 73.9	5.5	▲ 2.5	1.2	2.8	2.3	▲ 3.2	▲ 11.4



(平成 24 年中)

急病	その他	合計	平成 23年中	増減数	対前年 増減率 (%)	平成 19年中	増減数	対H19年 増減率 (%)	区分
									都道府県
133,349	28,042	<b>213,012</b>	207,407	5,605	2.7	203,505	9,507	4.7	北海道
28,398	5,922	<b>44,800</b>	44,058	742	1.7	38,822	5,978	15.4	青森
28,902	5,681	<b>45,184</b>	47,402	▲ 2,218	▲ 4.7	41,143	4,041	9.8	岩手
54,305	12,551	<b>88,079</b>	93,925	▲ 5,846	▲ 6.2	79,832	8,247	10.3	宮城
24,619	2,855	<b>36,656</b>	36,721	▲ 65	▲ 0.2	34,324	2,332	6.8	秋田
26,093	4,292	<b>40,285</b>	40,048	237	0.6	36,962	3,323	9.0	山形
48,272	6,293	<b>73,544</b>	74,226	▲ 682	▲ 0.9	67,983	5,561	8.2	福島
66,391	9,457	<b>107,756</b>	107,827	▲ 71	▲ 0.1	100,671	7,085	7.0	茨城
41,587	7,945	<b>68,444</b>	67,517	927	1.4	63,953	4,491	7.0	栃木
48,547	8,073	<b>78,522</b>	76,987	1,535	2.0	71,468	7,054	9.9	群馬
169,938	20,517	<b>270,524</b>	267,745	2,779	1.0	247,925	22,599	9.1	埼玉
161,769	23,422	<b>257,394</b>	254,621	2,773	1.1	237,839	19,555	8.2	千葉
421,422	42,091	<b>653,596</b>	642,405	11,191	1.7	630,785	22,811	3.6	東京
250,004	24,962	<b>379,812</b>	372,909	6,903	1.9	351,813	27,999	8.0	神奈川
53,425	9,601	<b>87,486</b>	85,479	2,007	2.3	79,828	7,658	9.6	新潟
21,734	3,711	<b>35,765</b>	35,544	221	0.6	32,956	2,809	8.5	富山
22,960	3,094	<b>36,754</b>	36,513	241	0.7	33,963	2,791	8.2	石川
15,172	2,899	<b>25,811</b>	25,443	368	1.4	23,448	2,363	10.1	福井
21,273	2,775	<b>34,944</b>	34,535	409	1.2	31,952	2,992	9.4	山梨
51,905	8,528	<b>83,426</b>	82,977	449	0.5	77,062	6,364	8.3	長野
46,698	6,231	<b>76,920</b>	75,773	1,147	1.5	71,260	5,660	7.9	岐阜
86,307	16,384	<b>141,560</b>	140,906	654	0.5	132,389	9,171	6.9	静岡
187,129	21,494	<b>285,262</b>	279,536	5,726	2.0	261,887	23,375	8.9	愛知
50,923	7,205	<b>81,973</b>	78,890	3,083	3.9	70,915	11,058	15.6	三重
33,873	3,490	<b>54,119</b>	53,769	350	0.7	49,854	4,265	8.6	滋賀
75,427	6,135	<b>117,436</b>	115,701	1,735	1.5	109,696	7,740	7.1	京都
294,968	27,715	<b>452,629</b>	441,833	10,796	2.4	446,684	5,945	1.3	大阪
139,172	20,145	<b>223,771</b>	219,755	4,016	1.8	206,797	16,974	8.2	兵庫
35,619	5,393	<b>58,324</b>	57,045	1,279	2.2	53,924	4,400	8.2	奈良
29,202	3,839	<b>46,798</b>	46,180	618	1.3	44,476	2,322	5.2	和歌山
14,247	2,493	<b>22,658</b>	22,343	315	1.4	20,393	2,265	11.1	鳥取
16,163	2,854	<b>26,233</b>	26,201	32	0.1	25,079	1,154	4.6	島根
46,097	8,856	<b>77,692</b>	76,233	1,459	1.9	70,538	7,154	10.1	岡山
63,514	14,242	<b>109,143</b>	109,039	104	0.1	106,523	2,620	2.5	広島
35,371	7,661	<b>59,017</b>	59,167	▲ 150	▲ 0.3	58,507	510	0.9	山口
17,498	3,517	<b>30,018</b>	29,079	939	3.2	27,722	2,296	8.3	徳島
24,451	5,683	<b>43,199</b>	42,844	355	0.8	40,181	3,018	7.5	香川
35,809	7,409	<b>60,328</b>	59,508	820	1.4	54,811	5,517	10.1	愛媛
20,754	4,374	<b>35,152</b>	35,176	▲ 24	▲ 0.1	34,110	1,042	3.1	高知
132,245	22,947	<b>211,347</b>	208,761	2,586	1.2	191,181	20,166	10.5	福岡
16,935	5,708	<b>31,318</b>	30,909	409	1.3	29,125	2,193	7.5	佐賀
31,786	9,709	<b>55,248</b>	54,347	901	1.7	49,236	6,012	12.2	長崎
44,687	8,605	<b>73,821</b>	72,413	1,408	1.9	66,971	6,850	10.2	熊本
25,952	7,965	<b>45,968</b>	46,031	▲ 63	▲ 0.1	42,668	3,300	7.7	大分
21,055	6,682	<b>36,778</b>	37,451	▲ 673	▲ 1.8	33,794	2,984	8.8	宮崎
40,142	11,891	<b>69,677</b>	68,014	1,663	2.4	63,812	5,865	9.2	鹿児島
40,493	5,780	<b>62,119</b>	61,536	583	0.9	53,986	8,133	15.1	沖縄
<b>3,296,582</b>	<b>487,098</b>	<b>5,250,302</b>	5,182,729	67,573	1.3	4,902,753	347,549	7.1	合計
3,228,856	482,448	5,182,729							
67,726	4,650	67,573							
2.1	1.0	1.3							

別表 5 都道府県別年齢区分別搬送人員構成比

(平成 24 年中)

	新生児		乳幼児		少年		成人		高齢者		合計
		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)	
北海道	661	(0.3)	7,805	(3.7)	6,518	(3.1)	80,175	(37.6)	117,853	(55.3)	213,012
青森	118	(0.3)	1,419	(3.2)	1,350	(3.0)	15,605	(34.8)	26,308	(58.7)	44,800
岩手	97	(0.2)	1,456	(3.2)	1,447	(3.2)	15,146	(33.5)	27,038	(59.9)	45,184
宮城	223	(0.2)	3,800	(4.3)	3,344	(3.8)	33,807	(38.4)	46,905	(53.3)	88,079
秋田	67	(0.2)	980	(2.7)	1,016	(2.8)	11,236	(30.6)	23,357	(63.7)	36,656
山形	86	(0.2)	1,192	(3.0)	1,184	(2.9)	12,381	(30.7)	25,442	(63.2)	40,285
福島	144	(0.2)	2,758	(3.8)	2,738	(3.7)	25,913	(35.2)	41,991	(57.1)	73,544
茨城	387	(0.4)	5,359	(5.0)	5,096	(4.7)	42,185	(39.1)	54,729	(50.8)	107,756
栃木	363	(0.5)	3,284	(4.8)	2,659	(3.9)	26,643	(38.9)	35,495	(51.9)	68,444
群馬	249	(0.3)	3,533	(4.5)	3,622	(4.6)	27,811	(35.4)	43,307	(55.2)	78,522
埼玉	1,111	(0.4)	16,236	(6.0)	12,229	(4.5)	108,718	(40.2)	132,230	(48.9)	270,524
千葉	727	(0.3)	15,001	(5.8)	10,870	(4.2)	103,359	(40.2)	127,437	(49.5)	257,394
東京	1,524	(0.2)	33,310	(5.1)	21,347	(3.3)	290,199	(44.4)	307,216	(47.0)	653,596
神奈川	965	(0.2)	21,871	(5.8)	15,057	(4.0)	148,302	(39.0)	193,617	(51.0)	379,812
新潟	250	(0.3)	3,220	(3.7)	2,854	(3.2)	29,454	(33.7)	51,708	(59.1)	87,486
富山	93	(0.3)	1,288	(3.6)	1,298	(3.6)	11,574	(32.4)	21,512	(60.1)	35,765
石川	12	(0.0)	1,577	(4.3)	1,321	(3.6)	12,749	(34.7)	21,095	(57.4)	36,754
福井	78	(0.3)	1,067	(4.2)	911	(3.5)	8,836	(34.2)	14,919	(57.8)	25,811
山梨	91	(0.3)	1,840	(5.3)	1,697	(4.8)	12,781	(36.6)	18,535	(53.0)	34,944
長野	231	(0.3)	2,982	(3.6)	3,053	(3.6)	26,298	(31.5)	50,862	(61.0)	83,426
岐阜	129	(0.2)	3,499	(4.6)	3,344	(4.3)	26,180	(34.0)	43,768	(56.9)	76,920
静岡	223	(0.2)	5,993	(4.2)	5,122	(3.6)	50,788	(35.9)	79,434	(56.1)	141,560
愛知	1,086	(0.4)	15,005	(5.2)	11,380	(4.0)	109,442	(38.4)	148,349	(52.0)	285,262
三重	212	(0.3)	4,550	(5.6)	3,395	(4.1)	30,028	(36.6)	43,788	(53.4)	81,973
滋賀	143	(0.3)	2,977	(5.5)	2,465	(4.5)	20,408	(37.7)	28,126	(52.0)	54,119
京都	111	(0.1)	5,326	(4.6)	4,259	(3.6)	44,760	(38.1)	62,980	(53.6)	117,436
大阪	466	(0.1)	27,916	(6.2)	19,208	(4.2)	183,669	(40.6)	221,370	(48.9)	452,629
兵庫	494	(0.2)	12,231	(5.5)	9,091	(4.1)	80,196	(35.8)	121,759	(54.4)	223,771
奈良	211	(0.4)	3,168	(5.4)	2,434	(4.2)	20,781	(35.6)	31,730	(54.4)	58,324
和歌山	75	(0.2)	1,928	(4.1)	1,754	(3.7)	16,095	(34.4)	26,946	(57.6)	46,798
鳥取	99	(0.4)	840	(3.7)	770	(3.4)	7,275	(32.1)	13,674	(60.4)	22,658
島根	39	(0.2)	758	(2.9)	852	(3.2)	7,735	(29.5)	16,849	(64.2)	26,233
岡山	62	(0.1)	3,234	(4.2)	3,112	(4.0)	27,505	(35.4)	43,779	(56.3)	77,692
広島	242	(0.2)	4,774	(4.4)	4,247	(3.9)	39,674	(36.3)	60,206	(55.2)	109,143
山口	182	(0.3)	1,858	(3.1)	1,803	(3.1)	18,487	(31.3)	36,687	(62.2)	59,017
徳島	96	(0.3)	1,149	(3.8)	1,102	(3.7)	10,579	(35.3)	17,092	(56.9)	30,018
香川	57	(0.1)	1,802	(4.2)	1,698	(3.9)	15,253	(35.3)	24,389	(56.5)	43,199
愛媛	122	(0.2)	2,138	(3.6)	2,437	(4.0)	21,547	(35.7)	34,084	(56.5)	60,328
高知	51	(0.2)	1,009	(2.9)	1,205	(3.4)	10,842	(30.8)	22,045	(62.7)	35,152
福岡	747	(0.3)	9,860	(4.7)	7,598	(3.6)	77,742	(36.8)	115,400	(54.6)	211,347
佐賀	81	(0.3)	1,353	(4.3)	1,262	(4.0)	11,026	(35.2)	17,596	(56.2)	31,318
長崎	205	(0.4)	1,681	(3.0)	1,607	(2.9)	18,379	(33.3)	33,376	(60.4)	55,248
熊本	77	(0.1)	2,962	(4.0)	2,808	(3.8)	25,892	(35.1)	42,082	(57.0)	73,821
大分	53	(0.1)	1,727	(3.8)	1,455	(3.2)	14,809	(32.2)	27,924	(60.7)	45,968
宮崎	144	(0.4)	1,337	(3.6)	1,336	(3.6)	13,122	(35.7)	20,839	(56.7)	36,778
鹿児島	153	(0.2)	2,702	(3.9)	2,468	(3.5)	23,350	(33.5)	41,004	(58.9)	69,677
沖縄	285	(0.5)	3,277	(5.3)	2,981	(4.8)	25,802	(41.5)	29,774	(47.9)	62,119
合計	13,322	(0.2)	255,032	(4.9)	200,804	(3.8)	1,994,538	(38.0)	2,786,606	(53.1)	5,250,302

別表 6 救急自動車による都道府県別の医療機関別搬送人員の状況

(平成24年中)

区分	救急医療機関										その他の医療機関										医療機関合計										その他 構内院	計 (C)	全体合計	救急医療機関 に対する搬送割合 (A)/(C)× 100	搬送人員 数 (D)	右の1か所 あたりの 搬送人員 数 (A)/(D)
	公的					私立					公的					私立					公的					私立										
	国立	公立	公的	私立	計 (A)	国立	公立	公的	私立	計 (B)	国立	公立	公的	私立	計 (C)	国立	公立	公的	私立	計 (D)	国立	公立	公的	私立	計 (E)											
北海道	10,209	48,306	32,087	2,472	181,228	236	3,635	502	14,612	12,281	31,269	北海道	3,248	29,606	2,872	7,711	1,312	14,753	212,497	3	512	515	23,101	85.3	269	674										
青森	3,242	29,184	2,696	6,586	41,685	6	451	14	1,128	2,884	2,884	青森	3,248	29,606	2,872	7,711	1,312	14,753	212,497	0	51	51	44,800	93.6	53	790										
岩手	39	30,843	3,796	5,582	40,317	244	346	2,138	1,245	850	44	岩手	283	31,182	5,938	6,827	905	45,140	44	44	44	44	44	44	44	44	44									
宮城	10,024	26,337	8,314	31,576	76,411	281	1,624	487	4,925	4,315	11,636	宮城	10,305	27,983	8,801	36,504	4,466	88,047	8	24	32	88,079	96.8	66	1,138											
秋田	1,988	9,513	19,176	5,238	7	172	5	342	234	783	秋田	1,986	9,685	19,180	5,830	235	36,845	0	11	11	38,656	97.9	27	1,329												
山形	1,888	29,245	1,527	6,511	0	39,281	38	64	7	337	550	山形	2,026	29,316	1,534	6,848	550	40,277	8	8	8	40,285	97.5	37	1,082											
福島	2,420	12,402	9,182	45,641	16	87,661	40	897	51	2,883	5,884	福島	2,460	13,259	9,233	46,524	2,049	73,525	0	19	19	75,544	92.0	56	1,208											
茨城	3,046	7,674	31,314	55,116	510	100,680	104	1,429	157	3,148	7,010	茨城	6,170	9,102	31,471	58,265	2,681	107,600	4	62	66	107,756	93.5	101	997											
栃木	3,439	4,068	22,312	34,356	1,224	65,939	10	307	48	759	1,939	栃木	3,443	4,375	22,960	35,115	3,123	68,442	1	21	22	68,444	95.6	72	997											
群馬	7,603	18,843	8,904	37,884	1,085	74,939	292	682	117	1,220	1,540	群馬	8,095	19,492	9,021	39,204	2,805	78,420	1	101	102	78,522	95.1	102	731											
千葉	7,023	29,770	24,471	187,718	3,642	252,094	538	3,666	106	7,304	6,721	千葉	7,831	33,436	24,577	195,022	9,783	270,429	7	88	95	270,524	93.2	183	1,378											
埼玉	12,228	41,570	12,729	1,382	225,197	896	6,785	383	16,031	8,085	32,140	埼玉	13,124	48,336	13,088	173,943	9,447	257,337	8	49	57	257,394	97.5	144	1,564											
東京	49,260	78,132	32,241	464,643	5,822	629,958	1,734	1,448	311	16,314	3,838	東京	50,994	79,580	32,526	480,957	9,320	653,403	0	193	193	653,596	96.4	325	1,938											
神奈川	14,888	66,589	26,376	192,934	4,100	304,906	2,927	21,334	6,389	39,093	4,961	神奈川	17,822	87,832	32,764	232,027	9,061	379,610	4	198	202	379,812	90.3	173	1,762											
新潟	7,143	26,485	23,886	22,566	103	79,156	728	825	657	1,374	4,700	新潟	7,871	26,310	24,226	23,930	4,809	87,446	0	40	40	87,486	90.5	67	1,181											
富山	2,488	19,421	10,856	1,846	38	34,657	34	487	11	218	333	富山	2,532	19,918	10,886	2,084	371	35,751	0	14	14	35,765	96.9	40	886											
石川	3,975	17,180	2,920	11,374	332	35,781	185	34	56	462	229	石川	4,160	17,214	2,975	11,838	561	38,746	0	8	8	38,754	97.4	56	639											
福井	3,136	9,270	5,609	6,371	438	24,924	75	128	233	255	274	福井	3,211	9,398	5,844	6,826	712	25,791	0	20	20	25,811	96.3	58	428											
山梨	2,489	16,606	2,493	12,722	417	33,737	2	88	8	202	847	山梨	2,501	15,684	2,501	12,929	1,264	34,889	0	55	55	34,944	96.7	43	785											
長野	5,329	25,225	29,954	19,796	298	80,902	68	387	47	852	972	長野	5,397	25,592	30,000	20,649	1,270	82,909	1	516	517	83,426	97.2	86	937											
岐阜	1,618	31,625	19,346	22,576	171	75,340	46	116	19	321	463	岐阜	1,666	31,741	19,387	23,489	634	78,805	0	15	15	78,820	98.0	74	1,016											
静岡県	9,086	69,939	17,290	36,096	1,011	127,422	135	6,139	13	1,915	13,579	静岡県	9,221	70,078	17,303	38,011	6,388	141,000	1	558	559	141,560	90.4	111	1,148											
愛知	20,363	96,927	47,854	103,963	383	265,470	522	566	344	15,236	2,884	愛知	20,885	93,493	48,168	119,199	3,297	285,072	4	186	190	285,262	93.1	172	1,543											
三重	5,085	28,689	28,217	15,522	379	76,972	957	201	102	1,685	2,885	三重	6,012	29,900	26,819	17,127	2,884	81,942	2	29	31	81,973	95.8	63	1,220											
滋賀	3,882	23,174	16,420	9,481	0	52,957	42	285	18	674	1,159	滋賀	3,924	23,439	16,439	10,155	159	54,116	0	3	3	54,119	97.9	33	1,605											
京都	7,823	21,339	17,797	66,353	1	113,333	105	68	39	3,960	321	京都	7,929	21,427	17,838	69,913	322	117,426	1	9	10	117,436	96.5	91	1,245											
大阪	9,813	55,572	25,906	325,207	1,773	416,210	1,508	7,073	6,001	16,041	5,754	大阪	11,321	60,585	31,908	341,248	7,827	492,887	13	29	42	492,929	92.0	282	1,476											
兵庫	5,055	65,261	7,468	109,148	665	187,618	783	3,098	525	25,907	5,400	兵庫	5,842	68,339	7,993	135,056	6,065	223,301	1	468	470	223,771	84.0	184	1,020											
奈良	391	12,985	7,454	31,602	0	52,432	75	549	40	4,160	1,080	奈良	448	13,534	7,494	35,762	1,080	58,316	1	7	8	58,324	89.9	40	1,311											
和歌山	5,785	17,860	11,044	9,688	430	44,847	5	314	16	568	1,023	和歌山	5,800	18,194	11,059	10,266	1,453	46,772	0	26	26	46,798	95.9	60	747											
鳥取	5,782	7,914	2,663	5,188	4	21,551	67	3	3	720	273	鳥取	5,840	7,912	2,666	5,908	277	22,617	2	39	41	22,658	95.3	20	1,078											
島根	4,845	10,886	6,449	2,824	3	25,940	89	482	13	381	98	島根	4,934	11,370	6,493	3,185	89	28,081	0	152	152	28,233	96.0	24	1,043											
岡山	6,285	9,742	8,154	47,689	850	72,714	19	290	118	2,580	1,995	岡山	6,304	10,022	8,272	50,823	2,445	77,306	141	245	386	77,692	94.1	139	601											
広島	13,133	25,864	13,071	42,101	1,818	95,987	386	1,624	62	6,376	4,969	広島	13,519	27,488	13,133	48,479	6,387	100,006	0	137	137	100,143	88.1	139	601											
山口	10,440	10,982	19,487	12,919	150	53,958	149	284	15	2,147	2,707	山口	10,589	11,256	19,472	15,068	2,620	59,003	0	14	14	59,017	91.4	62	870											
徳島	1,279	9,882	10,442	5,945	119	27,687	105	108	81	1,305	694	徳島	1,384	9,990	10,523	7,854	813	29,864	1	53	54	30,018	92.3	35	790											
香川	5,815	13,874	6,880	13,042	488	40,109	14	247	0	802	1,335	香川	5,929	14,121	6,900	13,844	2,633	43,117	0	82	82	43,199	93.0	64	627											
愛媛	1,147	15,385	9,187	28,106	221	54,008	592	2,152	134	2,092	1,335	愛媛	1,739	17,517	9,301	30,188	1,566	60,301	1	26	27	60,328	89.6	61	885											
高知	2,476	9,102	5,868	14,788	223	32,277	2	733	26	1,537	508	高知	2,476	9,102	5,868	14,788	223	32,277	0	66	69	35,152	92.0	41	787											
福岡	11,153	13,480	23,880	440,733	133	189,307	699	4,680	816	11,628	3,713	福岡	11,852	18,140	24,921	182,361	3,706	210,680	0	667	667	211,347	89.9	143	1,324											
佐賀	6,139	4,606	3,236	13,065	262	27,307	68	285	25	1,778	1,956	佐賀	6,207	4,871	3,260	14,843	2,118	31,299	0	19	19	31,318	87.2	49	557											
熊本	13,809	15,360	21,842	14,720	417	66,148	177	92	139	4,594	2,309	熊本	13,988	15,452	21,980	19,514	2,725	73,457	5	359	364	73,821	90.0	73	906											
大分	4,089	5,946	5,714	10,898	200	34,940	251	112	1,237	7,898	1,455	大分	4,340	5,965	6,951	26,887	1,655	45,798	0	170	170	45,968	76.3	48	728											
宮崎	2,124	7,755	892	16,424	1,138	28,333	1	112	24	3,787	4,8																									

別表 7 都道府県別傷病程度別搬送人員及び構成比

(平成 24 年中)

	死亡		重症		中等症		軽症		その他		合計
		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)	
北海道	4,221	(2.0)	23,087	(10.8)	84,262	(39.6)	101,043	(47.4)	399	(0.2)	213,012
青森	1,490	(3.3)	8,411	(18.8)	16,592	(37.0)	18,231	(40.7)	76	(0.2)	44,800
岩手	1,369	(3.0)	6,666	(14.8)	17,478	(38.7)	19,610	(43.4)	61	(0.1)	45,184
宮城	1,554	(1.8)	10,596	(12.0)	44,511	(50.5)	31,319	(35.6)	99	(0.1)	88,079
秋田	1,210	(3.3)	6,958	(19.0)	11,737	(32.0)	16,736	(45.7)	15	(0.0)	36,656
山形	1,252	(3.1)	6,271	(15.6)	15,591	(38.7)	17,158	(42.6)	13	(0.0)	40,285
福島	1,768	(2.4)	8,624	(11.7)	26,606	(36.2)	36,502	(49.6)	44	(0.1)	73,544
茨城	2,295	(2.1)	10,414	(9.7)	38,829	(36.0)	56,131	(52.1)	87	(0.1)	107,756
栃木	1,571	(2.3)	8,258	(12.1)	26,491	(38.7)	32,098	(46.9)	26	(0.0)	68,444
群馬	1,330	(1.7)	9,105	(11.6)	31,069	(39.5)	36,727	(46.8)	291	(0.4)	78,522
埼玉	4,308	(1.6)	23,948	(8.9)	91,280	(33.7)	150,910	(55.8)	78	(0.0)	270,524
千葉	3,756	(1.5)	18,843	(7.3)	102,620	(39.9)	132,097	(51.3)	78	(0.0)	257,394
東京	6,074	(0.9)	50,081	(7.7)	251,797	(38.5)	345,640	(52.9)	4	(0.0)	653,596
神奈川	4,929	(1.3)	32,692	(8.6)	144,587	(38.1)	197,410	(52.0)	194	(0.0)	379,812
新潟	2,718	(3.1)	9,357	(10.7)	33,410	(38.2)	41,865	(47.8)	136	(0.2)	87,486
富山	557	(1.5)	3,206	(9.0)	14,972	(41.9)	17,020	(47.6)	10	(0.0)	35,765
石川	942	(2.6)	5,546	(15.1)	13,929	(37.9)	16,331	(44.4)	6	(0.0)	36,754
福井	459	(1.8)	4,039	(15.6)	11,585	(44.9)	9,705	(37.6)	23	(0.1)	25,811
山梨	504	(1.4)	3,599	(10.3)	14,284	(40.9)	16,527	(47.3)	30	(0.1)	34,944
長野	1,471	(1.8)	8,669	(10.4)	37,469	(44.9)	35,405	(42.4)	412	(0.5)	83,426
岐阜	1,193	(1.5)	9,973	(13.0)	33,682	(43.8)	32,003	(41.6)	69	(0.1)	76,920
静岡	1,889	(1.3)	9,977	(7.1)	54,755	(38.7)	74,745	(52.8)	194	(0.1)	141,560
愛知	4,419	(1.6)	19,245	(6.7)	99,618	(34.9)	161,934	(56.8)	46	(0.0)	285,262
三重	2,036	(2.5)	8,515	(10.4)	25,345	(30.9)	46,025	(56.1)	52	(0.1)	81,973
滋賀	612	(1.1)	3,289	(6.1)	18,424	(34.1)	31,778	(58.7)	16	(0.0)	54,119
京都	1,435	(1.2)	6,880	(5.9)	36,358	(31.0)	72,744	(61.9)	19	(0.0)	117,436
大阪	5,224	(1.2)	7,161	(1.6)	155,913	(34.4)	284,227	(62.8)	104	(0.0)	452,629
兵庫	2,892	(1.3)	15,908	(7.1)	84,594	(37.8)	120,320	(53.8)	57	(0.0)	223,771
奈良	751	(1.3)	6,602	(11.3)	23,597	(40.5)	27,361	(46.9)	13	(0.0)	58,324
和歌山	890	(1.9)	4,500	(9.6)	14,921	(31.9)	26,459	(56.5)	28	(0.1)	46,798
鳥取	440	(1.9)	2,540	(11.2)	11,040	(48.7)	8,599	(38.0)	39	(0.2)	22,658
島根	622	(2.4)	3,080	(11.8)	11,495	(43.8)	11,002	(41.9)	34	(0.1)	26,233
岡山	1,845	(2.4)	9,967	(12.8)	28,502	(36.7)	37,316	(48.0)	62	(0.1)	77,692
広島	1,555	(1.4)	11,898	(10.9)	50,592	(46.4)	45,016	(41.2)	82	(0.1)	109,143
山口	789	(1.3)	5,681	(9.6)	26,776	(45.4)	25,756	(43.7)	15	(0.0)	59,017
徳島	640	(2.1)	4,017	(13.4)	11,657	(38.8)	13,701	(45.7)	3	(0.0)	30,018
香川	737	(1.7)	5,554	(12.9)	18,582	(43.0)	18,247	(42.2)	79	(0.2)	43,199
愛媛	1,316	(2.2)	9,258	(15.4)	19,081	(31.6)	30,661	(50.8)	12	(0.0)	60,328
高知	654	(1.9)	6,476	(18.4)	11,841	(33.7)	16,097	(45.8)	84	(0.2)	35,152
福岡	1,435	(0.7)	15,650	(7.4)	115,417	(54.6)	78,204	(37.0)	641	(0.3)	211,347
佐賀	589	(1.9)	4,728	(15.1)	14,510	(46.3)	11,460	(36.6)	31	(0.1)	31,318
長崎	847	(1.5)	8,269	(15.0)	27,124	(49.1)	18,813	(34.0)	195	(0.4)	55,248
熊本	1,025	(1.4)	7,510	(10.2)	30,273	(41.0)	34,821	(47.2)	192	(0.2)	73,821
大分	820	(1.8)	7,778	(16.9)	20,373	(44.3)	16,846	(36.7)	151	(0.3)	45,968
宮崎	772	(2.1)	7,436	(20.2)	14,965	(40.7)	13,564	(36.9)	41	(0.1)	36,778
鹿児島	654	(0.9)	9,855	(14.2)	34,340	(49.3)	24,746	(35.5)	82	(0.1)	69,677
沖縄	1,275	(2.1)	7,337	(11.8)	19,527	(31.4)	33,841	(54.5)	139	(0.2)	62,119
合計	81,134	(1.5)	477,454	(9.1)	2,042,401	(38.9)	2,644,751	(50.4)	4,562	(0.1)	5,250,302

別表 8の1 現場到着時間別出動件数の状況  
(119番通報入電から現場到着までの所要時間別出動件数)

(平成24年中 単位：件)

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均 (分)	平成23年中 平均 (分)	平成22年中 平均 (分)
都道府県									
北海道	6,702	30,822	152,298	40,567	3,879	234,268	7.5	7.2	7.0
青森	1,081	5,982	29,496	10,655	935	48,149	7.9	7.8	7.7
岩手	1,739	7,536	23,858	12,598	2,336	48,067	8.7	8.6	8.5
宮城	1,179	8,398	58,506	27,737	2,408	98,228	8.6	8.8	8.4
秋田	1,293	4,679	22,339	10,459	1,035	39,805	8.3	8.1	7.8
山形	453	3,450	24,435	13,002	1,244	42,584	8.9	8.6	8.1
福島	1,964	7,322	40,951	25,832	2,635	78,704	9.0	9.7	9.1
茨城	1,888	7,872	68,716	36,856	1,739	117,071	8.6	8.5	8.2
栃木	1,325	7,934	47,256	17,966	1,110	75,591	8.0	7.9	7.8
群馬	1,411	8,597	53,407	19,188	1,670	84,273	8.1	7.9	7.8
埼玉	1,799	16,512	211,556	74,485	2,141	306,493	8.1	8.0	8.0
千葉	2,442	15,148	176,586	85,781	4,197	284,154	8.7	8.5	8.5
東京	2,465	17,644	400,444	304,114	21,486	746,153	10.6	10.2	9.7
神奈川	2,680	23,622	285,081	106,812	2,919	421,114	8.2	8.0	8.1
新潟	1,313	7,618	55,878	29,449	2,407	96,665	8.8	8.5	8.5
富山	1,049	6,433	25,016	5,133	245	37,876	6.8	6.8	6.7
石川	867	5,953	25,373	6,424	413	39,030	7.2	7.1	7.0
福井	743	4,329	16,733	4,598	301	26,704	7.2	7.2	7.0
山梨	700	4,733	21,641	8,786	1,117	36,977	8.3	8.2	8.2
長野	1,691	9,988	50,642	21,796	3,084	87,201	8.5	8.5	8.5
岐阜	1,825	9,847	53,145	14,587	1,418	80,822	7.6	7.6	7.5
静岡	2,282	14,270	98,215	34,463	2,668	151,898	8.1	8.2	8.1
愛知	5,251	41,335	219,450	45,139	1,739	312,914	7.1	7.0	7.3
三重	1,946	6,708	52,538	24,381	1,503	87,076	8.4	8.3	8.1
滋賀	655	5,497	38,551	12,302	598	57,603	7.8	7.8	7.8
京都	1,477	18,730	90,227	16,579	1,487	128,500	7.1	7.0	6.9
大阪	5,768	53,542	370,957	96,825	1,786	528,878	7.4	7.4	7.3
兵庫	2,525	19,193	167,230	63,530	3,226	255,704	8.2	7.9	7.7
奈良	781	3,882	37,934	18,636	1,270	62,503	8.7	8.4	8.3
和歌山	1,227	7,406	30,548	9,547	1,007	49,735	7.6	7.5	7.7
鳥取	280	1,617	13,852	7,502	661	23,912	8.9	9.2	8.9
島根	471	2,439	15,813	7,924	1,197	27,844	9.0	9.1	8.9
岡山	1,255	6,773	50,169	21,501	2,159	81,857	8.5	8.5	8.4
広島	3,801	23,525	70,127	21,881	2,012	121,346	7.2	7.1	7.1
山口	806	6,875	39,186	16,366	1,411	64,644	8.3	8.3	8.2
徳島	893	4,513	19,012	6,345	819	31,582	7.8	7.6	7.6
香川	1,017	4,921	29,053	10,880	471	46,342	7.9	7.7	7.5
愛媛	1,467	7,117	39,828	13,709	1,968	64,089	8.2	8.2	8.1
高知	1,447	4,617	21,198	9,488	1,649	38,399	8.5	8.3	8.0
福岡	2,025	20,230	158,370	47,592	1,841	230,058	7.9	7.7	7.6
佐賀	414	2,457	19,882	10,281	589	33,623	8.7	8.5	8.4
長崎	1,511	8,373	32,123	16,698	1,568	60,273	8.3	8.2	8.1
熊本	1,736	12,530	48,773	16,705	1,474	81,218	7.6	7.9	7.9
大分	1,522	7,959	28,026	9,957	1,322	48,786	7.8	7.6	7.4
宮崎	538	2,523	21,467	14,871	1,464	40,863	9.5	9.3	9.2
鹿児島	2,613	13,536	40,241	17,452	1,485	75,327	7.7	8.0	7.9
沖縄	1,688	7,177	43,147	14,750	790	67,552	7.8	7.8	7.4
合計 (割合)	82,005 (1.4)	522,164 (9.0)	3,639,274 (62.7)	1,462,129 (25.2)	96,883 (1.7)	5,802,455 (100.0)	8.3 —	8.2 —	8.1 —

別表 8の2 現場到着時間別出動件数の構成比  
 (119番通報入電から現場到着までの所要時間別出動件数の構成比)

(平成24年中 単位：%)

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
都道府県						
北海道	2.9	13.2	65.0	17.3	1.6	100.0
青森	2.3	12.4	61.3	22.1	1.9	100.0
岩手	3.6	15.7	49.6	26.2	4.9	100.0
宮城	1.2	8.5	59.6	28.2	2.5	100.0
秋田	3.2	11.8	56.1	26.3	2.6	100.0
山形	1.1	8.1	57.4	30.5	2.9	100.0
福島	2.5	9.3	52.0	32.8	3.4	100.0
茨城	1.6	6.7	58.7	31.5	1.5	100.0
栃木	1.7	10.5	62.5	23.8	1.5	100.0
群馬	1.7	10.2	63.4	22.7	2.0	100.0
埼玉	0.6	5.4	69.0	24.3	0.7	100.0
千葉	0.9	5.3	62.1	30.2	1.5	100.0
東京	0.3	2.4	53.7	40.7	2.9	100.0
神奈川	0.6	5.6	67.7	25.4	0.7	100.0
新潟	1.3	7.9	57.8	30.5	2.5	100.0
富山	2.8	17.0	66.0	13.6	0.6	100.0
石川	2.2	15.2	65.0	16.5	1.1	100.0
福井	2.8	16.2	62.7	17.2	1.1	100.0
山梨	1.9	12.8	58.5	23.8	3.0	100.0
長野	1.9	11.5	58.1	25.0	3.5	100.0
岐阜	2.3	12.2	65.8	18.0	1.7	100.0
静岡	1.5	9.4	64.7	22.7	1.7	100.0
愛知	1.7	13.2	70.1	14.4	0.6	100.0
三重	2.2	7.7	60.4	28.0	1.7	100.0
滋賀	1.1	9.6	66.9	21.4	1.0	100.0
京都	1.1	14.6	70.2	12.9	1.2	100.0
大阪	1.1	10.1	70.2	18.3	0.3	100.0
兵庫	1.0	7.5	65.4	24.8	1.3	100.0
奈良	1.3	6.2	60.7	29.8	2.0	100.0
和歌山	2.5	14.9	61.4	19.2	2.0	100.0
鳥取	1.2	6.7	57.9	31.4	2.8	100.0
島根	1.7	8.8	56.8	28.4	4.3	100.0
岡山	1.5	8.3	61.3	26.3	2.6	100.0
広島	3.1	19.4	57.8	18.0	1.7	100.0
山口	1.3	10.6	60.6	25.3	2.2	100.0
徳島	2.8	14.3	60.2	20.1	2.6	100.0
香川	2.2	10.6	62.7	23.5	1.0	100.0
愛媛	2.3	11.1	62.1	21.4	3.1	100.0
高知	3.8	12.0	55.2	24.7	4.3	100.0
福岡	0.9	8.8	68.8	20.7	0.8	100.0
佐賀	1.2	7.3	59.1	30.6	1.8	100.0
長崎	2.5	13.9	53.3	27.7	2.6	100.0
熊本	2.1	15.4	60.1	20.6	1.8	100.0
大分	3.1	16.3	57.5	20.4	2.7	100.0
宮崎	1.3	6.2	52.5	36.4	3.6	100.0
鹿児島	3.5	18.0	53.4	23.1	2.0	100.0
沖縄	2.5	10.6	63.9	21.8	1.2	100.0
合計	1.4	9.0	62.7	25.2	1.7	100.0

別表 9 の 1 病院収容時間別搬送人員の状況  
(119 番通報入電から病院等に収容するのに要した時間別搬送人員)

(平成 24 年中 単位:人)

区分 郡市町	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合 計	平 均 (分)	平成24年中 平均(分)	区分
北海道	286	18,689	70,921	107,599	14,722	1,235	213,012	358	34.4	北海道
青森	32	3,419	16,912	22,151	2,493	193	44,800	335	33.5	青森
岩手	30	2,820	11,395	25,803	5,376	378	45,184	408	40.5	岩手
宮城	35	2,980	20,699	53,787	10,323	455	88,079	409	40.5	宮城
秋田	26	3,388	12,122	17,920	2,516	60	36,656	351	35.1	秋田
山形	5	2,058	13,614	22,953	2,272	83	40,285	355	34.1	山形
福島	26	2,175	17,924	44,993	8,559	367	73,544	408	41.2	福島
茨城	34	2,992	24,719	69,103	10,436	472	107,756	397	40.2	茨城
栃木	15	1,940	16,142	43,291	6,813	243	68,444	401	39.0	栃木
群馬	58	4,434	26,932	43,056	4,755	187	78,522	356	34.8	群馬
埼玉	18	2,823	44,380	181,453	39,034	2,836	270,524	446	43.6	埼玉
千葉	37	3,717	45,997	171,172	35,482	1,889	257,384	437	43.2	千葉
東京	3	600	25,556	49,481	181,590	10,728	653,596	549	54.6	東京
神奈川	44	7,798	92,576	252,149	26,301	944	379,812	379	37.9	神奈川
新潟	17	2,376	18,155	55,835	10,822	281	87,486	418	40.5	新潟
富山	18	4,181	16,179	14,820	546	21	35,765	257	29.3	富山
石川	49	3,549	17,447	17,447	1,035	55	36,754	318	31.0	石川
福井	27	4,238	10,707	10,184	720	35	25,811	303	30.3	福井
山梨	19	2,008	11,773	18,999	2,412	133	34,944	361	35.5	山梨
長野	27	4,673	27,982	45,318	5,621	205	83,426	360	35.4	長野
岐阜	63	8,167	32,828	32,908	2,846	110	76,920	315	31.9	岐阜
静岡	33	6,605	48,679	78,632	7,251	360	141,560	349	34.9	静岡
愛知	87	19,752	126,965	133,469	5,360	229	285,262	311	30.8	愛知
三重	102	4,332	23,033	46,573	7,681	252	81,973	380	38.0	三重
滋賀	27	4,878	22,158	25,941	1,367	48	54,119	317	31.3	滋賀
京都	44	9,789	46,866	57,069	3,426	122	117,436	322	31.9	京都
大阪	834	29,965	164,797	230,737	24,053	2,243	452,629	348	33.8	大阪
兵庫	341	12,312	70,933	125,436	14,535	644	223,771	363	35.4	兵庫
奈良	28	1,778	12,658	34,684	8,533	623	95,324	431	42.0	奈良
和歌山	39	5,433	29,292	19,777	2,866	175	46,798	333	32.7	和歌山
鳥取	4	1,431	7,993	12,680	1,118	32	22,658	351	35.2	鳥取
島根	18	2,823	8,216	12,693	2,214	59	26,233	356	35.5	島根
岡山	36	4,596	25,141	43,388	4,409	122	77,692	355	34.5	岡山
広島	77	7,453	33,928	59,227	8,023	435	109,143	366	35.5	広島
山口	27	4,449	20,068	30,748	3,634	91	59,017	350	34.7	山口
徳島	108	3,675	10,993	13,346	1,796	100	30,018	334	32.3	徳島
香川	48	4,704	16,728	20,334	1,340	45	43,199	319	30.3	香川
愛媛	66	6,614	23,995	26,165	3,483	105	60,328	329	32.5	愛媛
高知	43	2,605	9,960	14,914	3,533	197	35,152	383	37.0	高知
福岡	127	24,333	99,946	84,337	3,093	111	211,347	292	29.2	福岡
佐賀	12	2,019	10,143	17,518	1,566	61	31,318	350	34.0	佐賀
長崎	93	4,495	16,813	30,521	3,741	85	55,248	360	35.4	長崎
熊本	29	4,487	25,668	39,410	3,887	140	73,621	348	34.4	熊本
大分	42	5,996	18,009	18,529	3,328	64	45,968	334	33.4	大分
宮崎	85	2,595	10,930	20,099	3,000	69	36,778	352	36.8	宮崎
鹿児島	94	8,257	22,332	33,914	4,904	176	69,677	349	34.3	鹿児島
沖縄	81	5,151	27,684	28,864	802	37	62,119	306	30.3	沖縄
合計	3,374	148,914	1,489,563	2,947,563	503,436	27,559	5,250,302	387	38.1	合計

(注) ( ) 書きは、管外搬送分で内書きである。

別表 9の2 病院収容時間別搬送人員の構成比  
(119番通報入電から病院等に収容するのに要した時間別搬送人員の構成比)  
(平成24年中 単位：%)

区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合計	区分
北海道	0.1 ( 0.0 )	8.8 ( 0.9 )	33.1 ( 11.6 )	50.5 ( 58.8 )	6.9 ( 25.5 )	0.6 ( 3.2 )	100.0	北海道
青森	0.1 ( 0.0 )	7.6 ( 0.3 )	36.9 ( 8.9 )	49.4 ( 65.6 )	5.6 ( 22.3 )	0.4 ( 2.9 )	100.0	青森
岩手	0.1 ( 0.0 )	4.9 ( 0.2 )	25.2 ( 5.1 )	57.1 ( 53.2 )	11.9 ( 35.4 )	0.8 ( 6.1 )	100.0	岩手
宮城	0.0 ( 0.0 )	3.4 ( 0.3 )	23.3 ( 6.0 )	61.1 ( 62.5 )	11.7 ( 29.4 )	0.5 ( 1.8 )	100.0	宮城
秋田	0.1 ( 0.0 )	9.2 ( 0.1 )	34.7 ( 2.4 )	48.9 ( 68.7 )	6.9 ( 27.6 )	0.2 ( 1.2 )	100.0	秋田
山形	0.0 ( 0.0 )	5.1 ( 0.6 )	33.8 ( 13.6 )	55.2 ( 70.1 )	5.7 ( 15.0 )	0.2 ( 0.7 )	100.0	山形
福島	0.0 ( 0.0 )	3.0 ( 0.2 )	23.8 ( 2.8 )	61.1 ( 63.5 )	11.6 ( 31.2 )	0.5 ( 2.3 )	100.0	福島
茨城	0.0 ( 0.0 )	2.8 ( 0.4 )	23.0 ( 6.5 )	64.1 ( 70.9 )	9.7 ( 21.1 )	0.4 ( 1.1 )	100.0	茨城
栃木	0.0 ( 0.0 )	2.8 ( 0.4 )	23.6 ( 6.8 )	63.2 ( 67.9 )	10.0 ( 23.8 )	0.4 ( 1.1 )	100.0	栃木
群馬	0.1 ( 0.1 )	5.6 ( 0.8 )	33.2 ( 11.0 )	54.8 ( 69.9 )	6.1 ( 17.5 )	0.2 ( 0.7 )	100.0	群馬
埼玉	0.0 ( 0.0 )	1.0 ( 0.2 )	16.4 ( 5.7 )	67.1 ( 64.4 )	14.4 ( 27.1 )	1.1 ( 2.6 )	100.0	埼玉
千葉	0.0 ( 0.0 )	1.5 ( 0.3 )	17.5 ( 8.6 )	66.5 ( 65.4 )	13.8 ( 24.2 )	0.7 ( 1.5 )	100.0	千葉
東京	0.0 ( 0.0 )	0.1 ( 0.0 )	4.0 ( 1.3 )	66.5 ( 58.5 )	27.8 ( 37.8 )	1.6 ( 2.4 )	100.0	東京
神奈川	0.0 ( 0.0 )	2.1 ( 0.6 )	24.4 ( 13.2 )	66.4 ( 72.5 )	6.9 ( 13.1 )	0.2 ( 0.6 )	100.0	神奈川
新潟	0.0 ( 0.0 )	2.7 ( 0.1 )	20.8 ( 2.7 )	63.8 ( 59.9 )	12.4 ( 35.7 )	0.3 ( 1.5 )	100.0	新潟
富山	0.1 ( 0.0 )	11.7 ( 1.9 )	45.2 ( 28.8 )	41.4 ( 65.0 )	1.5 ( 4.2 )	0.1 ( 0.1 )	100.0	富山
石川	0.1 ( 0.0 )	9.7 ( 0.7 )	39.8 ( 15.5 )	47.5 ( 74.3 )	2.8 ( 8.9 )	0.1 ( 0.6 )	100.0	石川
福井	0.1 ( 0.1 )	16.4 ( 1.3 )	41.1 ( 21.7 )	39.5 ( 69.1 )	2.8 ( 7.3 )	0.1 ( 0.5 )	100.0	福井
山梨	0.1 ( 0.0 )	5.7 ( 0.5 )	33.7 ( 11.8 )	53.2 ( 66.2 )	6.9 ( 20.1 )	0.4 ( 1.4 )	100.0	山梨
長野	0.0 ( 0.0 )	5.6 ( 0.3 )	33.1 ( 5.9 )	54.3 ( 72.0 )	6.7 ( 21.0 )	0.3 ( 0.8 )	100.0	長野
岐阜	0.1 ( 0.0 )	10.6 ( 1.9 )	42.7 ( 22.3 )	42.8 ( 66.4 )	3.7 ( 8.9 )	0.1 ( 0.5 )	100.0	岐阜
静岡	0.0 ( 0.0 )	4.7 ( 1.1 )	34.4 ( 15.6 )	55.5 ( 63.8 )	5.1 ( 18.3 )	0.3 ( 1.2 )	100.0	静岡
愛知	0.0 ( 0.0 )	6.9 ( 1.4 )	44.3 ( 27.1 )	46.8 ( 66.5 )	1.9 ( 4.7 )	0.1 ( 0.3 )	100.0	愛知
三重	0.1 ( 0.0 )	5.3 ( 0.2 )	28.1 ( 4.6 )	56.8 ( 57.7 )	9.4 ( 36.1 )	0.3 ( 1.4 )	100.0	三重
滋賀	0.1 ( 0.0 )	9.0 ( 1.8 )	40.9 ( 19.8 )	47.4 ( 66.0 )	2.5 ( 11.9 )	0.1 ( 0.5 )	100.0	滋賀
京都	0.1 ( 0.0 )	8.3 ( 4.1 )	40.0 ( 30.1 )	48.6 ( 58.8 )	2.9 ( 6.7 )	0.1 ( 0.3 )	100.0	京都
大阪	0.2 ( 0.3 )	6.6 ( 3.0 )	36.4 ( 22.7 )	51.0 ( 61.9 )	5.3 ( 10.8 )	0.5 ( 1.3 )	100.0	大阪
兵庫	0.1 ( 0.2 )	5.5 ( 2.4 )	31.5 ( 15.3 )	56.1 ( 63.2 )	6.5 ( 17.8 )	0.3 ( 1.1 )	100.0	兵庫
奈良	0.0 ( 0.0 )	3.1 ( 0.6 )	21.7 ( 9.7 )	59.8 ( 61.7 )	14.3 ( 25.9 )	1.1 ( 2.1 )	100.0	奈良
和歌山	0.1 ( 0.0 )	11.6 ( 2.5 )	39.5 ( 16.9 )	42.3 ( 64.0 )	6.1 ( 15.5 )	0.4 ( 1.1 )	100.0	和歌山
鳥取	0.0 ( 0.0 )	6.3 ( 0.0 )	32.6 ( 3.8 )	56.0 ( 42.1 )	4.9 ( 49.3 )	0.2 ( 4.8 )	100.0	鳥取
島根	0.1 ( 0.0 )	10.8 ( 0.9 )	32.1 ( 3.2 )	48.4 ( 59.4 )	8.4 ( 35.2 )	0.2 ( 1.3 )	100.0	島根
岡山	0.0 ( 0.0 )	5.9 ( 0.5 )	32.4 ( 12.1 )	55.8 ( 68.7 )	5.7 ( 18.1 )	0.2 ( 0.6 )	100.0	岡山
広島	0.1 ( 0.0 )	6.8 ( 0.8 )	31.1 ( 12.9 )	54.3 ( 63.1 )	7.3 ( 21.9 )	0.4 ( 1.3 )	100.0	広島
山口	0.0 ( 0.0 )	7.5 ( 0.9 )	34.0 ( 14.1 )	52.1 ( 64.0 )	6.2 ( 20.3 )	0.2 ( 0.7 )	100.0	山口
徳島	0.4 ( 0.0 )	12.2 ( 2.8 )	36.6 ( 23.8 )	44.5 ( 61.0 )	6.0 ( 11.7 )	0.3 ( 0.7 )	100.0	徳島
香川	0.1 ( 0.0 )	10.9 ( 2.3 )	36.7 ( 26.5 )	47.1 ( 63.1 )	3.1 ( 7.7 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	香川
愛媛	0.1 ( 0.0 )	10.9 ( 1.0 )	39.6 ( 16.0 )	43.4 ( 61.7 )	5.8 ( 20.5 )	0.2 ( 0.8 )	100.0	愛媛
高知	0.1 ( 0.0 )	7.4 ( 0.8 )	28.0 ( 11.5 )	53.8 ( 65.0 )	10.1 ( 21.3 )	0.6 ( 1.4 )	100.0	高知
福岡	0.0 ( 0.0 )	11.5 ( 3.7 )	47.0 ( 31.7 )	39.9 ( 60.4 )	1.5 ( 4.0 )	0.1 ( 0.1 )	100.0	福岡
佐賀	0.0 ( 0.0 )	6.5 ( 1.0 )	32.4 ( 17.3 )	55.9 ( 68.6 )	5.0 ( 12.7 )	0.2 ( 0.4 )	100.0	佐賀
長崎	0.2 ( 0.0 )	8.1 ( 0.6 )	29.5 ( 5.7 )	55.2 ( 56.5 )	6.8 ( 35.6 )	0.2 ( 1.6 )	100.0	長崎
熊本	0.0 ( 0.0 )	6.1 ( 0.3 )	35.0 ( 10.9 )	53.4 ( 73.1 )	5.3 ( 15.1 )	0.2 ( 0.6 )	100.0	熊本
大分	0.1 ( 0.0 )	13.1 ( 1.1 )	39.2 ( 11.2 )	40.3 ( 60.9 )	7.2 ( 26.3 )	0.1 ( 0.5 )	100.0	大分
宮崎	0.2 ( 0.0 )	7.1 ( 0.3 )	29.7 ( 4.1 )	54.6 ( 57.7 )	8.2 ( 36.9 )	0.2 ( 1.0 )	100.0	宮崎
鹿児島	0.1 ( 0.0 )	11.8 ( 0.6 )	32.1 ( 5.8 )	48.7 ( 66.0 )	7.0 ( 26.2 )	0.3 ( 1.4 )	100.0	鹿児島
沖縄	0.1 ( 0.1 )	8.3 ( 3.4 )	43.6 ( 35.6 )	46.6 ( 59.0 )	1.3 ( 1.8 )	0.1 ( 0.1 )	100.0	沖縄
合計	0.1 ( 0.1 )	5.3 ( 1.3 )	28.4 ( 15.1 )	56.1 ( 64.6 )	9.6 ( 17.7 )	0.5 ( 1.2 )	100.0	合計

(注) ( ) 書きは、管外搬送分で内書きである。



別表 10 覚知時刻別事故種別搬送人員の状況及び構成比

(平成 24 年中 単位：人・%)

区分		急病	交通	一般負傷	その他	合計
合計		3,296,582 (100.0)	539,809 (100.0)	756,575 (100.0)	657,336 (100.0)	5,250,302 (100.0)
時            刻	0～2時 (構成比)	188,662 (5.7)	14,970 (2.8)	30,675 (4.0)	19,780 (3.0)	254,087 (4.8)
	2～4時 (構成比)	151,658 (4.6)	9,663 (1.8)	20,430 (2.7)	13,804 (2.1)	195,555 (3.7)
	4～6時 (構成比)	155,460 (4.7)	11,460 (2.1)	21,265 (2.8)	11,024 (1.7)	199,209 (3.8)
	6～8時 (構成比)	246,290 (7.5)	43,712 (8.1)	46,783 (6.2)	14,549 (2.2)	351,334 (6.7)
	8～10時 (構成比)	369,728 (11.2)	68,583 (12.7)	91,707 (12.1)	73,678 (11.2)	603,696 (11.5)
	10～12時 (構成比)	341,498 (10.4)	61,073 (11.3)	90,852 (12.0)	130,668 (19.9)	624,091 (11.9)
	12～14時 (構成比)	322,668 (9.8)	58,573 (10.8)	83,864 (11.1)	111,472 (17.0)	576,577 (11.0)
	14～16時 (構成比)	302,615 (9.2)	63,148 (11.7)	84,573 (11.2)	86,997 (13.2)	537,333 (10.2)
	16～18時 (構成比)	303,615 (9.2)	77,661 (14.4)	86,864 (11.5)	81,816 (12.4)	549,956 (10.5)
	18～20時 (構成比)	342,995 (10.4)	67,774 (12.6)	81,435 (10.8)	51,048 (7.8)	543,252 (10.3)
	20～22時 (構成比)	316,325 (9.6)	38,349 (7.1)	69,037 (9.1)	35,653 (5.4)	459,364 (8.8)
	22～24時 (構成比)	255,068 (7.7)	24,843 (4.6)	49,090 (6.5)	26,847 (4.1)	355,848 (6.8)

別表 11 応急手当普及啓発講習活動状況

(平成 24 年中 単位：人・回・体・台)

区分	普通講習 受講人員	普通講習 実施回数	上級講習 受講人員	上級講習 実施回数	普通・上級講習人 口1万人あたりの 受講者数	その他講習 受講人員	救命入門 コース受講者	蘇生訓練用人数		外傷用 模型セット	訓練用 AED
								成人	乳幼児		
北海道	64,048	3,199	1,251	97	119	72,401	4,807	1,170	589	34	718
青森	22,955	1,011	578	71	171	13,039	1,317	298	115	8	204
岩手	22,096	1,252	350	21	169	23,874	3,669	403	147	9	294
宮城	35,315	1,809	1,331	73	156	38,868	3,485	346	147	8	282
秋田	16,178	867	353	20	152	16,070	1,048	277	110	14	152
山形	8,242	451	187	7	72	21,320	1,927	235	107	11	162
福島	21,116	1,216	166	10	105	40,066	2,710	437	157	12	261
茨城	40,322	2,227	824	46	139	20,307	2,845	447	277	17	366
栃木	19,410	1,025	331	15	98	30,967	2,284	363	198	8	242
群馬	21,159	1,020	166	7	106	35,616	2,518	302	151	8	297
埼玉	70,401	3,412	4,515	177	104	123,028	8,672	1,243	648	46	804
千葉	48,551	2,884	2,323	105	82	98,953	6,506	805	333	26	538
東京	192,660	8,965	46,876	2,674	182	443,181	20,946	871	640	12	664
神奈川	85,411	3,805	4,993	206	100	67,113	7,626	913	371	15	658
新潟	26,585	1,235	310	25	113	52,005	12,087	569	323	20	443
富山	16,374	811	2,662	128	174	22,001	3,467	195	86	6	140
石川	12,894	705	216	30	112	13,326	2,076	165	78	9	153
福井	16,108	548	54	2	200	28,756	999	343	86	3	110
山梨	7,741	419	73	3	91	24,440	63	138	86	5	103
長野	28,023	1,416	1,131	57	135	59,426	2,284	512	252	12	358
岐阜	27,536	1,559	848	45	136	53,048	17,961	949	435	27	375
静岡	37,629	2,203	914	54	102	81,913	1,157	759	355	24	491
愛知	74,221	4,206	2,570	159	104	126,207	9,575	843	434	32	590
三重	23,395	1,203	732	51	130	30,612	3,664	357	212	8	224
滋賀	20,914	1,000	186	9	150	21,698	1,682	192	88	8	143
京都	49,790	2,287	1,283	69	194	13,629	5,705	339	203	13	288
大阪	69,727	4,156	2,700	150	82	97,801	9,011	1,398	499	15	645
兵庫	57,851	2,578	1,096	51	105	68,957	9,315	901	519	19	591
奈良	14,915	796	60	6	107	14,691	2,723	246	97	5	145
和歌山	12,026	656	276	17	123	20,739	4,336	290	180	6	187
鳥取	10,150	580	5	2	173	13,131	4,229	98	95	3	77
島根	8,751	472	172	8	124	29,925	0	449	187	7	199
岡山	13,829	751	210	12	72	36,607	3,312	381	192	11	230
広島	27,733	1,285	203	10	98	32,292	2,095	370	201	20	223
山口	18,685	875	320	30	131	20,728	2,402	244	166	7	183
徳島	5,329	308	109	6	70	20,607	163	122	62	1	87
香川	5,162	317	57	4	53	15,194	1,009	216	65	4	87
愛媛	20,966	974	403	21	149	44,633	4,597	324	176	16	234
高知	11,068	724	67	6	146	19,758	1,693	305	172	11	172
福岡	49,895	1,697	1,260	45	101	72,236	14,672	786	397	19	442
佐賀	4,939	276	156	6	60	19,214	94	78	58	4	78
長崎	12,887	635	400	12	93	37,973	1,519	479	322	11	239
熊本	10,066	519	579	49	59	72,622	234	370	251	9	227
大分	12,520	600	416	17	108	26,473	681	194	114	10	125
宮崎	6,619	353	387	20	64	20,284	17,329	342	134	4	149
鹿児島	15,711	1,067	239	15	94	53,774	9,369	336	128	6	240
沖縄	13,078	713	560	26	99	9,427	4,367	205	137	7	165
<b>合計</b>	<b>1,410,981</b>	<b>71,067</b>	<b>84,898</b>	<b>4,674</b>	<b>117</b>	<b>2,318,930</b>	<b>224,230</b>	<b>21,605</b>	<b>10,780</b>	<b>590</b>	<b>13,785</b>
前年	1,345,591	67,362	79,959	3,774	111	2,270,840	3,402	20,427	9,867	595	12,637
前年増減数	65,390	3,705	4,939	900	6	48,090	220,828	1,178	913	▲5	1,148

別表 12 応急手当指導員養成状況

(平成24年中 単位：人・回)

区分	応急手当指導員養成講習								
	平成24年中 修了者	講習Ⅰ 修了者	講習Ⅱ 修了者	講習Ⅲ 修了者	消防長 認定者	講習Ⅰ 免除者	講習 回数	応急手当 指導員数	講習回数 累計
北海道	536	315	68	31	83	39	113	8,946	1,399
青森	126	110	10	0	6	0	13	2,093	128
岩手	91	42	9	0	0	40	9	1,661	103
宮城	181	167	12	0	2	0	5	2,898	120
秋田	123	95	20	0	8	0	53	1,720	691
山形	91	78	13	0	0	0	28	1,617	270
福島	133	57	76	0	0	0	7	2,571	231
茨城	256	122	55	48	9	22	41	3,394	444
栃木	213	179	25	0	7	2	4	2,393	103
群馬	150	59	72	18	1	0	51	2,309	755
埼玉	411	137	133	9	124	8	43	8,041	1,037
千葉	325	142	118	4	47	14	53	6,632	430
東京	1,045	184	750	87	1	23	41	24,757	178
神奈川	768	360	129	102	176	1	14	8,859	237
新潟	358	26	310	0	21	1	15	6,456	263
富山	49	8	29	0	11	1	1	869	27
石川	74	44	24	2	3	1	11	1,175	123
福井	64	56	8	0	0	0	17	855	154
山梨	75	39	0	1	16	19	12	813	57
長野	91	77	14	0	0	0	28	2,662	425
岐阜	203	71	13	65	24	30	32	2,939	298
静岡	252	33	120	7	85	7	48	4,556	391
愛知	454	364	31	28	22	9	97	7,187	1,141
三重	175	86	72	3	5	9	33	2,469	152
滋賀	75	64	6	0	5	0	21	1,313	228
京都	69	63	0	0	4	2	28	2,256	169
大阪	636	296	221	0	117	2	139	10,352	1,091
兵庫	261	180	57	3	16	5	20	5,878	509
奈良	99	77	5	0	17	0	9	1,863	180
和歌山	92	72	0	5	11	4	15	1,346	178
鳥取	86	49	19	16	2	0	17	1,201	138
島根	52	20	32	0	0	0	3	1,332	194
岡山	108	100	5	0	3	0	17	2,298	275
広島	557	24	158	0	375	0	12	3,449	539
山口	84	65	0	2	17	0	41	1,839	361
徳島	31	29	0	0	2	0	6	686	36
香川	24	22	0	2	0	0	1	514	1
愛媛	89	30	28	0	27	4	3	1,779	108
高知	49	38	11	0	0	0	6	1,256	178
福岡	149	87	50	2	9	1	17	3,583	232
佐賀	57	46	0	10	1	0	8	546	87
長崎	80	59	3	0	18	0	14	1,008	170
熊本	79	58	11	6	4	0	7	1,605	166
大分	237	229	8	0	0	0	15	1,409	224
宮崎	81	44	17	19	0	1	13	1,271	80
鹿児島	129	55	17	0	23	34	17	2,119	32
沖縄	159	142	0	13	2	2	5	920	34
合計	9,527	4,700	2,759	483	1,304	281	1,203	157,695	14,367

別表 13 都道府県別経営主体別救急病院及び診療所告示状況

(平成 25 年 4 月 1 日)

区分 都道府県	病 院				病 院 計	診 療 所	合 計	人口10万人 対救急医療 機関数
	国立	公立	公的	私的				
北海道	9	71	48	121	249	20	269	4.9
青森	4	24	2	19	49	4	53	3.9
岩手	0	24	4	18	46	2	48	3.6
宮城	4	24	6	29	63	3	66	2.8
秋田	2	9	8	8	27	0	27	2.5
山形	1	20	2	14	37	0	37	3.2
福島	3	8	10	35	56	0	56	2.8
茨城	5	7	12	73	97	4	101	3.4
栃木	2	3	6	46	57	15	72	3.6
群馬	3	12	3	60	78	24	102	5.1
埼玉	3	10	7	148	168	15	183	2.5
千葉	4	24	2	105	135	9	144	2.3
東京	9	23	15	268	315	10	325	2.5
神奈川	6	18	9	129	162	11	173	1.9
新潟	4	21	15	26	66	1	67	2.8
富山	2	11	7	14	34	6	40	3.7
石川	2	17	4	23	46	10	56	4.8
福井	2	6	4	28	40	18	58	7.2
山梨	2	13	2	19	36	7	43	5.0
長野	5	18	17	40	80	6	86	4.0
岐阜	2	21	8	37	68	6	74	3.6
静岡	5	22	11	35	73	38	111	2.9
愛知	6	27	10	108	151	21	172	2.3
三重	2	17	9	28	56	7	63	3.4
滋賀	2	12	5	14	33	0	33	2.3
京都	4	12	7	68	91	0	91	3.5
大阪	5	23	9	234	271	11	282	3.2
兵庫	4	36	6	130	176	8	184	3.3
奈良	1	11	4	24	40	0	40	2.9
和歌山	3	15	3	33	54	6	60	6.0
鳥取	3	7	3	7	20	0	20	3.4
島根	2	11	3	8	24	0	24	3.3
岡山	4	15	5	57	81	7	88	4.5
広島	6	18	8	80	112	27	139	4.9
山口	5	16	9	29	59	3	62	4.3
徳島	2	6	8	16	32	3	35	4.5
香川	5	9	4	34	52	12	64	6.4
愛媛	2	15	5	36	58	3	61	4.3
高知	2	9	2	25	38	3	41	5.4
福岡	6	12	10	112	140	3	143	2.8
佐賀	4	8	2	31	45	4	49	5.8
長崎	4	16	5	34	59	1	60	4.2
熊本	5	15	6	40	66	7	73	4.0
大分	3	5	3	36	47	1	48	4.0
宮崎	4	10	2	38	54	5	59	5.4
鹿児島	3	13	4	64	84	9	93	5.5
沖縄	1	7	1	16	25	1	26	1.9
合計	167	751	335	2,597	3,850	351	4,201	3.3

(注) この表に計上されている数値は、救急業務を実施している市町村（消防の事務を処理する組合を含む）にある病院及び診療所である。